別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画									
事　項	記　入　欄								備　考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ 設置者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ ｲﾘｮｳｿｳｾｲﾀﾞｲｶﾞｸ 学校法人医療創生大学								
フリガナ 大学の名称	ｲﾘｮｳｿｳｾｲﾀﾞｲｶﾞｸ 医療創生大学								
大学本部の位置	福島県いわき市中央台飯野5丁目5番地1								
大学の目的	教育基本法並びに学校教育法の定めるところに従い、学術を中心として、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力の展開により人間形成に努め、国家、社会に貢献し得る有能な人材を育成すると共に人類の発展に寄与すること及び科学的根拠に基づいた術を備えた慈愛のある医療人の創生を教育の理念・目的とする。								
新設学部等の目的	（定員を変更する目的） 今後の18歳人口の減少と本学の過去の入試実績を踏まえ、薬学部薬学科の入学定員を20人、看護学部看護学科の入学定員を25人、健康医療科学部作業療法学科の入学定員を20人、健康医療科学部理学療法学科の入学定員を5人、心理学部臨床心理学科の入学定員を20人、合計90人の入学定員を減らし、定員規模の適正化を図る。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次 人	人			年　月 第　年次		
	薬学部 薬学科	6	40 (60)	―	240 (360)	学士 （薬学）	薬学関係	令和7年4月 第1年次	福島県いわき市中央台飯野5丁目5番地1 同上	
	看護学部 看護学科	4	55 (80)	―	220 (320)	学士 （看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	令和7年4月 第1年次	同上 同上	
	健康医療科学部 作業療法学科	4	20 (40)	―	80 (160)	学士 （作業療法学）	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	令和7年4月 第1年次	同上 同上	
	理学療法学科	4	55 (60)	―	220 (240)	学士 （理学療法学）	保健衛生学関係 （リハビリテーション関係）	令和7年4月 第1年次	同上	
	心理学部 臨床心理学科	4	40 (60)	―	160 (240)	学士 （心理学）	文学関係	令和7年4月 第1年次	同上 同上	
	計		―	―	―					
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	該当なし									

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
		科目	科目	科目	科目	単位	

学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
	教授	准教授	講師	助教	計			
新設分 薬学部　薬学科	人 12 (16)	人 7 (7)	人 1 (1)	人 5 (5)	人 25 (29)	人 0 (0)	人 37 (33)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	12 (16)	7 (7)	1 (1)	5 (5)	25 (29)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　18人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	12 (16)	7 (7)	1 (1)	5 (5)	25 (29)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	12 (16)	7 (7)	1 (1)	5 (5)	25 (29)			
看護学部　看護学科	8 (8)	5 (5)	6 (5)	5 (5)	24 (23)	2 (2)	45 (45)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	5 (5)	6 (5)	5 (5)	24 (23)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	8 (8)	5 (5)	6 (5)	5 (5)	24 (23)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	8 (8)	5 (5)	6 (5)	5 (5)	24 (23)			
健康医療科学部　作業療法学科	4 (4)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	10 (9)	0 (0)	47 (47)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	10 (9)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	4 (4)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	10 (9)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	4 (4)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	10 (9)			
健康医療科学部　理学療法学科	5 (5)	1 (1)	3 (3)	3 (3)	12 (12)	0 (0)	43 (43)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	1 (1)	3 (3)	3 (3)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	5 (5)	1 (1)	3 (3)	3 (3)	12 (12)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	5 (5)	1 (1)	3 (3)	3 (3)	12 (12)			

	学部等の名称	基幹教員 教授	准教授	講師	助教	計	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
新設分	心理学部　臨床心理学科	7 (7)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	33 (33)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	7 (7)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	12 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はｃに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	7 (7)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	12 (12)			
	計	36 (40)	19 (18)	14 (13)	14 (14)	83 (85)	2 (2)	— (—)	
既設分	国際看護学部　看護学科	13 (12)	6 (8)	4 (3)	6 (3)	29 (26)	0 (0)	1 (0)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	13 (12)	6 (8)	4 (3)	6 (3)	29 (26)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	13 (12)	6 (8)	4 (3)	6 (3)	29 (26)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はｃに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	13 (12)	6 (8)	4 (3)	6 (3)	29 (26)			
	計	13 (12)	6 (8)	4 (3)	6 (3)	29 (26)	0 (0)	— (—)	
合計		49 (52)	25 (26)	18 (16)	20 (17)	112 (111)	2 (2)	— (—)	

職種	専属	その他	計	
事務職員	人 26 (26)	人 0 (0)	人 26 (26)	大学全体
技術職員	1 (1)	0 (0)	1 (1)	
図書館職員	2 (2)	1 (0)	3 (2)	
その他の職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
指導補助者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
計	29 (29)	1 (0)	30 (29)	

校地等 区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校舎敷地	152,757.75㎡	44.88㎡	924.31㎡	153,726.94㎡	大学全体 借用面積：8,535.71㎡ 借用期間：29年
その他	309,448.86㎡	5,309.91㎡	0㎡	314,758.77㎡	医療創生大学歯科衛生専門学校と共用 （収容定員240人） （地方公共団体等が規定する面積基準なし）
合計	462,206.61㎡	5,354.79㎡	924.31㎡	468,485.71㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	53,500.33㎡ (53,500.33㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	53,500.33㎡ (53,500.33㎡)	大学全体 借用面積：1,278.85㎡ 借用期間：29年

教室・教員研究室	教室		教員研究室	
		室		室

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	( )	( )	
	計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	( )	( )	
スポーツ施設等		スポーツ施設 ㎡		講堂 ㎡		厚生補導施設 ㎡		

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
		教員１人当り研究費等		100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	※新任は+50千円
		共同研究費等		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
		図書購入費	16,180千円	16,100千円	16,100千円	16,100千円	16,100千円	16,100千円	16,100千円	図書購入費には電子ジャーナル・データベース整備費（運用コストを含む）を含む
		設備購入費	12,000千円	12,000千円	12,000千円	12,000千円	12,000千円	12,000千円	12,000千円	
	学生１人当り納付金			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
				1,960 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	薬学部
				1,560 千円	1,660 千円	1,660 千円	1,660 千円	－ 千円	－ 千円	看護学部
				1,560 千円	1,860 千円	1,860 千円	1,860 千円	－ 千円	－ 千円	健康医療科学部
				1,200 千円	1,100 千円	1,100 千円	1,100 千円	－ 千円	－ 千円	心理学部
				1,800 千円	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	－ 千円	－ 千円	国際看護学部
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、私立大学等経常費補助金　等						

既設大学等の状況	大学等の名称	医療創生大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
		年	人	年次 人	人		倍		
	（学部）								
	薬学部 薬学科	6	60	—	450	学士（薬学）	**0.59** 0.59	平成19年度	福島県いわき市中央台飯野5丁目5番地1
	看護学部 看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	**0.65** 0.65	平成29年度	
	健康医療科学部 作業療法学科	4	40	—	160	学士(作業療法学)	**0.78** 0.55	平成31年度	
	理学療法学科	4	60	—	240	学士(理学療法学)	0.93	平成31年度	
	心理学部 臨床心理学科	4	60	—	240	学士(心理学)	**0.70** 0.70	令和2年度	
	国際看護学部 看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	**0.93** 0.93	令和3年度	千葉県柏市小青田1丁目3番4号
	（大学院）								
	理工学研究科 （博士課程） 物質理工学専攻	3	—	—	—	博士（理工学）	—	平成6年度	福島県いわき市中央台飯野5丁目5番地1

令和4年度より入学定員変更（薬学科90→60）
令和2年度より学生募集停止

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
既設大学等の状況	生命理工学研究科 （修士課程） 生命理工学専攻	2	5	—	10	修士（生命理工学）	0.30	令和2年度	福島県いわき市中央台飯野5丁目5番地1	
	（博士後期課程） 生命理工学専攻	3	2	—	6	博士（生命理工学）	1.16	令和2年度		
	人文学研究科 （修士課程） 臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士（臨床心理学）	0.55	平成17年度		
附属施設の概要	名称及び規模等：薬用植物園　（敷地面積1,535.60㎡） 薬用植物園温室（床面積234.96㎡） 薬用植物園倉庫（床面積 72.00㎡） 目　　的：薬学部薬学科の教育研究 所 在 地：福島県いわき市中央台飯野5丁目5番1号 設置年月：平成19年4月									

組織の移行表

令和6年度

●医療創生大学

学部等	学科等	入学定員	収容定員	変更の事由
薬学部	薬学科	60	360	
看護学部	看護学科	80	320	
健康医療科学部	作業療法学科	40	160	
	理学療法学科	60	240	
心理学部	臨床心理学科	60	240	
国際看護学部	看護学科	80	320	
合計		380	1,640	

●医療創生大学大学院

・修士課程

生命理工学研究科	生命理工学専攻	5	10	
人文学研究科	臨床心理学専攻	10	20	

・博士後期課程

生命理工学研究科	生命理工学専攻	2	6	
合計		17	36	

●千葉・柏リハビリテーション学院

理学療法学科	80	240	
作業療法学科	40	120	
合計	120	360	

●葵会仙台看護専門学校

看護学科	120	360	
合計	120	360	

●医療創生大学歯科衛生専門学校

歯科衛生第Ⅰ学科	50	150	
歯科衛生第Ⅱ学科	30	90	
合計	80	240	

令和7年度

●医療創生大学

学部等	学科等	入学定員	収容定員	変更の事由
薬学部	**薬学科**	**40**	**240**	定員変更（△20）
看護学部	**看護学科**	**55**	**220**	定員変更（△25）
健康医療科学部	**作業療法学科**	**20**	**80**	定員変更（△20）
	理学療法学科	**55**	**220**	定員変更（△5）
心理学部	**臨床心理学科**	**40**	**160**	定員変更（△20）
国際看護学部	看護学科	80	320	
合計		**290**	**1,240**	

●医療創生大学大学院

・修士課程

生命理工学研究科	生命理工学専攻	5	10	
人文学研究科	臨床心理学専攻	10	20	

・博士後期課程

生命理工学研究科	生命理工学専攻	2	6	
合計		17	36	

●千葉・柏リハビリテーション学院

理学療法学科	80	240	
作業療法学科	40	120	
合計	120	360	

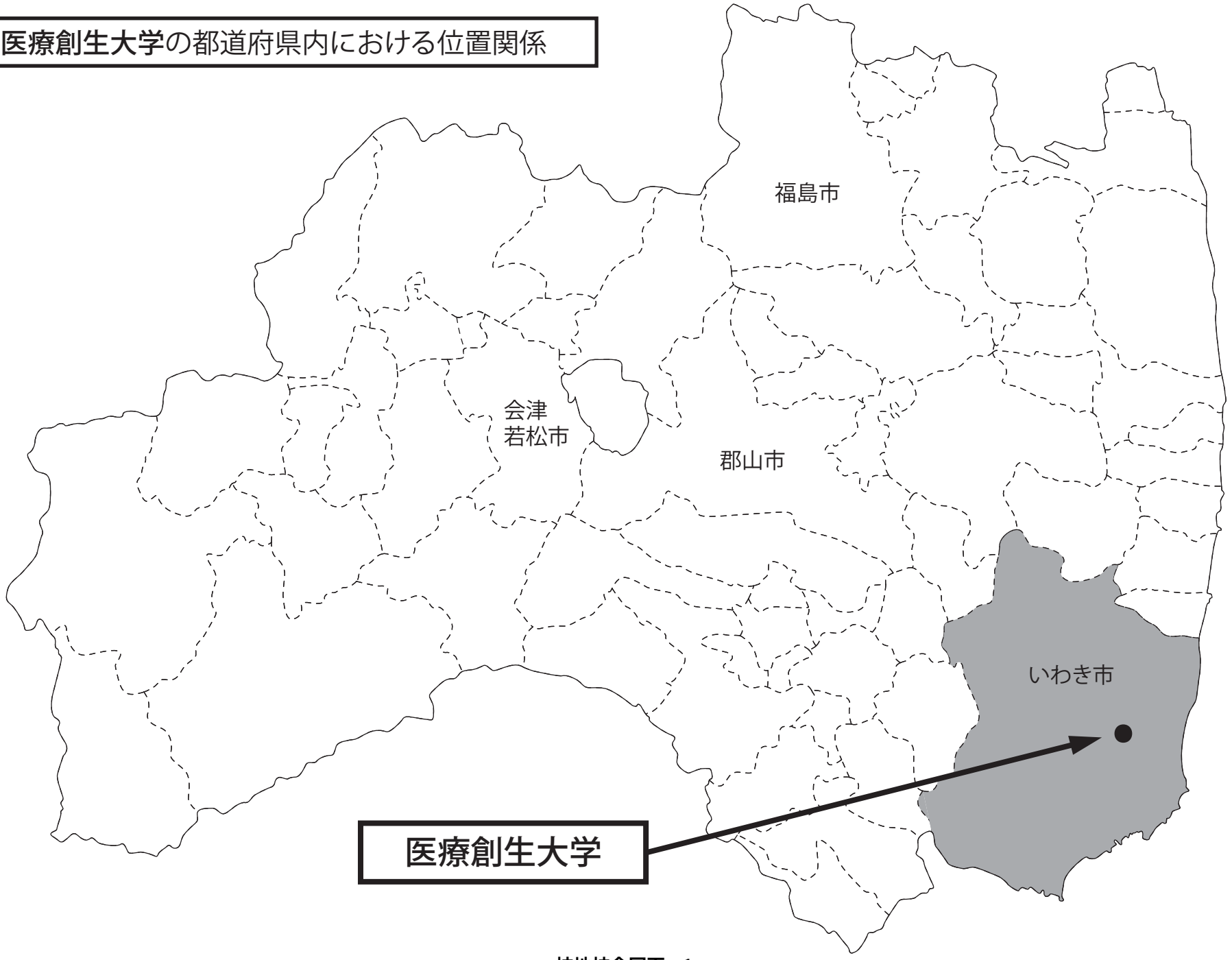
●葵会仙台看護専門学校

看護学科	120	360	
合計	120	360	

●医療創生大学歯科衛生専門学校

歯科衛生第Ⅰ学科	50	150	
歯科衛生第Ⅱ学科	30	90	
合計	80	240	

医療創生大学の都道府県内における位置関係



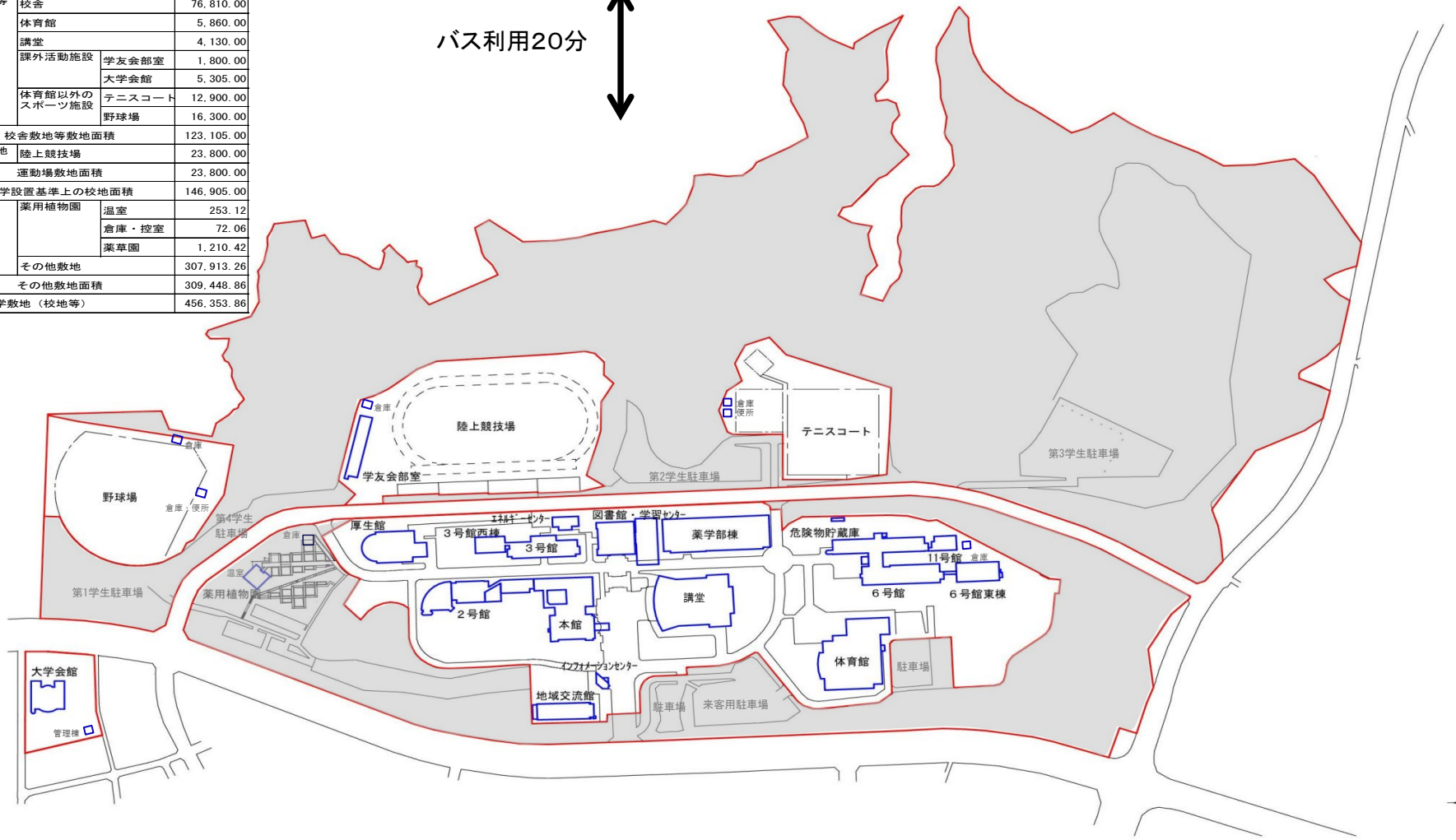
最寄駅からの距離や交通機関がわかる図面



医療創生大学　建物の配置図

土地面積　　単位：m^2

区分		敷地		面積
校地	校舎敷地等	校舎		76,810.00
		体育館		5,860.00
		講堂		4,130.00
		課外活動施設	学友会部室	1,800.00
			大学会館	5,305.00
		体育館以外のスポーツ施設	テニスコート	12,900.00
			野球場	16,300.00
	校舎敷地等敷地面積			123,105.00
	運動場敷地	陸上競技場		23,800.00
	運動場敷地面積			23,800.00
	大学設置基準上の校地面積			146,905.00
その他	その他	薬用植物園	温室	253.12
			倉庫・控室	72.06
			薬草園	1,210.42
		その他敷地		307,913.26
	その他敷地面積			309,448.86
大学敷地（校地等）				456,353.86



医療創生大学　　456,353.86㎡（全部所有）

所在地：福島県いわき市中央台飯野五丁目５番地１

校舎配置図

医療創生大学

医療創生大学学則 （案）

昭和 62 年 4 月 1 日制定

目　次

第１章　目的（第 1 条）
第２章　学部、学科及び附属教育研究機関（第 2 条―第 4 条）
第３章　修業年限及び収容定員（第 5 条・第 6 条）
第４章　教職員組織（第 7 条）
第５章　大学評議会（第 8 条・第 9 条）
第６章　教授会等（第 10 条―第 13 条の２）
第７章　学年、学期及び休業日（第 14 条―第 16 条）
第８章　授業科目、単位及び単位の授与（第 17 条―第 29 条）
第９章　履修方法（第 30 条―第 32 条）
第１０章　卒業の要件及び学位の授与（第 33 条）
第１１章　入学、編入学、転部、休学、退学及び除籍（第 34 条―第 49 条）
第１２章　学費（第 50 条―第 52 条）
第１３章　賞罰（第 53 条―第 55 条）
第１４章　委託生、科目等履修生、外国人学生及び留学生（第 56 条―第 58 条の 2）
第１５章　研究生、国家試験対策生及び聴講生（第 59 条―第 61 条）
第１６章　公開講座（第 62 条・第 63 条）
第１７章　自己点検・評価等（第 64 条―66 条）
附　則

第１章　目的

第１条　医療創生大学（以下「本学」という。）は、教育基本法並びに学校教育法の定めるところに従い、学術を中心として、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力の展開により人間形成に努め、国家、社会に貢献し得る有能な人材を育成すると共に人類の発展に寄与すること及び科学的根拠に基づいた術を備えた慈愛のある医療人の創生を教育の理念・目的とする。

２　本学は、前項に掲げる目的を実現するための教育研究の成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

第２章　学部、学科及び附属教育研究機関

第２条　本学に次の学部を置く。

(1) 薬学部
(2) 看護学部
(3) 健康医療科学部
(4) 心理学部
(5) 国際看護学部

２　本学に大学院を置く。

(1)　大学院の学則は別に定める。

第３条　本学の学部学科は次のとおりとする。

(1)薬学部
　薬学科
(2)看護学部

看護学科

(3)健康医療科学部

作業療法学科

理学療法学科

(4)心理学部

臨床心理学科

(5)国際看護学部

看護学科

第３条の２　学部学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は別表第１に定める。

第４条　本学に図書館を置く。

２　前項のほか、本学に次の各号の附属教育研究機関を置く。

(1) 心理相談センター

(2) 看護キャリア教育研究センター

３　図書館等附属教育研究機関の管理、運営その他必要な事項は別に定める。

第３章　修業年限及び収容定員

第５条　薬学部の修業年限は６年とする。ただし、在学年数は 12 年を超えることができない。

２　看護学部の修業年限は４年とする。ただし、在学年数は８年を超えることができない。

３　健康医療科学部の修業年限は４年とする。ただし、在学年数は８年を超えることができない。

４　心理学部の修業年限は４年とする。ただし、在学年数は８年を超えることができない。

５　国際看護学部の修業年限は４年とする。ただし、在学年数は８年を超えることができない。

第６条　収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	40 人	240 人
看護学部	看護学科	55 人	220 人
健康医療科学部	作業療法学科	20 人	80 人
	理学療法学科	55 人	220 人
心理学部	臨床心理学科	40 人	160 人
国際看護学部	看護学科	80 人	320 人
計		290 人	1,240 人

第４章　教職員組織

第７条　本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。ただし、教育研究上の組織編制として適切と認められる場合には、准教授、講師、助教又は助手を置かないことができる。

２　前項のほか、副学長、学部長、技術職員、及び客員教員、その他必要な教職員を置くことができる。

３　前第１項、第２項のほか、本学に学長補佐、学科長、図書館長、附属教育研究機関長、学生部長及び事務局長を置くことができる。

４　前項のほか、学部長補佐、副附属教育研究機関長等を置くことができる。

第５章　大学評議会

第８条　本学に大学評議会を置く。

２　大学評議会は学長の諮問に応じて、第９条に掲げる事項を審議する。

３　大学評議会は次の各号に掲げる大学評議員をもって組織する。

(1)　学長

(2)　副学長
(3)　学部長
(4)　大学院研究科長
(5)　図書館長
(6)　心理相談センター長
(7)　看護キャリア教育研究センター長
(8)　学部所属教授各２名
４　学長は、大学評議会を招集し、その議長となる。
５　大学評議会の運営については別に定める。
第９条　大学評議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
(1)　教育、研究に関する全学的重要事項
(2)　学則その他重要な規則に関する全学的共通事項
(3)　学生の厚生補導及びその身分の基準に関する事項
(4)　全学共通教育科目及び全学的な資格科目に関する事項
(5)　その他必要と認められる事項
第６章　教授会等
第１０条　本学各学部に教授会を置く。
２　２　教授会は、当該学部に所属し、教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う者であって、当該学部の教育課程に係る主要授業科目を担当する、または一年につき 8 単位以上の当該学部の教育課程に係る授業科目を担当する教授、准教授、講師、助教をもって組織する。
３　学部長は、教授会を招集し、その議長となる。
４　教授会は、必要があると認めたとき各種の委員会を置くことができる。
５　教授会の運営について必要な事項は、別に定める。
第１１条　教授会は、当該学部に関わる次の各号に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
(1)　学生の入学及び卒業に関する事項
(2)　学位の授与に関する事項
(3)　前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が定める事項
２　教授会は、前項に定めるもののほか、当該学部の教育研究に関する事項について審議し、学長に報告するものとする。
３　第１項第３号及び前項に定める事項については、教授会運営細則に定める。
第１２条　教授会が必要と認めたとき、教授会構成員の一部をもって組織する代表委員会を置くことができる。
２　前項の場合、代表委員会の議決をもって、教授会の議決とすることができる。
３　代表委員会の審議事項は、教授会が定める。
４　代表委員会の組織、運営については別に定める。
第１３条　本学に、大学全体の運営に関する事項を連絡調整するため学部長会を置く。
２　学部長会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長及び事務局長をもって組織する。
３　前項のほか、学長が必要と認めたとき、他の教職員を加えることができる。
４　学部長会の運営について必要な事項は別に定める。
第１３条の２　学長が必要と認めたとき、諮問委員会を置くことができる。諮問委員会の組織、運営等について必要な事項は、別に定める。
第７章　学年、学期及び休業日

第１４条　学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。
第１５条　学年を分けて次の二学期とする。
　前学期　　4 月 1 日から　　9 月 21 日まで
　後学期　　9 月 22 日から　　翌年 3 月 31 日まで
２　学長は必要により、学期の開始及び終了について、変更することができる。
第１６条　休業日は次の各号のとおりとする。
(1)　日曜日
(2)　国民の祝日に関する法律に規定する休日
(3)　春期休業日　　3 月 23 日から 3 月 31 日まで
(4)　夏期休業日　　8 月 1 日から 9 月 21 日まで
(5)　冬期休業日　12 月 24 日から 翌年 1 月 7 日まで
２　学長は必要により休業日を変更し、もしくは臨時に休業し、又は休業日に授業をさせることができる。
第８章　授業科目、単位及び単位の授与
第１７条　授業科目は全学共通教育科目（初年次教育科目、リテラシー教育科目、外国語教育科目、一般教養科目、健康・スポーツ教育科目）、専門教育科目に区分される。
２　前項の授業科目及び単位数は別表第 2、第 3、第 4、第 5、第 6 及び第 7 のとおりとする。
第１８条　前条の授業科目の履修形態は必修科目、選択科目、自由選択科目及び自由科目とする。
第１９条　授業科目の単位数を定めるにあたっては、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
(1)　講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲の授業をもって 1 単位とする。
(2)　実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲の授業をもって 1 単位とする。
２　卒業研究の単位は、薬学部は 7 単位、看護学部は 2 単位、健康医療科学部は 4 単位、心理学部は 8 単位とする。
第２０条　卒業研究については、あらかじめ指導教員の指導により題目を決定し、最終学年次の学科指定日までに提出しなければならない。
第２１条　履修しようとする授業科目は毎学年次のはじめに届出しなければならない。ただし、自由科目、他学部専門教育科目の履修については届出に際し、許可を得なければならない。
第２１条の２　メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段によって行う。
２　前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。
第２２条　単位の認定は、試験によってこれを行う。ただし、授業科目の種類によっては、他の方法によることができる。
第２３条　試験は定期試験及び臨時試験とし、定期試験は学年末又は学期末に行う。
２　試験について必要な事項は別に定める。
第２４条　いずれの授業科目でも授業時数の 3 分の 1 以上欠席した者は、その授業科目の受験資格を失う。ただし、病気又は正当の理由による長期欠席の場合は考慮されることがある。
第２５条　病気その他やむを得ない事情で試験を受けることができなかった者は、追試験を受けることができる。
２　前項により追試験を願い出る学生は、指定された期間内に追試験申請書及び必要書類を提出し、許可を得なければならない。
３　追試験として認められる事由、必要書類、追試験料及び評価基準は別表第 10 に定めるとおりとする。
第２５条の２　教育上、特に必要と認めた場合には、再試験を受けることができる。
２　再試験について、必要な事項は別表第 11 に定める。

第２６条　授業科目の成績は、Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｆの評価で表わし、Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃを合格とし、Ｆを不合格とする。
２　合格判定科目については、Ｐ又はＨで表し、Ｐを合格、Ｈを不合格とする。
３　第１項の成績の評価基準は、Ｓは 100 点から 90 点、Ａは 89 点から 80 点、Ｂは 79 点から 70 点、Ｃは 69 点から 60 点とし、Ｆは次の各号のいずれかに該当するものとする。
(1)　59 点以下の場合
(2)　第 24 条に定める授業時数の３分の１以上欠席した者
４　第２項に定める成績の評価は、学習態度、学習意欲及び提出課題の報告書の提出等の成績を総合的に判断して行う。
５　前各号の規定にかかわらず、他大学等において修得した単位を認定する場合は、Ｔで表す。
６　成績の評価について必要な事項は、別に定める。
第２６条の２　本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
２　本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。
３　前項で定める基準については、別に公表する。
第２７条　進級するためには、別表第９に定める進級基準を満たさなければならない。
第２８条　学長が教育上有益と認めたときは、他の学部が開設する授業科目を履修することができる。
２　前項により修得した単位は、教授会の定めにより、当該単位を卒業に必要な単位として認めることができる。
第２９条　学長が教育上有益と認めたときは、国内及び諸外国の他大学等の授業科目を履修させることができる。
２　前項により学修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て認定することができる。ただし、60 単位を超えて認定することはできない。
１　国内及び諸外国の他大学等における授業科目の履修について必要な事項は別に定める。
第９章　履修方法
第３０条　全学共通教育科目（初年次教育科目、リテラシー教育科目、外国語教育科目、一般教養科目、健康・スポーツ教育科目）のうち必修科目は指定年次に、選択科目は、第５条に定める在学年数内で履修する。
２　初年次教育科目については、別表第 2(1)に開設する授業科目のうち、学部ごとに定められた科目を修得しなければならない。
(1) 薬学部にあっては４単位
(2) 看護学部にあっては２単位
(3) 健康医療科学部にあっては２単位
(4) 心理学部にあっては４単位
(5)　国際看護学部にあっては２単位
３　リテラシー教育科目については、別表第 2(2)に開設する科目のうち、次に示す単位数を修得しなければならない。
(1) 薬学部、看護学部、心理学部、国際看護学部にあっては２単位
(2) 健康医療科学部にあっては１単位
４　外国語教育科目については別表第 2(3)に開設する科目のうち、次に示す単位数を修得しなければならない。
(1) 薬学部、心理学部にあっては６単位
(2) 看護学部にあっては４単位
(3) 健康医療科学部にあっては２単位
(4) 国際看護学部にあっては６単位及び中国語、韓国語のいずれかの言語科目から２単位

５　一般教養科目については、別表第 2(4)に開設する授業科目のうち、次に示す単位数を修得しなければならない。
(1)　薬学部にあっては、人文科学・社会科学・自然科学、外国語教育科目の選択科目から 8 単位以上
(2)　看護学部にあっては、人文科学・社会科学・自然科学の選択科目からそれぞれ 2 単位以上計 6 単位以上
(3) 健康医療科学部にあっては、人文科学の必修科目から 2 単位、自然科学の必修科目から 2 単位、社会科学の選択科目から 2 単位以上計 6 単位以上
(4) 心理学部にあっては、人文科学から必修科目 2 単位、選択科目 2 単位以上計 4 単位以上、社会科学・自然科学の選択科目からそれぞれ 4 単位以上計 12 単位以上
(5) 国際看護学部にあっては、人文科学・社会科学の選択科目からそれぞれ 2 単位以上、自然科学の必修科目から 1 単位、選択科目から 2 単位以上計 7 単位以上
６　健康・スポーツ教育科目については、別表第 2(5)に開設する授業科目のうち、次に示す単位数を修得しなければならない。
(1) 薬学部、看護学部、心理学部、国際看護学部にあっては 4 単位
(2) 健康医療科学部にあっては 3 単位
第３１条　専門教育科目については、第 2 項、第 3 項、第 4 項、第 5 項、及び第 6 項に示す単位数を修得しなければならない。
２　薬学部にあっては、別表第 3 薬学部に開設する授業科目のうち、必修科目及び選択科目を合わせて 181 単位以上を修得しなければならない。
３　看護学部にあっては、別表第 4 看護学部に開設する授業科目のうち、必修科目及び選択科目を合わせて 106 単位以上を修得しなければならない。
４　健康医療科学部にあっては、別表第 5 健康医療科学部に開設する授業科目のうち、必修科目及び選択科目を合わせて 110 単位以上を修得しなければならない。
５　心理学にあっては、別表第 6 心理学部に開設する授業科目のうち、必修科目及び選択科目を合わせて 96 単位以上を修得しなければならない。
６　国際看護学部にあっては、別表第 7 国際看護学部に開設する授業科目のうち、必修科目及び選択科目を合わせて 101 単位以上を修得しなければならない。
第３２条　1 年間に履修できる授業科目の単位数は、45 単位を超えることができない。
２　学長が特に必要と認めたとき、前項に定める上限を超えて履修単位の登録を認めることができる。
第１０章　卒業の要件及び学位の授与
第３３条　本学を卒業するには、看護学部、健康医療科学部、心理学部、国際看護学部は 4 年以上、薬学部は 6 年以上在学し、第 30 条から第 32 条の規定に従い、看護学部、健康医療科学部、心理学部、国際看護学部は 124 単位以上、薬学部は 205 単位以上を修得しなければならない。
２　前項の要件を満たした者を卒業と認定し、次の区分により学士の学位を授与する。

薬学部	**薬学科**	**学士（薬学）**
看護学部	**看護学科**	**学士（看護学）**
健康医療科学部	**作業療法学科**	**学士（作業療法学）**
	理学療法学科	**学士（理学療法学）**
心理学部	**臨床心理学科**	**学士（心理学）**
国際看護学部	**看護学科**	**学士（看護学）**

第１１章　入学、編入学、転部、休学、退学及び除籍
第３４条　本学の入学の時期は、学期の始めとする。
第３５条　本学に入学することのできる者は次の各号の 1 に該当するものとする。

(1)　高等学校を卒業した者
(2)　中等教育学校を卒業した者
(3)　通常課程による 12 年の学校教育を修了した者
(4)　外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
(5)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
(6)　専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(7)　文部科学大臣の指定した者
(8)　高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）
(9)　その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第３６条　入学は選考の上これを許可する。
２　本学へ入学を志願する者は、所定の出願書類を提出し、入学検定料を納めなければならない。
３　入学検定料は、別に定める。
４　入学者の選考について必要な事項は、別に定める。

第３７条　入学の許可を得た者は、保証人を定めた上、所定の書類及び学費を納めなければならない。

第３８条　保証人は父母その他本人につき責任を持ち得る者とする。

第３９条　他大学等から本学に編入学を希望する者があるときは、学科に欠員ある場合に限り、選考の上、入学を許可することがある。ただし、その時期は学期の始めを原則とする。
２　編入学を許可された者の本学入学の諸手続は第 38 条に準じ、かつ、前学校において履修した単位の修得証明書を提出しなければならない。
３　修得単位の認定に関する細則は、別に定める。
４　編入学の選考について必要な事項は、別に定める。

第４０条　本学に編入学できる者は、次の各号の 1 に該当する者とする。
(1)　学士の学位もしくは学士号を有する者
(2)　短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者
(3)　学校教育法第 58 条の 2 に該当する者
(4)　学校教育法第 132 条に該当する者
(5)　大学、短期大学に 1 年以上在学した者

第４１条　編入学した者の本学において在学すべき年数は、前条第 1 項各号に掲げる大学等における修業年数に相当する年数以下の期間を控除した期間とすることができる。
２　その他、編入学について必要な事項は、別に定める。

第４２条　本学が教育上有益と認めたとき、入学する前に大学又は短期大学等において修得した単位を、60 単位を超えない範囲で、本学において修得した単位として認定することができる。ただし、編入学については、60 単位を超えて修得した単位を認定することができる。
２　前項により認定された単位数と第 29 条第 2 項により認定された単位数の合計は、60 単位を超えてはならない。ただし、編入学については、60 単位を超えて修得した単位を認定することができる。
３　単位の認定について必要な事項は、別に定める。

第４３条　本学在学生で、他学部への転部を志願する者がある時は、関係教授会の議を経て学長がこれを許可することができる。
２　転部に関し、必要な事項は別に定める。

第４４条　病気その他やむを得ない事由で３ケ月以上修学できない者は休学することができる。その場合、医師の診断書、又は理由書を添え休学願を保証人連署の上、提出し許可を得なければならない。
２　休学は当該年度限りとする。ただし、引き続き休学を要する者は許可を得て、休学を延長することができる。
３　休学期間は通算して修業年限を超えることができない。
４　休学期間は在学期間に算入しない。
５　休学した者は、休学の事由が消滅したとき、又は休学の期間が満了したときは、復学願を保証人連署の上、提出し許可を得て学期のはじめに復学することができる。
第４５条　前条第１項により休学を許可された者（以下「休学者」という。）は、別表第８に定める在籍料を納めなければならない。
第４６条　病気その他の事由により退学する場合は、その理由を添えて保証人と連署の上、願い出て許可を得なければならない。
第４７条　病気のため１週間以上に及び授業を欠席する場合は、医師の診断書を添えて所定の用紙により届け出なければならない。
第４８条　次の各号の１に該当する場合は除籍する。
(1)　在学期間が所定の年数を超える者
(2)　学費を滞納し催告しても納入しない者
(3)　死亡の届け出があった者
２　前項２号により除籍された者が復籍を希望する場合は所定の学費を納めて当該年度末までに復籍願を提出し、許可を得なければならない。
第４９条　本学を退学した者又は除籍となった者で、退学又は除籍後２年以内に同一学部に再入学を希望する者は、選考の上、再入学することができる。ただし、第48条第１項第１号により除籍となった者及び第55条により退学した者は、再入学することができない。
２　再入学について必要な事項は、別に定める。
第１２章　学費
第５０条　学費は、入学金、授業料、施設拡充費、実務実習費とし、別表第８のとおりとする。
２　入学を許可された者は、所定の期日までに入学手続きと同時に前項の学費及び諸会費を納めなければならない。
３　授業料、施設拡充費、実務実習費及び諸会費は所定の期日までに納めなければならない。なお、２期に分けて納めることができる。
４　聴講生は、別表第８による登録料及び聴講料を納めなければならない。
５　研究生は別表第８による研究指導料を納めなければならない。ただし、実験実習の費用を要する場合には別に実費を納めなければならない。
６　科目等履修生は別表第８による登録料及び聴講料を納めなければならない。ただし、実験実習の費用を要する場合には別に実費を納めなければならない。
７　いったん納入した学費は返還しない。ただし、入学の許可を得た者で、所定の期日までに入学手続きの取消しを願い出た者については、入学金を除く学費を返還する。
第５１条　学費を延納しなければならない事由があるときは、直ちにその旨を願い出て許可を得なければならない。
第５２条　成績優秀にして学費の支弁が困難な者には、学費を貸与することができる。
第１３章　賞罰
第５３条　品行方正で学業優秀な者、又は他の学生の範とすべき篤行のある者は表彰することができる。
第５４条　本学学生にして本分に反した行為があった場合はその軽重に従い譴責、停学又は退学処分に付される。
２　本分に反する行為及びその取扱いについては、別に定める。
第５５条　次の各号の１に該当する者は退学させることができる。

(1)　性行不良で改善の見込がないと認められる者
(2)　学業成績劣等で、成業の見込がないと認められる者
(3)　正当な理由なく出席常でない者
(4)　大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
(5)　反社会的行為により、法律上の処分又はそれに準ずる扱いを受けた者

第１４章　委託生、科目等履修生、外国人学生及び留学生

第５６条　大学における授業科目の１又は複数を履修しようとする者は選考の上、委託生、科目等履修生として入学を許可することができる。

２　委託生及び科目等履修生に関する必要な事項は、別に定める。

第５７条　外国人で入学しようとする者があるときは、選考の上、外国人学生として入学を許可することができる。

第５８条　外国人学生に関する必要な事項は別に定める。

第５８条の２　留学生の別科に関する必要な事項は別に定める。

第１５章　研究生、国家試験対策生及び聴講生

第５９条　本学において学位取得を目的とせず、特定主題について研究を志願する者があるときは選考の上、研究生として入学を許可することができる。

２　研究生に関する必要な事項は、別に定める。

第５９条の２　本学を卒業した者のうち、国家試験を受験することを目的として学修する意欲がある者があるときは、国家試験対策生として入学を許可することができる。

２　国家試験対策生に関する必要な事項は、別に定める。

第６０条　本学において聴講を志願する者があるときは、当該学部の教育及び研究に妨げのない場合に限り、聴講生として入学を許可することができる。

２　聴講生に関する必要な事項は、別に定める。

第６１条　聴講生は聴講した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した時は本人の請求により証明書を与える。

第１６章　公開講座

第６２条　本学に公開講座を開設することができる。

第６３条　公開講座に関する規定は、別に定める。

第１７章　自己点検・評価等

第６４条　本学の教育研究水準の向上を図り、本学設置の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする。

２　前項の自己点検・評価の結果について、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受けるものとする。

３　自己点検・評価の実施について必要な事項は、別に定める。

第６５条　本学は、本学教員の教育研究活動及び職員の教育研究等支援における資質向上・能力開発に関する授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

２　前項の研修及び研究の実施について必要な事項は、別に定める。

第６６条　本学は、教育研究活動等の状況並びに教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報等（以下「教育情報」という。）を公表する。

２　教育情報の公表について必要な事項は、別に定める。

附　則　本学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 62 年度入学生については、別表第 11（学費）に限り従前の例による。

附　則

本学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、昭和63年度以前の入学生については、別表第11（学費）に限り従前の例による。

附　則

本学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、平成元年度以前の入学生については、別表第11（学費）に限り従前の例による。

附　則

1　本学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、平成2年度以前の入学生については、別表第2（一般教育科目等授業科目及び単位数）から別表第11（学費）に限り従前の例による。

2　第5条の規定にかかわらず、入学定員は、平成3年度より平成11年度までの間は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
理工学部	基礎理学科	60人
	物性学科	60人
	電子工学科	120人
	機械工学科	120人
人文学部	日本文学科	90人
	英米文学科	90人
	社会学科	90人
合計		630人

3　第25条第1項の人文学部社会学科の高等学校教諭1種免許状「地理歴史」及び「公民」の教科に関して、及び別表第6（教職課程授業科目及び単位数）については、平成2年度人文学部社会学科入学生に対しても適用するものとする。

附　則

本学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、平成3年度以前の入学生については、別表第2（一般教育科目等授業科目及び単位数）から別表第11（学費）に限り従前の例による。また学位の授与については平成3年度卒業生に対しても適用する。

附　則

本学則は、平成8年4月1日から施行する。ただし、平成7年度以前の入学生については、別表第2（一般教育科目等授業科目及び単位数）から別表第11（学費）に限り従前の例による。

附　則

本学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、平成8年度以前の入学生については、第8章（授業科目及び単位）、第9章（履修方法）及び別表第11（学費）に限り従前の例による。

附　則

本学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、平成9年度以前の入学生については別表第11（学費）に限り従前の例による。

附　則

1　本学則は、平成12年4月1日から施行する。

2　第6条の規定にかかわらず、入学定員は平成12年度より平成16年度までの間は次のとおりとする。

年度 学部学科	平　成12年度	平　成13年度	平　成14年度	平　成15年度	平　成16年度

理工学部	基礎理学科	60 人	60 人	60 人	60 人	60 人
	物性学科	50 人	40 人	40 人	40 人	40 人
	電子工学科	119 人	118 人	112 人	106 人	100 人
	機械工学科	119 人	118 人	112 人	106 人	100 人
人文学部	日本文学科	87 人	82 人	79 人	76 人	73 人
	英米文学科	84 人	80 人	78 人	75 人	72 人
	社会学科	90 人	90 人	86 人	83 人	80 人
合計		609 人	588 人	567 人	546 人	525 人

附　則

1　本学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条は、平成 13 年度入学生より適用する。

2　［基礎理学科、物性学科、電子工学科、日本文学科、英米文学科、社会学科の存続に関する経過処置］

基礎理学科、物性学科、電子工学科、日本文学科、英米文学科、社会学科は、学則第 3 条の規定にかかわらず平成 12 年 3 月 31 日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

3　第 6 条及び平成 12 年附則第 2 項の規定にかかわらず、入学定員は平成 13 年度より平成 15 年度までの間は次のとおりとする。

年度 / 学部学科		平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
理工学部	環境理学科	105 人	98 人	94 人
	電子情報学科	98 人	92 人	86 人
	機械工学科	97 人	91 人	85 人
人文学部	言語文化学科	126 人	125 人	123 人
	現代社会学科	87 人	86 人	83 人
	心理学科	75 人	75 人	75 人
合計		588 人	567 人	546 人

附　則

本学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 43 条の復学の時期については平成 15 年度以前の入学生についても適用する。また、別表第 11 学費の入学検定料は平成 15 年 4 月 1 日から適用する。

附　則

1　本学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 16 年度以前の入学生については従前の例による。

2　［環境理学科、電子情報学科、機械工学科、言語文化学科の存続に関する経過処置］

環境理学科、電子情報学科、機械工学科、言語文化学科は、学則第 3 条の規定にかかわらず平成 17 年 3 月 31 日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則

本学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。ただし、科学技術学部生命環境学科の選択科目「自然体験プログラム」追加は、平成 17 年度以降入学者にも適用する。

附　則

本学則は、平成 20 年 6 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

1　本学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 21 年度以前の入学生については従前の例による。

2　［生命環境学科、電子情報学科、システムデザイン工学科の存続に関する経過処置］

生命環境学科、電子情報学科、システムデザイン工学科は、学則第 3 条の規程にかかわらず平成 22 年 3 月 31 日に当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

附　則

本学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 22 年度以前の入学生については、第 32 条に限り従前の例による。

附　則

本学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 21 条第 1 項第 3 号、第 24 条第 1 項第 3 号及び別表 5 については、平成 25 年度入学生から適用する。

附　則

本学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年度以前の入学生については従前の例による。

2　［科学技術学部科学技術学科の存続に関する経過措置］

科学技術学部科学技術学科は、学則第 3 条の規定にかかわらず平成 27 年 3 月 31 日に当該学部学科に在籍する者が当該学部学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

3　［人文学部表現文化学科、現代社会学科、心理学科の存続に関する経過措置］

人文学部表現文化学科、現代社会学科、心理学科は、学則第 3 条の規定にかかわらず平成 27 年 3 月 31 日に当該学部学科に在籍する者が当該学部学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

4　第 6 条の規定にかかわらず、平成 23 年度から平成 26 年度までの入学生については、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
科学技術学部	科学技術学科	130 人	520 人
人文学部	表現文化学科	90 人	360 人
	現代社会学科	95 人	380 人
	心理学科	90 人	360 人
薬学部	薬学科	90 人	540 人
計		495 人	2,160 人

附　則

本学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年度以前の入学生については従前の例による。

附　則

本学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

1　本学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年度以前の入学生については従前の例による。

2　［教養学部　地域教養学科の存続に関する経過措置］

教養学部地域教養学科は、学則第 3 条の規定にかかわらず平成 31 年 3 月 31 日に当該学部学科に在籍する者が当該学部学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする、

3　第 6 条の規定にかかわらず、平成 28 年度から平成 30 年度までの入学生については、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
教養学部	地域教養学科	120 人	480 人
薬学部	薬学科	90 人	540 人
看護学部	看護学科	80 人	320 人
計		290 人	1,340 人

4　大学の名称変更については、平成 31 年 4 月 1 日以降に在籍するすべての学生に適用する。

5　別表第 7 進級基準については、平成 30 年度以前の入学生にも適用し、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

6　留学生別科については、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

本学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 31 年度以前の入学生については従前の例による。

2　第 6 条の規定にかかわらず、平成 31 年度の入学生については、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	90 人	540 人
看護学部	看護学科	80 人	320 人
健康医療科学部	作業療法学科	40 人	160 人
	理学療法学科	60 人	240 人
計		270 人	1,260 人

附　則

本学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年度以前の入学生については従前の例による。

2　第 6 条の規定にかかわらず、令和 2 年度の入学生については、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	90 人	540 人
看護学部	看護学科	80 人	320 人
健康医療科学部	作業療法学科	40 人	160 人
	理学療法学科	60 人	240 人
心理学部	臨床心理学科	60 人	240 人
計		330 人	1,500 人

附 則

本学則は、令和 3 年 12 月 1 日から施行する。

附 則

1　本学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 3 年度以前の薬学部、看護学部、及び国際看護学部の入学生の教育課程については、従前の例による。

2　第 6 条の規定にかかわらず、令和 3 年度の入学生については、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	90 人	540 人
看護学部	看護学科	80 人	320 人
健康医療科学部	作業療法学科	40 人	160 人
	理学療法学科	60 人	240 人
心理学部	臨床心理学科	60 人	240 人
国際看護学部	看護学科	80 人	320 人
計		410 人	1,820 人

3　心理学部の学費の変更については、令和 4 年 4 月 1 日以降に在籍する心理学部の学生に適用する。

附 則

1　本学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 4 年度以前の健康医療科学部の入学生の教育課程については、従前の例による。

附　則

1　本学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 5 年度以前の薬学部、看護学部、心理学部の入学生の教育課程については、従前の例による。

附　則

1　本学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 6 年度以前の入学生については従前の例による。

2　第 6 条の規定にかかわらず、令和 6 年度の入学生については、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	60 人	360 人
看護学部	看護学科	80 人	320 人
健康医療科学部	作業療法学科	40 人	160 人
	理学療法学科	60 人	240 人
心理学部	臨床心理学科	60 人	240 人
国際看護学部	看護学科	80 人	320 人
計		380 人	1,640 人

別表第１　学部学科の人材の養成に関する目的及び教育研究上の目的

(1) 薬学部

学部		薬学部は、本学の教育理念・目的を踏まえて、「一人ひとりの学生を大切にする手塩にかける教育を行い、従来の薬剤師としての職能に加えて、チーム医療の中で貢献できる、問題発見能力と問題解決能力を備えた薬剤師を育成し、地域社会に有為な人材を送り出すこと」を理念とし、以下の様に教育上の目的、研究上の目的を定めます。 教育上の目的：豊かな人間性を有し、率先して地域の人々の健康の増進・向上に寄与することのできる、研究マインドと確かな知識に裏打ちされた、自律・自立した薬剤師を育成すること 研究上の目的：臨床的な問題解決から基礎研究まで、多様な視点での研究活動を行い、科学と社会に貢献すること
学科	薬学科	薬学部薬学科は、薬学部薬学科の教育研究上の目的に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。 1.薬剤師として関わる全ての状況で求められるプロフェッショナリズムを継続的に考えていく姿勢と、総合的に患者・生活者をみる心構えを身につけている。 2.薬学的視点から医療分野における課題を的確に見出して解決するため、研究マインドと薬学的知識・技能を修得し、薬学の発展に貢献する意欲をもっている。 3.多職種連携を通じた患者・生活者指向の医療を実施するために、多様な専門職を理解し円滑なコミュニケーションをとることができる。 4.社会における薬剤師の責務を理解し、医療・福祉・公衆衛生を担うと共に、適切な薬物治療や薬学的管理を実践できる基本的能力を身につけている。 5.高度化する情報・科学技術に適切に対応しつつ医療・福祉・公衆衛生の向上を視野に入れ、自他ともに研鑽しつづける気概をもっている。

(2)看護学部

学部		看護学部は、本学の教育理念・目的を踏まえて、幅広い教養と豊かな人間性を養い、看護専門職として必要とされる基本的な知識・技能・態度に基づいた看護実践能力を修得するとともに、将来にわたり看護の向上に資するための能力を養い（すなわちESD: Education for Sustainable Developmentを実践し）、人々の健康の保持増進に寄与することのできる人材を育成することを教育研究上の目的とする。
学科	看護学科	看護学部の教育目的を達成するために以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 １．広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。 ２．EBN（Evidence Based Nursing：根拠に基づいた看護）に基づき、自律的に看護を実践することができる。 ３．生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。 ４．地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。 ５．看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

(3)健康医療科学部

学部	健康医療科学部は、本学の教育理念・目的を踏まえて、地域で生活するあらゆる世代の人々がその人らしく、健康を維持・増進しながら、必要に応じて効果的な医療サービスを受け、可能な限り自立した生活ができるよう、健康から疾病の回復に至るまで連続的な視点で捉え、科学的根拠に裏づけされた専門的知識・技術を備えた専門職者（Evidence-Based Practitioner）を育成することを教育研究上の目的とする。さらに、高齢化が進む地域医療等の現場において、住民の真の声に耳を傾けきめ細かな地域ニーズを調査できる人材、また、課題解決に向けた具体的な計画を立案し、着実に実施できる人材を育成する。 健康医療科学部の学位授与の方針 １．広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進および疾病からの回復の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。 ２．地域の健康・医療課題を的確に把握し、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。 ３．健康・医療に関わる課題を解決するために科学的思考が展開できる。 ４．健康・医療に関わる専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。

学科	作業療法学科	健康医療科学部作業療法学科の教育目的を達成するために以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 1．広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。 2．地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。 3．健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。 4．健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。
	理学療法学科	健康医療科学部理学療法学科の教育目的を達成するために以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 1．広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。 2．地域に住む人々の健康・医療課題を的確に把握し、疾病や障害を予防することや、疾病や障害から生ずる身体機能および能力の回復・改善を促すことを通して、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。 3．健康・医療に関わる課題を解決するために、理学療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた理学療法技術を駆使して日常生活活動に関わる基本動作や身体能力の維持・改善に対する支援ができる。 4．健康・医療に関わる理学療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。

(4) 心理学部

学部		心理学の専門性を備えて社会の中で自らの心の健康のみならず、対人関係の調整やストレスへの対処などに関する専門的な知識を持ち、人間関係の調整に役立つスキルを備えた社会人を育成する。 そのため、「①現代社会の諸問題に対し、心理学や実証科学的な観点に立ち、適切な情報処理と問題解決ができるための知識・技能を修得する。②多様な社会生活において、自分や周囲の人たちの心の健康を維持・促進するために、柔軟でバランスのとれた人間―環境理解とそれに基づいた対応ができるための知識・技能・態度を修得する。③卒業後に公認心理師の受験資格取得をめざし、保健医療や福祉、教育、その他の分野において「心の専門家」として活躍できるための基礎的な心理学の知識・技能を修得する。」ことを教育研究上の目的とする。 心理学部の学位授与の方針 1．変化する社会に対応し、周囲の人たちと協働しながら、生涯にわたり主体的に学び続ける意欲・態度を修得している。 2．社会人として、自分や周囲の人たちの心の健康に関する心理学の基礎的な知識・技能を修得している。 3．社会人として、多様な人間関係を理解し、対応するための心理学の基礎的な知識・技能を修得している。 4．実証科学としての心理学の観点に立ち、適切に情報を処理し、現代社会の諸問題を解決するための基礎的な思考力・判断力・表現力を修得している。
学科	臨床心理学科	臨床心理学科では、基礎心理学と臨床心理学をバランスよく学び、現代社会における多様なニーズに応え、地域社会や職場、家庭におけるさまざまな問題に心理学の観点からアプローチできる人材を養成する。 そのため、「①人の生涯発達や認知機能、社会的行動について基本的な知識を身につける。②対人支援に関する知識やスキルと、メンタルヘルスに関する基礎的な知識を統合的に身につける。③円滑な対人関係を維持するための基本的な能力を身につける。④公認心理師や臨床心理士を目指す学生は、大学卒業時点では、受験資格を取得できないため、受験資格取得につながる基礎的な知識・技能・態度を身につける。」ことを学科の教育研究上の目的とする。 心理学部臨床心理学科の教育目的を達成するために以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 心理学部の学位授与の方針 1．変化する社会に対応し、周囲の人たちと協働しながら、生涯にわたり主体的に学び続ける意欲・態度を修得している。 2．社会人として、自分や周囲の人たちの心の健康に関する心理学の基礎的な知識・技能を修得している。 3．社会人として、多様な人間関係を理解し、対応するための心理学の基礎的な知識・技能を修得している。 4．実証科学としての心理学の観点に立ち、適切に情報を処理し、現代社会の諸問題を解決するための基礎的な思考力・判断力・表現力を修得している。

(5)国際看護学部

学部		国際看護学部では、本学の教育理念・目的を踏まえ、多文化共生社会となっていく社会構造の変化に対応するため、グローバルな視点をもった「社会に有為な保健医療人材の養成」を行うことを目指している。 グローバル化した社会においては、出身国が異なる人々に対し、その人の生まれ育った歴史を含めた全人的な存在そのものを受け入れながら、より質の高い看護ケアを提供することが求められる。そのためには、世界標準言語である英語を駆使して看護ケアを実施できることはもとより、異文化理解を含む、広い視野を持ち、慣習の違いを超えた人間的な関わりとコミュニケーション技術、さらには高度な情報処理能力に基づく科学的な考え方と研究する力を持った看護専門職が要求される。国際看護学部では、このような看護の新しい役割を担えるような人材を育成する。
学科	看護学科	看護学科では、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。 １．多文化社会に対応できる柔軟な能力、および広い視野と高い倫理観を持ち、グローバル化する次代の医療を担える看護能力を身につけている。 ２．科学的な根拠（エビデンス）に基づき、必要な看護ケアを適切に提供できる専門的知識と専門技術を身につけている。 ３．情報を正しく捉えて分析し、科学的に考えることのできる研究心を身につけている。 ４．優れた健康科学や看護ケアを世界に発信できる質の高い看護専門性を身につけている。 ５．看護専門職として生涯にわたり持続可能な主体的学修心を身につけている。

別表第２　全学共通教育科目及び単位数

(1)初年次教育科目

授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	備考
イグナイト教育1A	2		(薬学部)
イグナイト教育1B	2		(薬学部)
フレッシャーズセミナー	2		(看護学部、健康医療科学部、国際看護学部)
フレッシャーズセミナー1	2		(心理学部)
フレッシャーズセミナー2	2		(心理学部)
計	10	0	

(2)リテラシー教育科目

授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	備考
日本語リテラシー	1		
コンピュータリテラシー※1	1		※1 健康医療科学部は選択
計	2	0	

(3)外国語教育科目

授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	備考
英語A1	1		
英語A2	1		
英語B1※1	1		※1健康医療科学部は選択
英語B2※1	1		※2看護学部、健康医療科学部は選択
英語C1※2	1		2年次から4年次に履修
英語C2※2	1		2年次から4年次に履修
中国語1※3		1	※3薬学部・看護学部・国際看護学部・心理学部のみ開講 2年次から4年次に履修
中国語2※3		1	2年次から4年次に履修
韓国語1		1	2年次から4年次に履修
韓国語2		1	2年次から4年次に履修
計	6	4	

外国人留学生においては、英語の代わりに単位数分の日本語を修得しなければならない。

また、国際看護学部においては、中国語、もしくは韓国語のいずれかの言語科目から2単位以上修得すること。

(4)一般教養科目

	授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	備考
人文科学分野	哲学の世界		2	※1「世界の歴史と文化」は、薬学部・看護学部・国際看護学部・心理学部のみ開講。国際看護学部においては、当該科目を「社会科学分野」とする。 ※2「芸術の世界」「日本の歴史と文化」は薬学部・看護学部・心理学部のみ開講 ※3 心理学部は必修
	ことばの科学		2	
	心理学概論※3		2	
	世界の歴史と文化※1		2	
	倫理学の世界		2	
	芸術の世界※2		2	
	文学の世界		2	
	日本の歴史と文化※2		2	
社会科学分野	法学入門※2		2	※1「経済学入門」「経営学入門」「ジェンダー論」は薬学部・看護学部・心理学部のみ開講 ※2 国際看護学部は「法学入門」「社会学入門」「世界の歴史と文化」を開講。「世界の歴史と文化」は国際看護学部のみ「社会科学分野」として位置付ける。
	経済学入門※1		2	
	社会学入門※2		2	
	災害からの復興		2	
	暮らしのなかの憲法		2	
	経営学入門※1		2	
	ジェンダー論※1		2	
	政治学入門		2	
	（世界の歴史と文化）※2		(2)	
自然科学分野	自然科学のあゆみ※2		2	※1「地球環境の科学」は薬学部・看護学部・心理学部のみ開講 ※2 国際看護学部は「自然科学のあゆみ」「統計のしくみ」「生命の科学」「情報演習」のみ開講。 ※3 国際看護学部のみ開講。
	健康と薬		2	
	統計のしくみ※2		2	
	生命の科学※2		2	
	食品の科学		2	
	地球環境の科学※1		2	
	情報演習※3	2		
	計	2	44	

(5)健康・スポーツ教育科目

授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	備考
健康の科学	2		
健康・スポーツ1※	1		※健康医療科学部は1科目選択必修
健康・スポーツ2※	1		
計	4	0	

別表第３　薬学部専門科目及び単位数

薬学科

		授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	イグナイト教育	イグナイト教育 2A	2			
		イグナイト教育 2B	2			
		イグナイト教育 3A	2			
		イグナイト教育 3B	2			
		イグナイト教育 4	2			
		小計(5 科目)	10	0	0	
	数学・英語・実習入門	数学入門		1		
		数学	2			
		数学基礎演習 1		1		
		数学基礎演習 2		1		
		DX ビッグデータ活用	1			
		臨床統計学	1			
		薬学英語入門	1			
		薬学英語	1			
		自然科学実習入門	2			
		小計(9 科目)	8	3	0	
	物理系	物理学	2			
		物理学演習 1	1			
		物理学演習 2	1			
		物理系実習	2			
		物理化学 1	1			
		物理化学 2	1			
		物理化学 3	1			
		薬品分析学基礎	1			
		薬品分析学 1	1			
		薬品分析学 2	1			
		放射薬品学	1			
		臨床分析化学	1			
		物理系薬学特論		0.5		
		小計(13 科目)	14	0.5	0	
	化学系	化学 1	2			
		化学 2	2			
		化学 3	1.5			
		化学演習 1	1			
		化学演習 2	1			
		化学系実習	2			
		スペクトル解析	1.5			
		化学結合論		1		
		無機化学	1			
		有機化学 1	1			
		有機化学 2	1			
		有機化学 3	1			
		有機化学 4	1			

		授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
		生物有機化学	1			
		医薬品化学1	1			
		医薬品化学2	1			
		薬の基原	1			
		生薬学	1			
		植物薬品化学		1		
		化学系薬学特論		0.5		
		小計(20科目)	21	2.5	0	
専門教育科目	生物系	生物学1	1			
		生物学2	1			
		生物学演習1	1			
		生物学演習2	1			
		生物系実習	2			
		機能形態学1	1			
		機能形態学2	1			
		機能形態学3	1			
		生化学1	1			
		生化学2	1			
		細胞分子生物学	1			
		分子生理学	1			
		微生物学	1			
		免疫学	1			
		生物系薬学特論		0.5		
		小計(15科目)	15	0.5	0	
	医療系	薬理学1	1			
		薬理学2	1			
		薬理学3	1			
		薬理学4	1			
		化学療法学1	1			
		化学療法学2	1			
		漢方医薬学	1			
		漢方治療学		1		
		病態・臨床検査学	1			
		薬物治療学1	1			
		臨床病態治療学1	1			
		薬物治療学2	1			
		臨床病態治療学2	1			
		薬物治療学3	1			
		臨床病態治療学3	1			
		薬物治療学4	1			
		治療系実習	2			
		医療系薬学特論		0.5		
		小計(18科目)	17	1.5	0	

		授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
	衛生系	衛生化学	1			
		公衆衛生学	1			
		環境衛生学	1			
		衛生系実習	2			
		毒性学	1			
		食品と健康		0.5		
		応用衛生薬学		1		
		衛生系薬学特論		0.5		
		小計(8科目)	6	2	0	
	薬剤系	日本薬局方	1			
		生物薬剤学	1			
		物理薬剤学	1			
		臨床薬物動態学	1			
		製剤学	1			
		調剤系実習	3			
		医薬品開発概論	1			
		生物構造薬学		0.5		
		香粧品学		0.5		
		薬剤系薬学特論		0.5		
		小計(10科目)	9	1.5	0	
専門教育科目	社会系	地域・災害医療学		1		
		地域にでてみよう		1		
		薬事関係法規	1			
		薬事関係制度	1			
		MR実践論		1		
		医療心理学	0.5			
		インターンシップ		1		
		医療倫理学	1			
		社会系薬学特論		0.5		
		小計(9科目)	3.5	4.5	0	
	ファーマドリル	ファーマドリル(2年)	4			
		ファーマドリル(3年)	3			
		ファーマドリル(4年)	1.5			
		ファーマドリル(5年)		2		
		ファーマドリルファイナル	6			
		小計 (5科目)	14.5	2	0	
	臨床系	向精神薬論		1		
		医薬品情報学	1			
		救急・中毒学		1		
		地域・在宅医療	1			
		看護学		0.5		
		終末期医療		0.5		
		臨床栄養学	1			
		臨床薬学1	1			
		臨床薬学2	1			

		授　　業　　科　　目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
		クリニカルケーススタディ		1		
		臨床系薬学特論		0.5		
		小計(11 科目)	5	4.5	0	
	実務実習	プレ実務実習	5			
		実務実習(病院)	10			
		実務実習(薬局)	10			
		アドバンスト実務実習	2			
		小計（4 科目）	27	0	0	
	卒業研究	卒業研究(4 年)	1			
		卒業研究(5 年)	3			
		卒業研究(6 年)	3			
		薬学コロキウム(4 年)	2			
		薬学コロキウム(5 年)	2			
		薬学コロキウム(6 年)	2			
		研究マインド醸成 1		2		
		研究マインド醸成 2		2		
		研究マインド醸成 3		2		
		小計（9 科目）	13	6	0	
合計（136 科目）			163	28.5	0	

別表第４　看護学部専門科目及び単位数

看護学科

		授業科目		必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能１		2			
		人体の構造と機能２		2			
		生化学		2			
		人間栄養学		2			
		微生物学		2			
		薬理学		2			
		臨床心理学		1			
		疾病治療論１		2			
		疾病治療論２		2			
		疾病治療論３		1			
		放射線と環境		1			
		放射線と人体		1			
		社会福祉学		2			
		公衆衛生学		2			
		保健統計学			2		
		疫学			2		
		保健医療福祉行政論			2		
		ＩＣＴ基礎実習				1	
		小計(18科目)		24	6	1	
	専門分野	基礎看護学	看護実践基盤学Ⅰ（看護学原論）	2			
			看護実践基盤学Ⅱ(コミュニケーション)	2			
			看護実践基盤学Ⅲ(アセスメント技術)	2			
			看護実践基盤学Ⅳ(生活援助技術)	2			
			看護実践基盤学Ⅴ(診療補助技術)	2			
			看護実践基盤学Ⅵ(看護過程)	2			
			看護実践基盤学実習（基礎）1	1			
			看護実践基盤学実習（基礎）2	2			
		成人看護学	生涯発達看護学（成人）	1			
			健康生活看護学(成人概論)	1			
			健康生活看護学(成人・急性期)	1			
			健康生活看護学(成人・周手術期)	1			
			健康生活看護学(成人・慢性期)	1			
			健康生活看護学(成人・回復終末期)	1			
			健康生活看護学実習（成人）	6			
		老年看護学	生涯発達看護学（老年）	1			
			健康生活看護学(老年概論)	1			
			健康生活看護学(老年援助)	2			
			健康生活看護学実習（老年）1	1			
			健康生活看護学実習（老年）2	3			
		母性看護学	生涯発達看護学（母性）	1			
			健康生活看護学(母性概論)	1			
			健康生活看護学(母性援助)	2			
			健康生活看護学実習（母性）	2			
		小児看護学	生涯発達看護学（小児）	1			
			健康生活看護学(小児概論)	1			
			健康生活看護学(小児援助)	2			
			健康生活看護学実習（小児）	2			
		精神看護学	健康生活看護学(精神概論)1	1			
			健康生活看護学(精神概論)2	1			
			健康生活看護学(精神援助)	2			
			健康生活看護学実習（精神）	2			
		小計(32科目)		53	0	0	

		授業科目		必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	統合分野	在宅看護論	地域養生看護学（在宅概論）	2			
			地域養生看護学(地域ケアシステム論)	2			
			地域養生看護学（在宅援助）	2			
			地域養生看護学実習（在宅）	2			
		看護の統合と実践	看護倫理	1			
			チーム医療	1			
			看護マネジメント	1			
			医療安全	1			
			国際看護活動論	1			
			放射線と健康支援	1			
			災害看護	1			
			災害看護演習	1			
			訪問看護マネジメント	1			
			リハビリテーション看護論		1		
			コンサルテーション論		1		
			緩和ケア		1		
			クリティカルケア		1		
			看護学シミュレーション	1			
			看護学統合実習	2			
			看護援助技術レファレンス	2			
			看護研究	1			
			卒業研究	2			
		小計(22科目)		25	4	0	
保健師養成課程科目		公衆衛生看護学概論				2	
		公衆衛生看護方法論1				2	
		公衆衛生看護方法論2				2	
		公衆衛生看護活動論				2	
		学校保健・産業保健				2	
		公衆衛生看護管理論				2	
		公衆衛生看護学実習A				2	
		公衆衛生看護学実習B				3	
		小計(8科目)		0	0	17	
合計（80科目）				102	10	18	

実習の履修要件

	科目名	単位数	開講時期	実習の履修要件	
				単位修得済みであること	定期試験受験資格を得ている状態であること
1	看護実践基盤学実習（基礎）1	1	1後	・看護実践基盤学Ⅰ（看護学原論）	・看護実践基盤学Ⅱ（コミュニケーション） ・看護実践基盤学Ⅲ（アセスメント） ・看護実践基盤学Ⅳ（生活援助技術）
2	看護実践基盤学実習（基礎）2	2	2前	・看護実践基盤学Ⅱ（コミュニケーション） ・看護実践基盤学Ⅲ（アセ	・看護実践基盤学Ⅴ（診療補助技術）

				スメント） ・看護実践基盤学Ⅳ（生活援助技術） ・看護実践基盤学実習（基礎）1	・看護実践基盤学Ⅵ（看護過程）
3	健康生活看護学実習（老年）１	1	2 後	・生涯発達看護学（老年） ・健康生活看護学（老年概論）	・健康生活看護学（老年援助）
4	健康生活看護学実習（精神）	2	3 通	・健康生活看護学(精神概論)1 ・健康生活看護学(精神概論)2 ・健康生活看護学(精神援助) ・看護実践基盤学実習（基礎）２	
5	健康生活看護学実習（成人）	6	3 通	・生涯発達看護学（成人） ・看護実践基盤学実習（基礎）２ ・健康生活看護学（成人概論） ・健康生活看護学（成人・急性期） ・健康生活看護学（成人・慢性期） ・健康生活看護学（成人・周手術期） ・健康生活看護学（成人・回復終末期）	
6	健康生活看護学実習（母性）	2	3 通	・生涯発達看護学（母性） ・健康生活看護学（母性概論） ・健康生活看護学（母性援助） ・看護実践基盤学実習（基礎）２	
7	健康生活看護学実習（小児）	2	3 通	・生涯発達看護学（小児） ・健康生活看護学（小児概論） ・健康生活看護学（小児援	

				助） ・看護実践基盤学実習（基礎） 2	
8	健康生活看護学実習（老年） 2	3	3 通	・健康生活看護学（老年援助） ・看護実践基盤学実習（基礎） 2 ・健康生活看護学実習（老年） 1	
9	地域養生看護学実習（在宅）	2	3 通	・地域養生看護学（在宅概論） ・地域養生看護学（在宅援助） ・地域養生看護学（地域ケアシステム論） ・看護実践基盤学実習（基礎） 2	
10	看護学統合実習	2	4 前	・3 年次までの臨地実習科目全て ・看護マネジメント	
11	公衆衛生看護学実習Ａ	2	4 前	・3 年次までの必修科目全て ・保健統計学 ・疫学・保健医療福祉行政論 ・公衆衛生看護学概論 ・学校保健・産業保健	・公衆衛生看護方法論 1 ・公衆衛生看護方法論 2 ・公衆衛生看護活動論
12	公衆衛生看護学実習Ｂ	3	4 前	・3 年次までの必修科目全て ・保健統計学 ・疫学・保健医療福祉行政論 ・公衆衛生看護学概論 ・学校保健・産業保健	・公衆衛生看護方法論 1 ・公衆衛生看護方法論 2 ・公衆衛生看護活動論

別表第５　健康医療科学部専門科目及び単位数

作業療法学科

			授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造Ⅰ	2			
			人体の構造Ⅱ	2			
			人体の構造Ⅲ	2			
			人体の構造Ⅳ	2			
			人体の構造演習	1			
			人体の機能Ⅰ	2			
			人体の機能Ⅱ	2			
			人体の機能演習	1			
			運動学	2			
			運動学演習	1			
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	2			
			薬理学	2			
			救急処置法	2			
			神経内科学	2			
			整形外科学	2			
			小児科学		2		
			精神医学	2			
			臨床心理学	2			
			内科学	2			
			公衆衛生学		2		
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	社会福祉学概論	2			
			チーム医療演習	1			
			リハビリテーション概論	2			
		小計（23科目）		38	4		
	専門科目	基礎作業療法学	作業療法基礎理論	2			
			リスク管理論		1		
			科学的根拠に基づく実践	2			
			生物統計学		2		
			基礎作業学演習	1			
			卒業研究Ⅰ	2			
			卒業研究Ⅱ	2			
		作業療法管理学	作業療法学概論	1			
			臨床教育と管理	2			
			作業療法教育学		2		
			作業療法教育学と生涯学習		2		
		作業療法評価学	作業評価学演習	1			
			検査測定法演習	1			
			身体機能評価学演習	1			
			精神機能評価学	2			
			精神機能評価学演習	1			
			発達機能評価学演習	1			

			授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	専門科目	作業療法治療学	日常生活活動学	2			
			日常生活活動学演習	1			
			身体機能作業療法学Ⅰ	2			
			身体機能作業療法学Ⅱ	2			
			身体機能作業療法学Ⅲ	1			
			身体機能作業療法学演習	1			
			精神機能作業療法学	2			
			精神機能作業療法学演習		1		
			老年期作業療法学	2			
			老年期作業療法学演習	1			
			発達と作業療法学演習	1			
			高次脳機能作業療法学演習	1			
			義肢装具学演習	1			
			臨床推論演習	1			
			作業療法セミナーⅠ	1			
			作業療法セミナーⅡ	1			
		地域作業療法学	地域作業療法学	2			
			地域作業療法学演習	1			
			住環境整備・福祉用具学演習		1		
			地域保健マネジメント論	1			
			就労支援と作業療法演習	1			
		臨床実習	見学実習	1			
			地域包括ケアシステム実習	2			
			評価学実習	4			
			臨床能力演習	2			
			臨床実習Ⅰ	8			
			臨床実習Ⅱ	8			
		小計（44科目）		69	9		
合計（67科目）				107	13		

理学療法学科

			授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造Ⅰ	2			
			人体の構造Ⅱ	2			
			人体の構造Ⅲ	2			
			人体の構造Ⅳ	2			
			人体の構造演習	1			
			人体の機能Ⅰ	2			
			人体の機能Ⅱ	2			
			人体の機能演習	1			
			運動学	2			
			運動学演習	1			
			人間発達学	2			
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	2			
			薬理学	2			
			救急処置法	2			
			神経内科学	2			
			整形外科学	2			
			小児科学		2		
			精神医学	2			
			臨床心理学	2			
			内科学	2			
			公衆衛生学		2		
			高次脳機能障害学		1		
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	社会福祉学概論	2			
			チーム医療演習	1			
			リハビリテーション概論	2			
		小計（25科目）		40	5		
	専門科目	基礎理学療法学	リスク管理論		1		
			科学的根拠に基づく実践	2			
			生物統計学		2		
			卒業研究Ⅰ	2			
			卒業研究Ⅱ	2			
			理学療法学概論	1			
		理学療法管理学	臨床教育と管理	2			
			理学療法教育学と生涯学習		2		
			理学療法教育学		2		
		理学療法評価学	基礎理学療法評価学	1			
			専門理学療法評価学		1		
			関節運動測定演習	2			
			感覚運動測定演習	2			
			臨床推論演習	1			

			授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	専門科目	理学療法治療学	運動療法学総論	2			
			日常生活活動分析学演習	1			
			運動器・スポーツ理学療法学Ⅰ	2			
			運動器・スポーツ理学療法学Ⅱ	1			
			神経機能理学療法学Ⅰ	2			
			神経機能理学療法学Ⅱ	1			
			内部障害理学療法学Ⅰ	2			
			内部障害理学療法学Ⅱ	1			
			発達と理学療法学Ⅰ	2			
			発達と理学療法学Ⅱ	1			
			物理療法Ⅰ	1			
			物理療法Ⅱ	2			
			義肢学演習	1			
			装具学演習	1			
			徒手理学療法学	1			
			理学療法セミナーⅠ	1			
			理学療法セミナーⅡ	2			
		地域理学療法学	生活環境学		2		
			地域理学療法学	2			
			地域理学療法学演習	1			
		臨床実習	見学実習	1			
			地域包括ケアシステム実習	2			
			評価学実習	4			
			臨床能力演習	2			
			臨床実習Ⅰ	8			
			臨床実習Ⅱ	8			
		小計（40科目）		67	10		
合計（65科目）				107	15		

別表第６　心理学部専門科目及び単位数

臨床心理学科

		授業科目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
専門教育科目	キャリア教育分野	キャリアデザイン１	2			
		キャリアデザイン２	2			
		キャリアデザイン総合演習１		2		
		キャリアデザイン総合演習２		2		
		小計（4科目）	4	4	0	
	ゼミ・卒業研究分野	心理学基礎演習１	2			
		心理学基礎演習２	2			
		心理学特殊演習１	2			
		心理学特殊演習２	2			
		卒業研究	8			
		小計（5科目）	16	0	0	
	研究法分野	心理学統計法１	2			
		心理学研究法	2			
		心理学実験１	2			
		心理学統計法２	2			
		心理学実験２	2			
		心理学調査概論		2		
		心理学発展研究演習		2		
		心理学コンピュータ演習	2			
		小計（8科目）	12	4	0	
	基礎心理学分野	心理学への招待	2			
		知覚・認知心理学	2			
		学習・言語心理学	2			
		視覚心理学		2		
		神経・生理心理学		2		
		小計（5科目）	6	4	0	
	教育・発達心理学分野	発達心理学１	2			
		発達心理学２	2			
		教育・学校心理学１	2	2		
		教育・学校心理学２		2		
		小計（4科目）	4	4	0	
	臨床心理学分野	臨床心理学概論	2			
		臨床心理学特講		2		
		感情・人格心理学	2			
		福祉心理学		2		
		司法・犯罪心理学		2		
		公認心理師の職責		1		
		心理的アセスメント１		2		
		心理学的支援法１		2		
		心理的アセスメント２		2		
		心理学的支援法２		2		
		心理演習		2		
		心理実習		4		
		小計（12科目）	4	21	0	
	社会・産業心理学分野	社会・集団・家族心理学１	2			
		社会・集団・家族心理学２	2			
		産業・組織心理学	2	2		
		人間関係論		2		
		小計（4科目）	4	4	0	

		授　業　科　目	必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由科目の単位数	備考
	健康・医療分野	健康・医療心理学 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 障害者・障害児心理学		2 2 2 2		
		小計（4科目）	0	8	0	
	関連分野	関係行政論 社会福祉学1 社会福祉学2 社会福祉学特講		2 2 2 2		
		小計（4科目）	0	8	0	
合計（50科目）			50	57	0	

別表第7　国際看護学部専門科目及び単位数

看護学科

		授業科目		必修科目の単位数	選択科目の単位数	自由選択科目の単位数	備考
専門教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能Ⅰ		2			
		人体の構造と機能Ⅱ		2			
		人体の構造と機能Ⅲ		2			
		人体の構造と機能Ⅳ		2			
		こころとからだの探求		1			
		薬物と薬物療法		2			
		疾病と治療Ⅰ		1			
		疾病と治療Ⅱ		2			
		疾病と治療Ⅲ		2			
		公衆衛生学		2			
		医療統計学演習		1			
		健康福祉社会とグローバル化		2			
		地域における健康増進		1			
		小計(13科目)		22	0	0	
	専門分野	基礎看護学	看護学原論	2			
			健康教育と看護倫理	2			
			看護と人間関係	2			
			看護の基礎技術	2			
			基礎看護技術Ⅰ	1			
			基礎看護技術Ⅱ	1			
			フィジカルアセスメント	1			
			基礎看護学実習Ⅰ	1			
			基礎看護学実習Ⅱ	2			
		小計（9科目）		14	0	0	
		地域・在宅看護論	地域・在宅看護学概論	2			
			地域看護と地域包括ケアシステム	2			
			地域・在宅看護活動／援助論	1			
			地域・在宅看護学演習	1			
			地域を学ぶ	1			
			地域・在宅看護学実習	2			
		小計（6科目）		9			
		成人看護学	成人看護学概論Ⅰ（急性期）	2			
			成人看護学概論Ⅱ（慢性期）	2			
			成人急性期の看護方法	1			
			成人慢性期の看護方法	1			
			成人看護学実習Ⅰ	2			
			成人看護学実習Ⅱ	2			
			成人看護学実習（地域連携・多職種連携）	1			
		小計（7科目）		11	0	0	
		老年看護学	老年看護学概論	2			
			老年看護活動／援助論	1			
			老年看護学演習	1			
			老年看護学実習Ⅰ	2			
			老年看護学実習Ⅱ	2			
		小計（5科目）		8	0	0	
		小児看護学	小児看護学概論	1			
			小児看護活動／援助論	1			
			小児看護学演習	2			
			小児看護学実習	2			
		小計（4科目）		6	0	0	

専門教育科目		母性看護学	母性看護学概論	1			
			母性看護活動／援助論	1			
			母性看護学演習	2			
			母性看護学実習	2			
		小計（4科目）		6	0	0	
		精神看護学	精神看護学概論	1			
			精神看護活動／援助論	1			
			精神看護学演習	2			
			精神看護学実習	2			
		小計（4科目）		6	0	0	
	統合分野	国際看護学	医療英語	1			
			国際看護学	2			
			英語診療演習	1			
			国際看護実習Ⅰ	1			
			国際看護実習Ⅱ			1	
		小計（5科目）		5	0	1	
		看護の統合と実践	看護の統合と実践	1			
			看護研究の基礎	2			
			チーム医療と医療安全	1			
			看護マネージメント	1			
			遠隔看護と看護情報	1			
			看護とリハビリテーション	1			
			看護学総合講義	4			
			応用看護演習 ＯＳＣＥ／ＩＢＴ	1			
			看護学統合実習	2			
		小計(9科目)		14	0	0	
合計（66科目）				101	0	1	

別表第８　学　費

入学金	（　薬学部　）	400,000円
	（看護学部）	300,000円
	（健康医療科学部）	300,000円
	（　心理学部　）	200,000円
	（　国際看護学部　）	300,000円

薬学部

費目	1年次	2年次	3年次
授業料	1,000,000円	1,440,000円	1,440,000円
施設設備費	560,000円	560,000円	560,000円

費目	4年次	5年次	6年次
授業料	1,440,000円	1,440,000円	1,440,000円
施設設備費	560,000円	560,000円	560,000円

看護学部

費目	1年次	2年次	3年次	4年次
授業料	800,000円	1,200,000円	1,200,000円	1,200,000円
施設設備費	460,000円	460,000円	460,000円	460,000円

健康医療科学部

費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授　業　料	800,000 円	1,400,000 円	1,400,000 円	1,400,000 円
施設設備費	460,000 円	460,000 円	460,000 円	460,000 円

心理学部

費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授　業　料	700,000 円	800,000 円	800,000 円	800,000 円
施設設備費	300,000 円	300,000 円	300,000 円	300,000 円

国際看護学部

費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授　業　料	1,100,000 円	1,100,000 円	1,100,000 円	1,100,000 円
施 設 設 備 費	400,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円

在籍料（休学者）

学部	半期	年間
薬学部	90,000 円	180,000 円
看護学部	75,000 円	150,000 円
健康医療科学部	80,000 円	160,000 円
心理学部	60,000 円	120,000 円
国際看護学部	75,000 円	150,000 円

聴講生・科目等履修生・研究生・国家試験対策生

聴　講　生	登 録 料	10,000 円
	聴 講 料	1 単位につき　6,250 円
科目等履修生	登 録 料	10,000 円
	聴 講 料	1単位につき　10,000円 ＊本学卒業生は上記の半額
研　究　生	研究指導料	薬　学　部　300,000 円
		看 護 学 部　300,000 円
		健康医療科学部　200,000 円
		心 理 学 部　200,000 円
		国際看護学部　300,000 円
国家試験対策生	指導料	200,000 円 （前期 100,000 円、後期 100,000 円）

留学生別科

入学金	100,000 円
授業料（半期）	285,000 円

別表第９　進級基準

薬学部薬学科

進級判定	進級基準	備考
4 年生まで（各学年）	(1) 当該学年で修得すべき必修科目のうち、不合格となった科目が 3 科目以内であること。 (2) 実験・実習科目に、不合格となった科目がないこと。	
4 年生から 5 年生	(1) 4 年生までの必修科目 141 単位をすべて修得していること。	
5 年生から 6 年生	(1) 実務実習(薬局)・実務実習(病院)に合格していること。ただし特別な理由により実務実習(薬局)または実務実習(病院)をできなかった場合を除く。 (2) 5 年生までの必修科目 150 単位をすべて修得していること。	

看護学部看護学科

進級判定	進級基準	備考
3 年生まで（各学年）	(1)当該学年で修得すべき必修科目のうち、不合格となった科目が 3 科目以内であること。 (2)実習科目に、不合格となった科目がないこと。 (3)同一学年における在学年数が 2 年以内であること。	
3 年生から 4 年生	(1) 当該学年で修得すべき必修科目のうち、不合格となった科目が 3 科目以内であること。 (2) 臨地実習科目に、合格していること。ただし特別な理由により臨地実習をできなかった場合を除く。 (3) 同一学年における在学年数が 2 年以内であること。	

健康医療科学部作業療法学科・理学療法学科

進級判定	進級基準	備考
3 年生まで（各学年）	(1) 当該学年で修得すべき専門教育科目の必修科目のうち、不合格となった科目がないこと。 (2) 実習科目に、不合格となった科目がないこと。 (3) 同一学年における在学年数が 2 年以内であること。	
3 年生から 4 年生	(1) 当該学年で修得すべき専門教育科目の必修科目のうち、不合格となった科目がないこと。 (2) 臨床実習科目に、合格していること。ただし不可抗力な事象（天変地異、事故、急病等）により臨床実習をできなかった場合を除く。 (3) 同一学年における在学年数が 2 年以内であること。	

心理学部臨床心理学科

進級判定	進級基準	備考
2 年生から 3 年生	(1)　2 年以上在学していること。 (2)　全学共通教育科目、専門教育科目あわせて 50 単位以上の単位数を修得していること。 (3)　「心理学基礎演習 1」及び「心理学基礎演習 2」の単位を修得していること。 (4)　2 年生の修了までに、必要な学費を全額納入していること。	
3 年生から 4 年生	(1)　3 年以上在学していること。 (2)　全学共通教育科目、専門教育科目あわせて 90 単位以上の単位数を修得していること。 (3)　「心理学特殊演習 1」及び「心理学特殊演習 2」の単位を修得していること。 (4)　3 年生の修了までに、必要な学費を全額納入していること。	

国際看護学部看護学科

進級判定	進級基準	備考
3 年生まで（各学年）	(1)当該学年で修得すべき必修科目のうち、不合格となった科目が 3 科目以内であること。 (2)実習科目に、不合格となった科目がないこと。	
3 年生から 4 年生	(1)当該学年で修得すべき必修科目のうち、不合格となった科目が 3 科目以内であること。 (2)臨地実習科目に、合格していること。ただし特別な理由により臨地実習をできなかった場合を除く。	

別表第１０　追試験として認められる事由、必要書類、追試験料及び評価基準

事由	必要書類	追試験料	評価基準
1．感染症※	医師の診断書	なし	100 点 満点
2．実習等（教育実習，介護体験，福祉実習，インターンシップ等）	担当部署の発行する書類		
3．就職試験	就職試験案内等（受験票）		
4．忌引（第一親等～第三親等）	死亡診断書の写等		
5．交通機関の遅延	遅延証明書		
6．交通事故	事故証明書		
7．裁判員裁判	公的証明書		
8．その他の公的な事由	公的証明書		
9．その他の私的な事由	学生の所属する学部の学部長押印のある理由書	1,000 円	90 点 満点

※感染症は、学校保健安全法施行規則第 18 条に定められた感染症とする。

別表第１１　再試験として認められる対象者、条件、再試験料及び評価基準

薬学部薬学科

対象者	条件	再試験料	評価基準	備考
全学年	(1) 大学が定める期限までに必要な学費を全額納入している。 (2) 定期試験等を受験し、必修科目が不合格となっている。 （科目数の制限なし） (3) 当該科目の授業の出席が 3 分の 2 を超えている。	1,000 円	60 点満点	

看護学部看護学科

対象者	条件	再試験料	評価基準	備考
全学年	(1) 大学が定める期限までに必要な学費を全額納入している。 (2) 定期試験等を受験し、必修科目が不合格となっている。 （科目数の制限なし） (3) 当該科目の授業の出席が 3 分の 2 を超えている。 (4) 別表第 4 の保健師養成課程科目の定期試験等を受験し不合格となっている（保健師養成課程履修者のみ、科目数の制限なし）。	1,000 円	60 点満点	

健康医療科学部作業療法学科・理学療法学科

対象者	条件	再試験料	評価基準	備考
全学年	(1) 大学が定める期限までに必要な学費を全額納入している。 (2) 必修科目が不合格となっている。（科目数の制限なし） (3) 当該科目の授業の出席が 3 分の 2 を超えている。	1,000 円	60 点満点	

心理学部臨床心理学科

対象者	条件	再試験料	評価 基準	備考
全学年	(1) 大学が定める期限までに必要な学費を全額納入している。 (2) 定期試験等を受験し、必修科目が不合格となっている。 （科目数の制限なし） (3) 当該科目の授業の出席が 3 分の 2 を超えている。	1,000 円	60 点満点	

4年生	(1) 大学が定める期限までに必要な学費を全学納入している。 (2) 後期については、定期試験等を受験し、卒業要件科目のうち必修科目と選択科目あわせて2科目以内が不合格となっている。 (3) 当該科目の授業の出席が3分の2を超えている。			

国際看護学部看護学科

対象者	条件	再試験料	評価基準	備考
全学年	(1)大学が定める期限までに必要な学費を全額納入している。 (2)定期試験等を受験し、必修科目が不合格となっている。 （科目数の制限なし） (3)当該科目の授業の出席が3分の2を超えている。	1,000円	60点満点	

学則の変更の事由及び変更点

（変更の事由）

今回、薬学部薬学科、看護学部看護学科、健康医療科学部作業療法学科、健康医療科学部理学療法学科、心理学部臨床心理学科の入学定員・収容定員を変更することとなったので、これに伴い、学則を次のとおり変更する。

（変更点）

１．第 6 条中、入学定員・収容定員の表の薬学部薬学科、看護学部看護学科、健康医療科学部作業療法学科、健康医療科学部理学療法学科、心理学部臨床心理学科の入学定員、収容定員、合計数を変更する。

学部	学科	入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	40 人	240 人
看護学部	看護学科	55 人	220 人
健康医療科学部	作業療法学科	20 人	80 人
	理学療法学科	55 人	220 人
心理学部	臨床心理学科	40 人	160 人
国際看護学部	看護学科	80 人	320 人
計		290 人	1,240 人

２．第 10 条第 2 項「教授会は、当該学部に所属する専任の教授、准教授、講師、助教をもって組織する。」を「教授会は、当該学部に所属し、教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う者であって、当該学部の教育課程に係る主要授業科目を担当する、または一年につき 8 単位以上の当該学部の教育課程に係る授業科目を担当する教授、准教授、講師、助教をもって組織する。」に変更する。

３．別表第 8 中の学費を変更する。

４．附則として、次の附則を追加する。

「附　則

１　本学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 6 年度以前の入学生については従前の例による。」

２　第 6 条の規定にかかわらず、令和 6 年度の入学生については、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
薬学部	薬学科	60 人	360 人
看護学部	看護学科	80 人	320 人
健康医療科学部	作業療法学科	40 人	160 人
	理学療法学科	60 人	240 人
心理学部	臨床心理学科	60 人	240 人
国際看護学部	看護学科	80 人	320 人
計		380 人	1,640 人

（変更時期）

令和７年４月１日

医療創生大学学則　新旧対照表

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>（略）

第６条　収容定員は次のとおりとする。
<table><tr><th>学部</th><th>学科</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>薬学部</td><td>薬学科</td><td>40 人</td><td>240 人</td></tr><tr><td>看護学部</td><td>看護学科</td><td>55 人</td><td>220 人</td></tr><tr><td rowspan="2">健康医療科学部</td><td>作業療法学科</td><td>20 人</td><td>80 人</td></tr><tr><td>理学療法学科</td><td>55 人</td><td>220 人</td></tr><tr><td>心理学部</td><td>臨床心理学科</td><td>40 人</td><td>160 人</td></tr><tr><td>国際看護学部</td><td>看護学科</td><td>80 人</td><td>320 人</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>290 人</td><td>1,240 人</td></tr></table>
（略）

第１０条　本学各学部に教授会を置く。
２　教授会は、当該学部に所属し、教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う者であって、当該学部の教育課程に係る主要授業科目を担当する、または一年につき８単位以上の当該学部の教育課程に係る授業科目を担当する教授、准教授、講師、助教をもって組織する。

（略）

附　則
１　本学則は、令和７年４月１日から施行する。ただし、令和６年度以前の入学生については従前の例による。
２　第６条の規定にかかわらず、令和６年度の入学生については、次のとおりとする。
<table><tr><th>学部</th><th>学科</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>薬学部</td><td>薬学科</td><td>60 人</td><td>360 人</td></tr><tr><td>看護学部</td><td>看護学科</td><td>80 人</td><td>320 人</td></tr><tr><td></td><td>作業療法学科</td><td>40 人</td><td>160 人</td></tr></table></td><td>（略）

第６条　収容定員は次のとおりとする。
<table><tr><th>学部</th><th>学科</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>薬学部</td><td>薬学科</td><td>60 人</td><td>360 人</td></tr><tr><td>看護学部</td><td>看護学科</td><td>80 人</td><td>320 人</td></tr><tr><td rowspan="2">健康医療科学部</td><td>作業療法学科</td><td>40 人</td><td>160 人</td></tr><tr><td>理学療法学科</td><td>60 人</td><td>240 人</td></tr><tr><td>心理学部</td><td>臨床心理学科</td><td>60 人</td><td>240 人</td></tr><tr><td>国際看護学部</td><td>看護学科</td><td>80 人</td><td>320 人</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>380 人</td><td>1,640 人</td></tr></table>
（略）

第１０条　本学各学部に教授会を置く。
２　教授会は、当該学部に所属する専任の教授、准教授、講師、助教をもって組織する。

（略）

（新設）</td></tr>
</table>

新			
健康医療科学部	理学療法学科	60 人	240 人
心理学部	臨床心理学科	60 人	240 人
国際看護学部	看護学科	80 人	320 人
計		380 人	1,640 人

（略）

別表第８　学　費

入学金	（薬学部）	400,000 円
	（看護学部）	300,000 円
	（健康医療科学部）	300,000 円
	（心理学部）	200,000 円
	（国際看護学部）	300,000 円

薬学部

費　目	1　年　次	2　年　次	3　年　次
授業料	1,000,000 円	1,440,000 円	1,440,000 円
施設設備費	560,000 円	560,000 円	560,000 円
実務実習費	0円	0円	0円

費　目	4　年　次	5　年　次	6　年　次
授業料	1,440,000 円	1,440,000 円	1,440,000 円
施設設備費	560,000 円	560,000 円	560,000 円
実務実習費	0円	0円	0円

看護学部

費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授業料	800,000 円	1,200,000 円	1,200,000 円	1,200,000 円
施設設備費	460,000 円	460,000 円	460,000 円	460,000 円

健康医療科学部

費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授業料	800,000 円	1,400,000 円	1,400,000 円	1,400,000 円
施設設備費	460,000 円	460,000 円	460,000 円	460,000 円

旧

（略）

別表第８　学　費

入学金	（薬学部）	400,000 円
	（看護学部）	300,000 円
	（健康医療科学部）	300,000 円
	（心理学部）	200,000 円
	（国際看護学部）	300,000 円

薬学部

費　目	1　年　次	2　年　次	3　年　次
授業料	1,300,000 円	1,300,000 円	1,300,000 円
施設設備費	500,000 円	500,000 円	500,000 円
実務実習費	0円	0円	0円

費　目	4　年　次	5　年　次	6　年　次
授業料	1,300,000 円	1,300,000 円	1,300,000 円
施設設備費	500,000 円	500,000 円	500,000 円
実務実習費	0円	400,000円	0円

看護学部

費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授業料	1,100,000 円	1,100,000 円	1,100,000 円	1,100,000 円
施設設備費	400,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円

健康医療科学部

費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授業料	1,200,000 円	1,200,000 円	1,200,000 円	1,200,000 円
施設設備費	450,000 円	450,000 円	450,000 円	450,000 円

新	旧
心理学部 	費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
---	---	---	---	---
授 業 料	700,000 円	800,000 円	800,000 円	800,000 円
施設設備費	300,000 円	300,000 円	300,000 円	300,000 円		心理学部 | 費　目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
---	---	---	---	---
授 業 料	750,000 円	750,000 円	750,000 円	750,000 円
施設設備費	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア　学則変更（収容定員変更）の内容 2

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性 2

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 4

（ア）　教育課程の変更内容 4

（イ）　教育方法及び履修指導方法の変更内容 4

（ウ）　教員組織の変更内容 6

（エ）　大学全体の施設・設備の変更内容について 7

ア　学則変更（収容定員変更）の内容

本学は、令和 7（2025）年度に薬学部薬学科、看護学部看護学科、健康医療科学部作業療法学科、健康医療科学部理学療法学科、心理学部臨床心理学科の入学定員、及び収容定員を変更する。

【入学定員】　（単位:人）

学部	学科	現行	変更後	差（減少）
薬学部	薬学科	60	40	20
看護学部	看護学科	80	55	25
健康医療科学部	作業療法学科	40	20	20
	理学療法学科	60	55	5
心理学部	臨床心理学科	60	40	20
国際看護学部	看護学科	80	80	―
合計		380	290	90

【収容定員】　（単位:人）

学部	学科	現行	変更後	差（減少）
薬学部	薬学科	360	240	120
看護学部	看護学科	320	220	100
健康医療科学部	作業療法学科	160	80	80
	理学療法学科	240	220	20
心理学部	臨床心理学科	240	160	80
国際看護学部	看護学科	320	320	―
合計		1,640	1,240	400

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性

今般の収容定員の変更は、今後の 18 歳人口の減少と本学の過去の入試実績を踏まえて、薬学部薬学科の入学定員を 20 人、看護学部看護学科 25 人、健康医療科学部作業療法学科 20 人、理学療法学科 5 人、心理学部臨床心理学科 20 人、合計 90 人を減らし、定員規模の適正化を図るためのものである。

今後、急速な少子化に伴い 18 歳人口が年々減少しており、令和 4（2022）年の約 112 万人から令和 22（2040）年は約 82 万人になることが推計されている**【資料 1：18 歳人**

口と高等教育機関への進学率等の推移】。

また、大学進学者数は、2040 年以降、2050 年まで外国人留学生の数を加えても 50 万人前後で推移することが推計されている**【資料 2：2040 年～2050 年の進学率・進学者数推計結果】**。

本学の薬学部薬学科の入学者数は令和元（2019）年度 57 人、令和 2（2020）年度 49 人、令和 3（2021）年度 61 人、令和 4（2022）年度 41 人、令和 5（2023）年度 38 人、令和 6（2024）年度 28 人であった。令和 4（2022）年度に入学定員を 90 人から 60 人へと変更したものの、入学定員は充足できていない状況が続き、過去 6 年間の平均入学定員充足率は 60.6%であった。

看護学部看護学科の入学者数は、令和 3（2021）年度 83 人、令和 4（2022）年度 51 人、令和 5（2023）年度 42 人、令和 6（2024）年度 38 人であり、過去 4 年間の平均入学定員充足率は 66.9%であった。

健康医療科学部作業療法学科の入学者数は、令和 3（2021）年度 22 人、令和 4（2022）年度 30 人、令和 5（2023）年度 24 人、令和 6（2024）年度 15 人であり、過去 4 年間の平均入学定員充足率は 56.9%であった。

健康医療科学部理学療法学科の入学者数は、令和 3（2021）年度 76 人、令和 4（2022）年度 71 人、令和 5（2023）年度 58 人、令和 6（2024）年度 40 人であり、過去 4 年間の平均入学定員充足率は 102.1%であった。

心理学部臨床心理学科の入学者数は、令和 3（2021）年度 35 人、令和 4（2022）年度 38 人、令和 5（2023）年度 48 人、令和 6（2024）年度 37 人であり、過去 4 年間の平均入学定員充足率は 65.8%であった。**【資料 3：都道府県別等入学者推移表】**

今後の 18 歳人口における本学各学部への入学率、私立大学の各学問系統の学部への入学者における当該学部への入学率、本学への入学実績を踏まえて試算した結果、令和 7（2025）年度以降から令和 17（2035）年度までの入学者数は、少なくとも薬学部で 39 人～44 人、看護学部で 55 人～70 人、健康医療科学部で 75 人～90 人、心理学部で 31 人～38 人の入学者を確保できる見込みとなった。

これらの試算結果と経営的な観点を踏まえて、入学定員を現状の 380 人から 290 人へ変更することとした。**【資料 4：各学部入学者予測（薬学部、看護学部、健康医療科学部、心理学部）】**

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア） 教育課程の変更内容

本学では、「科学的根拠に基づいた術を備えた慈愛のある医療人の創生」を教育理念・目的として、社会に有為な保健医療人材の育成を行っている。

教育理念・目的の実現に向けて、本学で何をどのように学び、卒業時・修了時に、何を身につけたか、何ができるようになったかという観点から、本学の特色を踏まえたディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）を策定し、各学部においても適切に３つのポリシーを設定し、適宜見直し、改善を図りながら教育研究活動を行っている。

今般の収容定員変更に伴う授業科目や単位数、履修条件等に関する変更はないため、変更前と同等の教育内容を維持することができる。

なお、教育課程は定期的に見直し、改善を行い教育の質が向上するように取り組んでいく計画である。

（イ） 教育方法及び履修指導方法の変更内容

(1) 教育方法

今般の収容定員変更に伴い、教育方法を変更する計画はないが、薬学部薬学科は 20 人、看護学部看護学科は 25 人、健康医療科学部作業療法学科は 20 人、健康医療科学部理学療法学科は 5 人、心理学部臨床心理学科は 20 人が減少することになり、基本的には現状より少人数での教育が可能になるため教育環境は向上することとなる。

薬学部薬学科では、6 年間という修業年限を通して、基礎教育から臨床教育まで、系統的・段階的に学修できるようにしている。

知識の修得を目的とする科目は、講義形式を中心とした授業形態を取り、最大で 60 人程度で実施している。技能の修得を目的とする科目は、演習形式、あるいは演習形式を取り入れた講義形式、実験・実習による授業形態を取り、丁寧に教育指導を行っている。

看護学部看護学科、健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科の授業方法は、知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式の授業形態をとるとともに、態度・志向性及び技術や技能の習得を目的とした教育内容については、演習形式による授業形態をとっている。

また、理論的知識や能力を実務に応用する能力を身につけることを目的とする教育内

容については、実習形式による授業形態をとっている。

看護学部看護学科では、講義・演習形式は 40～80 人、実習形式は 6～7 人程度で実施している。

心理学部臨床心理学科では、知識修得を目的とする科目については、講義形式を中心とした授業形態を取り、最大でも 50 人程度のクラスで授業を行っている。研究法など技能の修得を目的とする科目については、演習形式、あるいは演習形式を取り入れた講義形式による授業形態を取り、少人数のグループに分けて、教育効果が高まるよう工夫している。ゼミ・卒業研究分野の科目は、基礎的なアカデミックスキル、ならびに専門性の高い心理学の知識・技能を修得するため、多様な専門領域の教員により少人数教育が行われている。

また、本学では学年主任を配置するとともに、チューター制を導入し、学生一人ひとりに指導を行っており、収容定員変更後は学生一人当たりの教員数が増加することになるため、従前以上の教育サポート環境が提供できると見込んでいる。

(2) 履修指導方法

今般の収容定員変更に伴い、履修指導方法を変更する計画はないため、定員が減少することで変更前と同等以上の教育内容を維持することができる。

各学部各学科では、カリキュラムツリー、カリキュラムマップを整備し、履修方法、進級時や卒業時に必要な単位数、授業科目等について記載された「履修の手引き」により周知し科目の関連性が伝わるよう工夫し指導している。

また、履修指導の学科ガイダンスを全ての学年で年に 2 回（4 月、9 月）実施し、特に新入生に対しては、単位制や GPA 制度、履修のルール、具体的な履修方法等について丁寧に説明している。

さらに、学生 1 人に対してチューター、学年主任を配置し、個別指導のもと、時間割を作成させている。

1 年次後期のガイダンスにおいても、全体指導の後、半年ごとに算出される GPA や出席状況などを踏まえて、チューター、学年主任が個別指導を行っている。

なお、2 年次以上の学生に対して同様にチューター、学年主任が履修指導を行い、さらには学生の生活全般についても支援を行っている。

また、授業外の学修（予習・復習）を含めて適正な学修時間を確保し、計画的な履修が行えるよう、年間の履修登録単位数の上限を 45 単位とする CAP 制を設けている。

他大学における授業科目の履修については、本学では、福島県内の大学と単位互換協

定を締結している。本学の学生が、他大学において開講している授業科目を履修する場合には、特別聴講生（授業料は無料）として、他大学で開講される一部の授業科目（「単位互換科目」）を履修し、修得した単位を卒業要件の単位の一部として計上することができるようになっている。

他大学で履修した科目は、基本的には各学部の専門教育科目以外のものを対象とし、科目の内容を精査したうえで、本学の科目として振り替えることを可能としている。

また、他学部の科目については、学長が有益と認めたときに履修することができ、修得した単位は、当該学部の教授会の定めにより、卒業に必要な単位として認めることができるようにしている。

履修指導についても、従前より実施していたことを継続し、同等の内容を担保することができる。

（ウ） 教員組織の変更内容

今般の収容定員の変更により、教員組織は薬学部を除き現状の教員数を維持する計画である。

なお、薬学部は大学設置基準を満たす教員数で組織する。

なお、今後、退職等により欠員が生じ、補充が必要になる状況が発生した場合は、本学で定めている「教員組織の編成方針」等に基づき、適切な教員を補充できるよう留意し採用活動を行うため、教育の質は維持される見込みである。

（教員組織の編成方針）

1. 大学設置基準及び大学院設置基準に基づいて、必要な教員を配置する。
2. 組織的な教育研究を行うため、教員間の連携体制を確保し、役割分担を適切に行う。
3. 教員の募集、任免及び昇格は、学内規則に基づき、公正かつ適切に行う。
4. 教員の年齢及び性別の適正な構成に配慮する。

また、薬学部薬学科の基幹教員一人当たりの学生数（S/T 比率：小数点第 2 位を四捨五入）は 12 人（360 人／30 人）から 10.4 人（240 人／23 人）、看護学部看護学科の S/T 比率は 12.8 人（320 人／25 人）から 8.8 人（220 人／25 人）、健康医療科学部作業療法学科の S/T 比率は 16 人（160 人／10 人）から 8 人（80 人／10 人）、健康医療科学部理学療法学科の S/T 比率は 17.1 人（240 人／14 人）から 15.7 人（220 人／14 人）、心理学部学部臨床心理学科の S/T 比率は 20 人（240 人／12 人）から 13.3 人（160

／12 人）であり、各学部各学科で S/T 比率が向上するため、定量的にも従前と同等以上の内容を担保できる。

（エ） 大学全体の施設・設備の変更内容について

今般の収容定員の変更により、施設・設備を変更する計画はないため、定員を減少させることで、従前より余裕をもった教育研究環境が提供できる。

本学は福島県いわき市の市街地から 7km ほど南下した場所に位置し、自然が豊かで、学生が学修に集中できる環境のもと、教育研究活動を行っている。

本学のいわき校舎の校地等面積は 456,353.86 ㎡であり、うち校舎等敷地は、123,105.00 ㎡を有している。校舎等敷地には本館、2 号館、3 号館、3 号館西棟、図書館・学習センター、講堂、6 号館、体育館、厚生館、11 号館、地域交流館、16 号館、野球場、テニスコートを配置し、また、学生の休息その他の利用のために、緑地や憩いの広場等を整備しており、多くの学生が余裕をもって学習、休息、交流等に利用している。

校舎等敷地の北側には、運動場用地として陸上競技場（23,800.00 ㎡）を有している。陸上競技場の他、前述の体育館、野球場、テニスコートは、全学共通教育科目の「健康・スポーツ教育科目」で利用しているほか、学生の課外活動においても活用されている。

薬学部は 16 号館、看護学部、健康医療科学部は 6 号館、16 号館の一部の教室、心理学部は 3 号館を主に利用して教育研究活動を行っている。

今般の収容定員変更に伴って施設・設備を解体する計画はないため、従前と同等以上の環境を担保することができる。

薬学部、看護学部、健康医療科学部が使用する 16 号館は、地上 4 階建、地下 1 階建で 11,199.77 ㎡を有している。当該施設は、講義室 12 室、演習室 11 室、実験実習室 64 室、情報処理学習施設（DI 室）1 室、研究室 37 室が設置されている。

また、薬用植物園（1,535.6 ㎡）とダイヤモンドキューブ型の温室等付属施設（234.96 ㎡）を設置し薬学部の教育研究活動に活用している。

16 号館は、平成 19（2007）年 4 月に入学定員を 150 人と定めて開学した薬学部の学生を収容できる施設、機器備品等を備えている。今般の変更により入学定員が 40 人となることで、16 号館における教育研究活動は、余裕をもって実施できる。

看護学部、健康医療科学部の授業で使用する 6 号館は、地上 4 階建で北側の 6N と南側の 6S の 2 棟からなり、面積は 8,238.38 ㎡である。

看護学部では、90 人を収容する講義室 2 室のほか、それぞれの看護の領域の実習室

4 室、カンファレンス室 1 室、研究室 32 室、学部長室、学部事務室等を整備している。

健康医療科学部では、北側 6N の 1 階東側及び 4 階、南側 6S の 1 階と 3、4 階を使用している。

健康医療科学部は 2 学科で構成されている。そのため、学科ごとに専用の教室を設置している。作業療法学科は、作業療法実習室、水治療法実習室、多目的作業療法実習室、陶芸・義肢装具実習室、木工・金工実習室、レクリエーション室を設置しており、理学療法学科は、運動療法実習室、物理療法実習室、検査・測定実習室、多目的理学療法実習室を専用教室として設置している。

作業療法学科、理学療法学科の共用として、日常生活活動実習室、特殊機器実験室、標本室、学部長室、会議室 2 室、研究室 24 室、セミナー室 5 室、共通準備室 3 室等を設置している。

また、健康医療学部では 11 号館 1 階も使用しており、作業療法学科、理学療法学科共有の実習室として、動作解析室のほか準備室、機材室を設置している。

心理学部では、3 号館、及び 3 号館西棟を利用して教育研究活動を行っている。

心理学部を設置する前に本学では、平成 13（2001）年 4 月に人文学部に心理学科（入学定員 90 人）を設置し、その後、平成 27（2015）年 4 月に人文学部を改組し心理学を学修できる教育環境を有した教養学部（入学定員 120 人）を設置したが、いずれの学部学科も 3 号館、及び 3 号館西館を使用していた。心理学部は入学定員 60 人として設定し教育研究活動を行うために必要な教室等の施設は余裕をもって整備されている状況であるため、入学定員を 40 人に減少させることで、従前以上の教育環境を提供することができる。

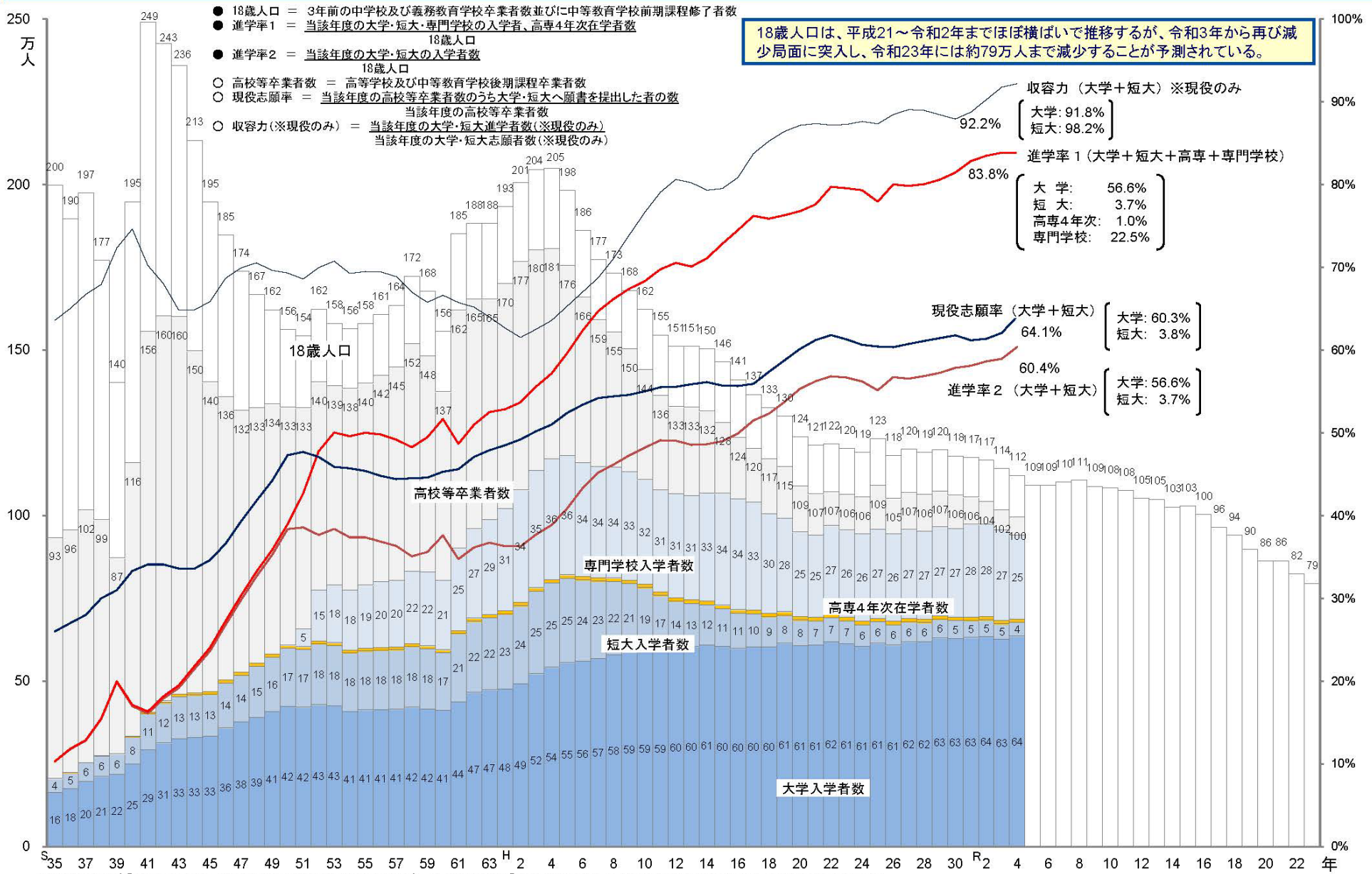
現在、3 号館（地上 5 階建）には、1 階から 3 階までに講義室 8 室とコンピュータ演習室 2 室（91 台、61 台）等が設置され、4 階と 5 階には、演習室 7 室、研究室 42 室、学部事務室等が設置されている。また、3 号館西棟（地上 3 階建）には、1 階から 3 階までに講義室 1 室、実験室・実習室 16 室等を整備している。

また、上記以外の施設として、2 号館（地上 3 階建）には、全学共用の施設として、AV 大講義室（490 ㎡）、アクティブラーニング教室（276 ㎡）を含め、大・小講義室が 15 室設置され、その他、図書館・学習センター、体育館、学生食堂等も、従前と同様に使用する。

学則の変更の趣旨等を記載した書類　資料目次

【資料 1】18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移
【資料 2】2040 年～2050 年の進学率・進学者数推計結果
【資料 3】都道府県別等入学者推移表
【資料 4】各学部入学者予測（薬学部、看護学部、健康医療科学部、心理学部）

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



出典：文部科学省「学校基本統計」。令和5～23年については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）（出生中位・死亡中位）」を基に作成。
※進学率、現役志願率については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

3

第 137 回中央教育審議会（令和 5 年 9 月 25 日）【資料 1-3】P.3 より

2040年～2050年の進学率・進学者数推計結果

○急速な人口減少に伴い、大学進学率の伸長を加味したとしても、**2040年代の各都道府県の大学進学者数の合計は40万人台**。
○**外国人留学生の数を加えても**、現在の大学の入学定員の規模が維持された場合には、**定員充足率は80%を割る年も見られた**。
○外国人留学生受入れ推進により、外国人留学生数がOECD並みになったとしても定員充足率は80%を超える程度、G7並みになったとしても、現在の大学の入学定員の総数（令和４年度　626,532人）と約10万人のギャップがある。

【外国人留学生比率が現状のまま（3.07%）であった場合】

年	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
18歳人口	823,382	793,715	800,949	801,455	797,757	797,466	799,003	800,105	800,267	799,364	797,223
進学率	59.61%	59.68%	59.75%	59.82%	59.88%	59.94%	60.00%	60.06%	60.12%	60.17%	60.22%
(a)進学者数	490,781	473,671	478,559	479,415	477,722	478,034	479,436	480,570	481,105	480,972	480,092
(b)留学生等	17,096	17,096	17,096	17,096	17,096	17,096	17,096	17,096	17,096	17,096	17,096
(c)その他	2,233	2,155	2,178	2,182	2,174	2,175	2,182	2,187	2,189	2,189	2,185
大学入学者数 ((a)+(b)+(c))	510,110	492,922	497,833	498,693	496,991	497,305	498,714	499,852	500,390	500,256	499,372
定員充足率	81.81%	79.05%	79.84%	79.98%	79.71%	79.76%	79.98%	80.17%	80.25%	80.23%	80.09%

【外国人留学生比率がOECD平均（4.77%）となった場合】

年	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
18歳人口	823,382	793,715	800,949	801,455	797,757	797,466	799,003	800,105	800,267	799,364	797,223
(a)進学者数	490,781	473,671	478,559	479,415	477,722	478,034	479,436	480,570	481,105	480,972	480,092
(b)留学生等	26,598	26,598	26,598	26,598	26,598	26,598	26,598	26,598	26,598	26,598	26,598
(c)その他	2,233	2,155	2,178	2,182	2,174	2,175	2,182	2,187	2,189	2,189	2,185
大学入学者数 ((a)+(b)+(c))	519,612	502,424	507,335	508,195	506,494	506,808	508,216	509,355	509,893	509,759	508,875
定員充足率	83.34%	80.58%	81.37%	81.50%	81.23%	81.28%	81.51%	81.69%	81.78%	81.75%	81.61%

【外国人留学生比率がG7平均（8.08%）となった場合】

年	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
18歳人口	823,382	793,715	800,949	801,455	797,757	797,466	799,003	800,105	800,267	799,364	797,223
(a)進学者数	490,781	473,671	478,559	479,415	477,722	478,034	479,436	480,570	481,105	480,972	480,092
(b)留学生等	45,084	45,084	45,084	45,084	45,084	45,084	45,084	45,084	45,084	45,084	45,084
(c)その他	2,233	2,155	2,178	2,182	2,174	2,175	2,182	2,187	2,189	2,189	2,185
大学入学者数 ((a)+(b)+(c))	538,098	520,910	525,821	526,681	524,980	525,293	526,702	527,841	528,378	528,244	527,360
定員充足率	86.30%	83.54%	84.33%	84.47%	84.20%	84.25%	84.47%	84.65%	84.74%	84.72%	84.58%

第 137 回中央教育審議会（令和 5 年 9 月 25 日）【資料 1-3】P.22 より

都道府県別等入学者推移表

No	都道府県	薬学					看護					健康医療科 作業療法					健康医療科 理学療法					心理					大学計					都道府県	入学割合					
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6		R2	R3	R4	R5	R6	平均
1	北海道	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2	1	3	2	0	3	北海道	0.4%	1.1%	0.9%	0.0%	1.9%	0.8%
2	青森県	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	1	0	2	2	2	5	青森県	0.0%	0.7%	0.9%	1.0%	3.2%	1.1%
3	岩手県	4	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	2	0	1	1	0	4	3	1	0	0	3	2	0	7	1	9	7	2	岩手県	2.6%	0.4%	3.9%	3.3%	1.3%	2.3%
4	宮城県	4	10	5	4	2	2	9	4	2	0	0	0	1	1	0	0	2	1	3	1	2	3	0	4	1	8	24	11	14	4	宮城県	3.0%	8.7%	4.8%	6.7%	2.5%	5.1%
5	秋田県	1	1	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	1	0	1	3	2	0	4	2	1	1	0	0	4	7	3	1	7	秋田県	1.5%	2.5%	1.3%	0.5%	4.4%	2.0%
6	山形県	1	1	0	3	1	4	0	0	1	2	1	0	2	1	0	0	0	3	1	0	2	1	3	4	2	8	2	8	10	5	山形県	3.0%	0.7%	3.5%	4.8%	3.2%	3.0%
7	福島県（県北地区）	2	1	4	0	1	8	7	3	3	1	4	1	2	0	0	4	5	1	3	1	3	1	2	4	0	21	15	12	10	3	福島県（県北地区）	7.9%	5.4%	5.2%	4.8%	1.9%	5.0%
7	福島県（県南地区）	2	4	2	2	4	11	12	11	7	10	6	3	4	4	2	18	18	21	11	3	1	8	4	10	4	38	45	42	34	23	福島県（県南地区）	14.3%	16.2%	18.2%	16.2%	14.6%	15.9%
7	福島県（会津地区）	2	4	1	1	0	6	6	0	1	0	0	0	2	1	0	4	4	1	2	0	1	2	2	2	3	13	16	6	7	3	福島県（会津地区）	4.9%	5.8%	2.6%	3.3%	1.9%	3.7%
7	福島県（いわき地区）	17	21	16	14	11	30	30	21	18	13	18	12	10	11	9	27	26	22	18	21	15	15	14	10	11	107	104	83	71	65	福島県（いわき地区）	40.2%	37.5%	35.9%	33.8%	41.1%	37.7%
7	福島県（相双地区）	1	1	1	0	1	3	3	3	2	1	0	1	2	1	0	3	5	1	1	0	1	1	2	1	2	8	11	9	5	4	福島県（相双地区）	3.0%	4.0%	3.9%	2.4%	2.5%	3.2%
8	茨城県	11	9	5	10	6	7	12	8	6	4	6	5	5	3	3	8	6	9	11	5	4	2	6	9	9	36	34	33	39	27	茨城県	13.5%	12.3%	14.3%	18.6%	17.1%	15.2%
9	栃木県	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	2	1	0	0	0	1	0	5	2	5	3	1	栃木県	1.9%	0.7%	2.2%	1.4%	0.6%	1.4%
10	群馬県	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	群馬県	0.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
11	埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	埼玉県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	千葉県	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%
13	東京都	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	東京都	0.0%	0.4%	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%
14	神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	神奈川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15	新潟県	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	2	3	2	新潟県	0.4%	0.7%	0.9%	1.4%	1.3%	0.9%
16	富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	富山県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
17	石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	石川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18	福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	福井県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19	山梨県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	山梨県	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
20	長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長野県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21	岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	岐阜県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22	静岡県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	静岡県	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%
23	愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	愛知県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24	三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	三重県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25	滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	滋賀県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
26	京都府	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	京都府	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
27	大阪府	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	大阪府	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%
28	兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兵庫県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奈良県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33	岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	岡山県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
34	広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	広島県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
35	山口県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	山口県	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
37	香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	香川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%
39	高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	高知県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
41	佐賀県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	佐賀県	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
43	熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	熊本県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
45	宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	宮崎県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
46	鹿児島県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	鹿児島県	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
47	沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	沖縄県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%
51	高等学校卒業程度認定試験	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	高等学校卒業程度認定試験	0.4%	0.0%	0.4%	0.5%	0.6%	0.4%
52	外国の学校等	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	1	0	0	0	外国の学校等	1.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
合計		49	61	41	38	28	76	83	51	42	38	38	22	30	24	15	69	76	71	58	40	34	35	38	48	37	266	277	231	210	158	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地区別	薬学					看護					健康医療科 作業療法					健康医療科 理学療法					心理					大学計					平均
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
いわき市合計	17	21	16	14	11	30	30	21	18	13	18	12	10	11	9	27	26	22	18	21	15	15	14	10	11	107	104	83	71	65	86
（いわき市入学割合）	35%	34%	39%	37%	39%	39%	36%	41%	43%	34%	47%	55%	33%	46%	60%	39%	34%	31%	31%	53%	44%	43%	37%	21%	30%	40%	38%	36%	34%	41%	37.7%
福島県合計	24	31	24	17	17	58	58	38	31	25	28	17	20	17	11	56	58	46	35	25	21	27	24	27	20	187	191	152	127	98	151
（福島県入学割合）	49%	51%	59%	45%	61%	76%	70%	75%	74%	66%	74%	77%	67%	71%	73%	81%	76%	65%	60%	63%	62%	77%	63%	56%	54%	70%	69%	66%	60%	62%	65.5%
福島県＋宮城県＋茨城県	39	50	34	31	25	67	79	50	39	29	34	22	26	21	14	64	66	56	49	31	27	32	30	40	30	231	249	196	180	129	197
（福島県＋宮城県＋茨城県入学割合）	80%	82%	83%	82%	89%	88%	95%	98%	93%	76%	89%	100%	87%	88%	93%	93%	87%	79%	84%	78%	79%	91%	79%	83%	81%	87%	90%	85%	86%	82%	85.8%
福島県＋宮城県＋茨城県＋東北4県	45	53	34	34	27	72	82	50	42	35	36	22	30	23	15	66	70	67	55	38	31	34	37	46	33	250	261	218	200	148	215.4
（福島県＋宮城県＋茨城県＋東北4県入学割合）	92%	87%	83%	89%	96%	95%	99%	98%	100%	92%	95%	100%	100%	96%	100%	96%	92%	94%	95%	95%	91%	97%	97%	96%	89%	94%	94%	94%	95%	94%	94.3%

いわき市平均	36.9%	38.8%	48.2%	37.6%	34.9%
福島県平均	52.8%	72.1%	72.4%	69.0%	62.5%
福島県＋宮城県＋茨城県平均	83.1%	90.1%	91.4%	84.1%	82.8%
福島県＋宮城県＋茨城県＋東北4県平均	89.5%	96.7%	98.1%	94.4%	94.1%

学則変更の趣旨等（資料）－4

薬学部入学者予測

No	摘要		90		90		90		60		60		60		40		40		40		40		40		40		40		40		40		40	
			2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035	
			R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14		R15		R16		R17	
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801		1,167,348		1,141,140		1,121,276		1,097,416		1,063,451		1,090,562		1,092,664		1,085,148		1,069,005		1,066,810		1,050,986		1,035,215		1,024,042		1,013,894		1,005,714		970,429	
2	18歳人口（福島）※2		18,824		18,482		17,622		17,276		16,593		15,899		15,810		15,556		15,222		14,769		14,693		14,205		13,669		14,613		14,309		14,063		13,395	
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398		3,346		3,240		3,180		3,060		3,082		3,006		2,913		2,776		2,695		2,636		2,323		2,446		2,570		2,450		2,417		2,326	
4	18歳人口（全国増減率）		107.1%		106.4%		104.0%		102.2%		100.0%		96.9%		99.4%		99.6%		98.9%		97.4%		97.2%		95.8%		94.3%		93.3%		92.4%		91.6%		88.4%	
5	18歳人口（福島増減率）		113.4%		111.4%		106.2%		104.1%		100.0%		95.8%		95.3%		93.8%		91.7%		89.0%		88.5%		85.6%		82.4%		88.1%		86.2%		84.8%		80.7%	
6	18歳人口（いわき増減率）		111.0%		109.3%		105.9%		103.9%		100.0%		100.7%		98.2%		95.2%		90.7%		88.1%		86.1%		75.9%		79.9%		84.0%		80.1%		79.0%		76.0%	
7	大学進学者数（福島）		7,737		7,707		7,472		7,446		7,201		6,948		6,941		6,876		6,774		6,602		6,627		6,435		6,233		6,707		6,611		6,539		6,269	
8	大学進学率（福島）		41.1%		41.7%		42.4%		43.1%		43.4%		43.7%		43.9%		44.2%		44.5%		44.7%		45.1%		45.3%		45.6%		45.9%		46.2%		46.5%		46.8%	
9	福島残留数（福島）		1,547		1,565		1,689		1,675		1,606		1,494		1,492		1,478		1,456		1,419		1,425		1,383		1,340		1,442		1,421		1,406		1,348	
10	福島残留率（福島）※4		20.0%		20.3%		22.6%		22.5%		22.3%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%	
11	薬学部志願者数（全国私立）※5		89,223		82,668		73,580		76,635		74,627		73,910		75,794		75,940		75,418		74,296		74,143		73,044		71,947		71,171		70,466		69,897		67,445	
12	薬学部志願率（全国私立）※6		7.59%		7.08%		6.45%		6.83%		6.80%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%	
13	薬学部入学者数（全国私立）※7		10,613		10,629		10,191		11,391		11,276		10,103		10,360		10,380		10,309		10,156		10,135		9,984		9,835		9,728		9,632		9,554		9,219	
14	薬学部入学者増減率（全国私立）		94.1%		94.3%		90.4%		101.0%		100.0%		89.6%		91.9%		92.1%		91.4%		90.1%		89.9%		88.5%		87.2%		86.3%		85.4%		84.7%		81.8%	
15	薬学部入学率（全国私立）※8		0.90%		0.91%		0.89%		1.02%		1.03%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%	
16	本学薬学部入学者数		57		49		61		41		38		28		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—	
17	本学薬学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9		0.004852%		0.004198%		0.005346%		0.003657%		0.003463%		0.002633%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%	
18	本学薬学部入学者予測①		—		—		—		—		—		—		44		44		44		43		43		42		42		41		41		40		39	
19	本学薬学部入学率（入学者/全国私立薬学部入学者数）※10		0.537077%		0.461003%		0.598567%		0.359933%		0.336999%		—		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%		0.4587160%	
20	本学薬学部入学者予測②		—		—		—		—		—		—		48		48		47		47		46		46		45		45		44		44		42	
21	本学薬学部入学者数（福島県）		27		24		31		24		17		17		16		16		16		15		15		15		14		15		15		14		14	
22	本学薬学部入学率（福島出身/残留数）		1.74%		1.53%		1.84%		1.43%		1.06%		1.14%		1.09%		1.08%		1.07%		1.07%		1.06%		1.05%		1.05%		1.04%		1.03%		1.02%		1.02%	
23	本学薬学部入学者数（いわき市）		15		17		21		16		14		11		11		10		10		10		9		8		9		9		9		9		8	
24	本学薬学部入学率（いわき出身/残留数）		0.97%		1.09%		1.24%		0.96%		0.87%		0.74%		0.72%		0.71%		0.69%		0.68%		0.67%		0.60%		0.66%		0.64%		0.62%		0.62%		0.62%	
25	本学薬学部入学率（いわき出身/いわき人口）		0.44%		0.51%		0.65%		0.50%		0.46%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%	
26	本学薬学部入学率（いわき市/福島県）		55.56%		70.83%		67.74%		66.67%		82.35%		64.71%		66.71%		65.70%		63.99%		64.03%		62.95%		57.38%		62.79%		61.71%		60.08%		60.30%		60.93%	
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	栃木県	233	栃木県	225	宮城県	228	宮城県	255	宮城県	237	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	宮城県	219	宮城県	200	栃木県	199	栃木県	204	栃木県	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	流出県	1位	東京都	1,455	東京都	1,469	東京都	1,329	東京都	1,345	東京都	1,460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	宮城県	1,047	宮城県	1,034	宮城県	1,035	宮城県	986	宮城県	953	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	埼玉県	558	神奈川県	522	神奈川県	522	神奈川県	511	神奈川県	483	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1　「18歳人口（全国）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※2　「18歳人口（福島）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※3　18歳人口（いわき市）は、いわき市「いわき市の人口　令和5年10月1日現在」の数値を掲載。
※4　R6以降の「福島残留率（福島）」は、R1～R5の平均値で積算。
※5　「薬学部志願者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「薬学」の数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「薬学部志願率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※6　R6以降の「薬学部志願率（全国私立）」は、R1～R5の平均値で積算。
※7　「薬学部入学者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「薬学」の数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「薬学部入学率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※8　R6以降の「薬学部入学率（全国私立）」はR1～R5の平均値で積算。
※9　R7以降の「本学薬学部入学率（入学者/全国18歳人口）」は、R1～R6までの6年間の平均値で積算。
※10　R7以降の「本学薬学部入学率（入学者/全国私立薬学部入学者数）」は、R1～R5の平均値で積算。

看護学部入学者予測

No	摘要		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035	
			80				80		80		80		80		50		50		50		50		50		50		50		50		50		50		50	
			R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14		R15		R16		R17	
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801		1,167,348		1,141,140		1,121,276		1,097,416		1,063,451		1,090,562		1,092,664		1,085,148		1,069,005		1,066,810		1,050,986		1,035,215		1,024,042		1,013,894		1,005,714		970,429	
2	18歳人口（福島）※2		18,824		18,482		17,622		17,276		16,593		15,899		15,810		15,556		15,222		14,769		14,693		14,205		13,669		14,613		14,309		14,063		13,395	
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398		3,346		3,240		3,180		3,060		3,082		3,006		2,913		2,776		2,695		2,636		2,323		2,446		2,570		2,450		2,417		2,326	
4	18歳人口（全国減少率）		107.1%		106.4%		104.0%		102.2%		100.0%		96.9%		99.4%		99.6%		98.9%		97.4%		97.2%		95.8%		94.3%		93.3%		92.4%		91.6%		88.4%	
5	18歳人口（福島減少率）		113.4%		111.4%		106.2%		104.1%		100.0%		95.8%		95.3%		93.8%		91.7%		89.0%		88.5%		85.6%		82.4%		88.1%		86.2%		84.8%		80.7%	
6	18歳人口（いわき減少率）		111.0%		109.3%		105.9%		103.9%		100.0%		100.7%		98.2%		95.2%		90.7%		88.1%		86.1%		75.9%		79.9%		84.0%		80.1%		79.0%		76.0%	
7	大学進学者数（福島）		7,737		7,707		7,472		7,446		7,201		6,948		6,941		6,876		6,774		6,602		6,627		6,435		6,233		6,707		6,611		6,539		6,269	
8	大学進学率（福島）		41.1%		41.7%		42.4%		43.1%		43.4%		43.7%		43.9%		44.2%		44.5%		44.7%		45.1%		45.3%		45.6%		45.9%		46.2%		46.5%		46.8%	
9	福島残留数（福島）		1,547		1,565		1,689		1,675		1,606		1,494		1,492		1,478		1,456		1,419		1,425		1,383		1,340		1,442		1,421		1,406		1,348	
10	福島残留率（福島）※4		20.0%		20.3%		22.6%		22.5%		22.3%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%	
11	看護学部志願者数（全国私立）※5		56,868		54,346		50,733		51,399		48,896		48,600		49,839		49,935		49,591		48,854		48,753		48,030		47,309		46,799		46,335		45,961		44,349	
12	看護学部志願率（全国私立）※6		4.84%		4.66%		4.45%		4.58%		4.46%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%		4.57%	
13	看護学部入学者数（全国私立）※7		9,604		9,406		9,453		9,894		9,900		9,039		9,270		9,288		9,224		9,087		9,068		8,933		8,799		8,704		8,618		8,549		8,249	
14	看護学部入学者増減率（全国私立）		97.0%		95.0%		95.5%		99.9%		100.0%		91.3%		93.6%		93.8%		93.2%		91.8%		91.6%		90.2%		88.9%		87.9%		87.1%		86.3%		83.3%	
15	看護学部入学率（全国私立）※8		0.82%		0.81%		0.83%		0.88%		0.90%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%		0.85%	
16	本学看護学部入学者数		100		76		83		51		42		38		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—	
17	本学看護学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9		0.008512%		0.006510%		0.007273%		0.004548%		0.003827%		0.003573%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%		0.005707%	
18	本学看護学部入学者予測①		—		—		—		—		—		—		62		62		62		61		61		60		59		58		58		57		55	
19	本学看護学部入学率（入学者/全国私立看護学部入学者数）		1.041233%		0.807995%		0.878028%		0.515464%		0.515464%		—		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%		0.751637%	
20	本学看護学部入学者予測② ※10		—		—		—		—		—		—		70		70		69		68		68		67		66		65		65		64		62	
21	本学看護学部入学者数（福島県）		78		58		58		38		31		25		24		23		23		22		22		21		21		22		22		21		20	
22	本学看護学部入学率（福島出身/残留数）		5.04%		3.71%		3.43%		2.27%		1.93%		1.67%		1.60%		1.59%		1.57%		1.57%		1.55%		1.55%		1.54%		1.53%		1.52%		1.51%		1.50%	
23	本学看護学部入学者数（いわき市）		32		30		30		21		18		13		13		12		12		11		11		10		10		11		10		10		10	
24	本学看護学部入学率（いわき出身/残留数）		2.07%		1.92%		1.78%		1.25%		1.12%		0.87%		0.86%		0.84%		0.81%		0.81%		0.79%		0.71%		0.78%		0.76%		0.73%		0.73%		0.73%	
25	本学看護学部入学率（いわき出身/いわき人口）		0.94%		0.90%		0.93%		0.66%		0.59%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%		0.42%	
26	本学看護学部入学率（いわき市/福島県）		41.03%		51.72%		51.72%		55.26%		58.06%		52.00%		53.61%		52.80%		51.42%		51.45%		50.59%		46.11%		50.46%		49.59%		48.28%		48.46%		48.96%	
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	栃木県	233	栃木県	225	宮城県	228	宮城県	255	宮城県	237	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	宮城県	219	宮城県	200	栃木県	199	栃木県	204	栃木県	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	流出県	1位	東京都	1,455	東京都	1,469	東京都	1,329	東京都	1,345	東京都	1,460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	宮城県	1,047	宮城県	1,034	宮城県	1,035	宮城県	986	宮城県	953	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	埼玉県	558	神奈川県	522	神奈川県	522	神奈川県	511	神奈川県	483	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1　「18歳人口（全国）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※2　「18歳人口（福島）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※3　18歳人口（いわき市）は、いわき市「いわき市の人口　令和5年10月1日現在」の数値を掲載。
※4　R6以降の「福島残留率（福島）」は、R1～R5の平均値で積算。
※5　「看護学部志願者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「看護学部」のみの数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「看護学部志願率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※6　R6以降の「看護学部志願率（全国私立）」は、R1～R5の平均値で積算。
※7　「看護学部入学者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「看護学部」のみの数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「看護学部入学率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※8　R6以降の「看護学部入学率（全国私立）」はR1～R5の平均値で積算。
※9　R7以降の「本学看護学部入学率（入学者/全国18歳人口）」はR1～R6までの6年間の平均値で積算。
※10　R7以降の「本学看護学部入学率（入学者/全国私立看護学部入学者数）」は、R1～R5の平均値で積算。

健康医療科学部入学者予測

No	摘要		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
			100	100	100	100	100	100	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,664	1,085,148	1,069,005	1,066,810	1,050,986	1,035,215	1,024,042	1,013,894	1,005,714	970,429
2	18歳人口（福島）※2		18,824	18,482	17,622	17,276	16,593	15,899	15,810	15,556	15,222	14,769	14,693	14,205	13,669	14,613	14,309	14,063	13,395
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398	3,346	3,240	3,180	3,060	3,082	3,006	2,913	2,776	2,695	2,636	2,323	2,446	2,570	2,450	2,417	2,326
4	18歳人口（全国減少率）		107.1%	106.4%	104.0%	102.2%	100.0%	96.9%	99.4%	99.6%	98.9%	97.4%	97.2%	95.8%	94.3%	93.3%	92.4%	91.6%	88.4%
5	18歳人口（福島減少率）		113.4%	111.4%	106.2%	104.1%	100.0%	95.8%	95.3%	93.8%	91.7%	89.0%	88.5%	85.6%	82.4%	88.1%	86.2%	84.8%	80.7%
6	18歳人口（いわき減少率）		111.0%	109.3%	105.9%	103.9%	100.0%	100.7%	98.2%	95.2%	90.7%	88.1%	86.1%	75.9%	79.9%	84.0%	80.1%	79.0%	76.0%
7	大学進学者数（福島）		7,737	7,707	7,472	7,446	7,201	6,948	6,941	6,876	6,774	6,602	6,627	6,435	6,233	6,707	6,611	6,539	6,269
8	大学進学率（福島）		41.1%	41.7%	42.4%	43.1%	43.4%	43.7%	43.9%	44.2%	44.5%	44.7%	45.1%	45.3%	45.6%	45.9%	46.2%	46.5%	46.8%
9	福島残留数（福島）		1,547	1,565	1,689	1,675	1,606	1,494	1,492	1,478	1,456	1,419	1,425	1,383	1,340	1,442	1,421	1,406	1,348
10	福島残留率（福島）※4		20.0%	20.3%	22.6%	22.5%	22.3%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%
11	リハビリ学部志願者数（全国私立）※5		6,665	6,943	6,767	6,811	5,986	6,168	6,325	6,337	6,294	6,200	6,187	6,096	6,004	5,939	5,881	5,833	5,628
12	リハビリ学部志願率（全国私立）※6		0.57%	0.59%	0.59%	0.61%	0.55%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%
13	リハビリ学部入学者数（全国私立）※7		1,410	1,374	1,711	1,794	1,799	1,489	1,527	1,530	1,519	1,497	1,494	1,471	1,449	1,434	1,419	1,408	1,359
14	リハビリ学部入学者増減率（全国私立）		78.4%	76.4%	95.1%	99.7%	100.0%	82.8%	84.9%	85.0%	84.4%	83.2%	83.0%	81.8%	80.6%	79.7%	78.9%	78.3%	75.5%
15	リハビリ学部入学率（全国私立）※8		0.12%	0.12%	0.15%	0.16%	0.16%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%
16	本学健康医療科学部入学者数		80	107	98	101	82	55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	本学健康医療科学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9		0.006810%	0.009166%	0.008588%	0.009008%	0.007472%	0.005172%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%
18	本学健康医療科学部入学者予測①		—	—	—	—	—	—	84	84	84	82	82	81	80	79	78	77	75
19	本学健康医療科学部入学率（入学者/全国私立リハビリ学部入学者数）※10		5.673759%	7.787482%	5.727645%	5.629877%	4.558088%	—	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%	5.875370%
20	本学健康医療科学部入学者予測②		—	—	—	—	—	—	90	90	89	88	88	86	85	84	83	83	80
21	本学健康医療科学部入学者数（福島県）		64	84	75	66	52	36	34	34	33	32	32	31	30	32	31	31	29
22	本学健康医療科学部入学率（福島出身/残留数）		4.14%	5.37%	4.44%	3.94%	3.24%	2.41%	2.30%	2.28%	2.27%	2.26%	2.24%	2.23%	2.21%	2.20%	2.18%	2.17%	2.16%
23	本学健康医療科学部入学者数（いわき市）		41	45	38	32	29	30	29	29	27	26	26	23	24	25	24	24	23
24	本学健康医療科学部入学率（いわき出身/残留数）		2.65%	2.88%	2.25%	1.91%	1.81%	2.01%	1.97%	1.93%	1.87%	1.86%	1.81%	1.65%	1.79%	1.75%	1.69%	1.69%	1.69%
25	本学健康医療科学部入学率（いわき出身/いわき人口）		1.21%	1.34%	1.17%	1.01%	0.95%	0.97%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%
26	本学健康医療科学部入学率（いわき市/福島県）		64.06%	53.57%	50.67%	48.48%	55.77%	83.33%	85.92%	84.62%	82.41%	82.46%	81.07%	73.90%	80.86%	79.47%	77.37%	77.66%	78.47%
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	栃木県	233	栃木県	225	宮城県	228	宮城県	255	宮城県	237	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	宮城県	219	宮城県	200	栃木県	199	栃木県	204	栃木県	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	流出県	1位	東京都	1,455	東京都	1,469	東京都	1,329	東京都	1,345	東京都	1,460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	宮城県	1,047	宮城県	1,034	宮城県	1,035	宮城県	986	宮城県	953	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	埼玉県	558	神奈川県	522	神奈川県	522	神奈川県	511	神奈川県	483	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1　「18歳人口（全国）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※2　「18歳人口（福島）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※3　18歳人口（いわき市）は、いわき市「いわき市の人口　令和5年10月1日現在」の数値を掲載。
※4　R6以降の「福島残留率（福島）」は、R1～R5の平均値で積算。
※5　「リハビリ学部志願者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「リハビリテーション学部」のみの数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「リハビリ学部志願率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※6　R6以降の「リハビリ学部志願率（全国私立）」は、R1～R5の平均値で積算。
※7　「リハビリ学部入学者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「リハビリテーション学部」のみの数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「リハビリ学部入学率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※8　R6以降の「リハビリ学部入学率（全国私立）」はR1～R5の平均値で積算。
※9　R7以降の「本学健康医療科学部入学率（入学者/全国18歳人口）」はR1～R6までの6年間の平均値で積算。
※10　R7以降の「本学健康医療科学部入学率（入学者/全国私立リハビリ学部入学者数）」は、R1～R5の平均値で積算。

心理学部入学者予測

No	摘要		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
					60	60	60	60	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,664	1,085,148	1,069,005	1,066,810	1,050,986	1,035,215	1,024,042	1,013,894	1,005,714	970,429
2	18歳人口（福島）※2		18,824	18,482	17,622	17,276	16,593	15,899	15,810	15,556	15,222	14,769	14,693	14,205	13,669	14,613	14,309	14,063	13,395
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398	3,346	3,240	3,180	3,060	3,082	3,006	2,913	2,776	2,695	2,636	2,323	2,446	2,570	2,450	2,417	2,326
4	18歳人口（全国減少率）		107.1%	106.4%	104.0%	102.2%	100.0%	96.9%	99.4%	99.6%	98.9%	97.4%	97.2%	95.8%	94.3%	93.3%	92.4%	91.6%	88.4%
5	18歳人口（福島減少率）		113.4%	111.4%	106.2%	104.1%	100.0%	95.8%	95.3%	93.8%	91.7%	89.0%	88.5%	85.6%	82.4%	88.1%	86.2%	84.8%	80.7%
6	18歳人口（いわき減少率）		111.0%	109.3%	105.9%	103.9%	100.0%	100.7%	98.2%	95.2%	90.7%	88.1%	86.1%	75.9%	79.9%	84.0%	80.1%	79.0%	76.0%
7	大学進学者数（福島）		7,737	7,707	7,472	7,446	7,201	6,948	6,941	6,876	6,774	6,602	6,627	6,435	6,233	6,707	6,611	6,539	6,269
8	大学進学率（福島）		41.1%	41.7%	42.4%	43.1%	43.4%	43.7%	43.9%	44.2%	44.5%	44.7%	45.1%	45.3%	45.6%	45.9%	46.2%	46.5%	46.8%
9	福島残留数（福島）		1,547	1,565	1,689	1,675	1,606	1,494	1,492	1,478	1,456	1,419	1,425	1,383	1,340	1,442	1,421	1,406	1,348
10	福島残留率（福島）※4		20.0%	20.3%	22.6%	22.5%	22.3%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%
11	心理学部志願者数（全国私立）※5		28,076	29,548	24,990	28,259	32,716	26,799	27,482	27,535	27,346	26,939	26,884	26,485	26,087	25,806	25,550	25,344	24,455
12	心理学部志願率（全国私立）※6		2.39%	2.53%	2.19%	2.52%	2.98%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%	2.52%
13	心理学部入学者数（全国私立）※7		2,832	3,098	3,146	3,740	3,942	3,084	3,163	3,169	3,147	3,100	3,094	3,048	3,002	2,970	2,940	2,917	2,814
14	心理学部入学者増減率（全国私立）		71.8%	78.6%	79.8%	94.9%	100.0%	78.2%	80.2%	80.4%	79.8%	78.6%	78.5%	77.3%	76.2%	75.3%	74.6%	74.0%	71.4%
15	心理学部入学率（全国私立）※8		0.24%	0.27%	0.28%	0.33%	0.36%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%	0.29%
16	本学心理学部入学者数			34	35	38	48	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	本学心理学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9			0.002913%	0.003067%	0.003389%	0.004374%	0.003479%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%	0.003444%
18	本学心理学部入学者予測①		—	—	—	—	—	—	38	38	37	37	37	36	36	35	35	35	33
19	本学心理学部入学率（入学者/全国私立心理学部入学者数）※10			1.097482%	1.112524%	1.016043%	1.217656%	—	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%	1.110926%
20	本学心理学部入学者予測②		—	—	—	—	—	—	35	35	35	34	34	34	33	33	33	32	31
21	本学心理学部入学者数（福島県）			21	27	24	27	20	19	19	18	18	18	17	16	18	17	17	16
22	本学心理学部入学率（福島出身/残留数）		0.00%	1.34%	1.60%	1.43%	1.68%	1.34%	1.28%	1.27%	1.26%	1.25%	1.24%	1.24%	1.23%	1.22%	1.21%	1.21%	1.20%
23	本学心理学部入学者数（いわき市）			15	15	14	10	11	11	10	10	10	9	8	9	9	9	9	8
24	本学心理学部入学率（いわき出身/残留数）		0.00%	0.96%	0.89%	0.84%	0.62%	0.74%	0.72%	0.71%	0.69%	0.68%	0.67%	0.60%	0.66%	0.64%	0.62%	0.62%	0.62%
25	本学心理学部入学率（いわき出身/いわき人口）		0.00%	0.45%	0.46%	0.44%	0.33%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%	0.36%
26	本学心理学部入学率（いわき市/福島県）		#DIV/0!	71.43%	55.56%	58.33%	37.04%	55.00%	56.71%	55.85%	54.39%	54.42%	53.51%	48.77%	53.37%	52.45%	51.06%	51.26%	51.79%
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

１．学生の確保の見通し等を記載した書類 2
（１）収容定員を変更する組織の概要 2
①収容定員を変更する組織の概要 2
②収容定員を変更する組織の特色 2
（２）人材需要の社会的な動向等 3
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会動向の分析 3
②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析 5
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域 6
④既設組織の定員充足の状況 7
ⅰ 国際看護学部看護学科 7
（３）学生確保の見通し 8
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 8
ア　既設組織における取組とその目標 8
ⅰ 接触者に対する取組とその目標 8
ⅱ 非接触者に対する取組とその目標 9
イ　収容定員を変更する組織における取組とその目標 10
ⅰ 接触者に対する取組とその目標 10
ⅱ 非接触者に対する取組とその目標 12
ウ　当該取組の実績の分析結果に基づき、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数 13
ⅰ 接触者に対する当該取組の分析、入学者の見込み数 13
ⅱ 非接触者に対する当該取組の分析、入学者の見込み数 16
②競合校の状況分析（立地条件、要請人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況） 19
ア　競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性 19
イ　競合校の入学志願動向等 32
ウ　収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等 34
エ　学生納付金等の金額設定の理由 35
③先行事例分析 38
④学生確保に関するアンケート調査 39
⑤人材需要に関するアンケート調査 39
（４）収容定員を変更する組織の定員設定の理由 40

１．学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要

収容定員を変更する組織	入学定員	収容定員	所在地
医療創生大学 薬学部 薬学科	40	240	福島県いわき市中央台飯野 5丁目5 番地1
医療創生大学 看護学部 看護学科	55	220	
医療創生大学 健康医療科学部 作業療法学科	20	80	
医療創生大学 健康医療科学部 理学療法学科	55	220	
医療創生大学 心理学部 臨床心理学科	40	160	

②収容定員を変更する組織の特色

今般の収容定員の変更は、福島県いわき市のいわきキャンパスに設置している４つの学部の定員を変更するものである。

薬学部薬学科では、「一人ひとりの学生を大切にする手塩にかける教育を行い、従来の薬剤師としての職能に加えて、チーム医療の中で貢献できる、問題発見能力と問題解決能力を備えた薬剤師を育成し、地域社会に有為な人材を送り出すこと」を理念とし、教育上の目的を、「豊かな人間性を有し、率先して地域の人々の健康の増進・向上に寄与することのできる、研究マインドと確かな知識に裏打ちされた、自律・自立した薬剤師を育成すること」、研究上の目的を「臨床的な問題解決から基礎研究まで、多様な視点での研究活動を行い、科学と社会に貢献すること」として人材を養成している。

看護学部看護学科では、幅広い教養と豊かな人間性を養い、看護専門職として必要とされる基本的な知識・技能・態度に基づいた看護実践能力を修得するとともに、将来にわたり看護の向上に資するための能力を養い（すなわち ESD: Education for Sustainable Development を実践し）、人々の健康の保持増進に寄与することのできる人材を育成することを教育研究上の目的としている。

健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科は、地域で生活するあらゆる世代の人々がその人らしく、健康を維持・増進しながら、必要に応じて効果的な医療サービスを受け、可能な限り自立した生活ができるよう、健康から疾病の回復に至るまで連続的な視点で捉え、科学的根拠に裏づけされた専門的知識･技術を備えた専門職者（Evidence-Based Practitioner）を育成することを教育研究上の目的とする。さらに、高齢化が進む地域医療等の現場において、住民の真の声に耳を傾けきめ細かな地域ニーズを調査できる人材、また、課題解決に向けた具体的な計画を立案し、着実に実施できる人材を育成している。

心理学部臨床心理学科は、「①現代社会の諸問題に対し、心理学や実証科学的な観点に立ち、適切な情報処理と問題解決ができるための知識・技能を修得する。②多様な社会生活において、自分や周囲の人たちの心の健康を維持・促進するために、柔軟でバランスのとれた人間ー環境理解とそれに基づいた対応ができるための知識・技能・態度を修得する。③卒業後に

公認心理師の受験資格取得をめざし、保健医療や福祉、教育、その他の分野において「心の専門家」として活躍できるための基礎的な心理学の知識・技能を修得する。」ことを教育研究上の目的として、心理学の専門性を備えて社会の中で自らの心の健康のみならず、対人関係の調整やストレスへの対処などに関する専門的な知識を持ち、人間関係の調整に役立つスキルを備えた公認心理師、及び社会人（一般職業人）を育成している。

（２）人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会動向の分析

薬学部薬学科では薬剤師、看護学部看護学科では看護師、保健師、健康医療科学部作業療法学科では作業療法士、理学療法学科では理学療法士、心理学部臨床心理学科では公認心理師、一般職業人を養成している。

薬剤師の動向は、厚生労働省の薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会の資料によると、「薬剤師の総数としては、概ね今後 10 年間は、需要と供給は同程度で推移するが、将来的には、需要が業務充実により増加すると仮定しても、供給が需要を上回り、薬剤師が過剰になる。」ことが示されている。

また、同資料には、「薬剤師に地域偏在があることが指摘されている」こと、「病院団体をはじめとして関係団体等からは、薬剤師が不足しており確保が困難な状況であることから、薬剤師の養成・確保及び勤務環境の改善を促進するとともに、地域の偏在について早急に対策を講じ、地域の実情に即した保健医療体制を構築することなどの要望がこれまでにあげられている」ということ、及び「全国的に効果的な対応が十分に実施できていない状況であること」が示されている。**【資料 1（P.2-3）：第 13 回第 8 次医療計画に関する検討会　（令和 4 年 8 月 25 日）参考資料 2　厚生労働省】**

福島県においては、第 8 次福島県医療計画（令和 6 年 3 月福島県保健福祉部）において薬剤師の状況として「地域の実情に応じた薬剤師確保並びに薬剤師偏在の改善を図ります。」「薬学部を有する大学との連携支援等により、県内定着化並びに病院への就業促進を図ります。」とされ、「本県の薬剤師数は着実に増加していますが、人口 10 万あたりの数は全国平均を大きく下回っており、全国的な地域間の偏在が見受けられます。」と示されており、今後も福島県における薬剤師への需要は続いていくと見込んでいる。**【資料 2（P.1）：第 8 次福島県医療計画（令和 6 年 3 月福島県保健福祉部）】**

看護師、保健師の動向は、「医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ（令和元年 11 月 15 日（金））」には、全国の看護職員の推計が示されており、令和 7（2025）年の都道府県報告値（係数処理前）には 1,801,633 人の需要推計に対して、1,746,664 人の供給推計が示され、供給が不足していることが示されている。**【資料 3：医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ（令和元年 11 月 15 日（金））】**

また、第 8 次福島県医療計画（令和 6 年 3 月福島県保健福祉部）によると、「本県の看護職員の常勤換算就業者数は、令和 4（2022）年末現在で 24,104 人であり、平成 30（2018）年

3 月に策定した「福島県看護職員需給計画」における令和 4（2022）年の看護職員需要見込み数 24,892 人に対し、達成率が 96.8%となっています。また、令和 4（2022）年における人口 10 万人当たりの看護職員の就業者数は 1,431.5 人であり、全国平均の 1,332.1 人を上回っています。(厚生労働省「令和 4 年衛生行政報告例」)」と示され、看護職員の就業者数が、全国平均を上回っていることが示されているが、一方で、「本県では、保健師は「30～34 歳」（16.7%）、助産師は「25～29 歳」（15.2%）、看護師は「45～49 歳」（13.2%）、准看護師は「60～64 歳」（18.5%）と、看護師と助産師については、全国と同様ですが、全体では、30 代未満の若手が少なく、50 代以上の看護職員の割合が高くなっています。」と年代別の構成についての課題が示されている。

さらに、「18 歳人口の減少等により、県内看護師等養成施設の受験者数の減少や入学定員に対する充足率の低下に伴い、県内就業者の確保が困難となることも想定されるため、看護師等の養成や新卒者の県内への就業促進と定着化について、より一層の強化を図る必要があります。」と示され、この施策の方向性と展開として「中学生・高校生を対象とした看護職の普及啓発や看護師等養成施設のＰＲなどに加え、小学生に対しても看護の魅力を伝える取組を行い、看護職を目指す学生の確保に努めます。」とされており、看護師、保健師において引き続き需要が続くと見込んでいる。**【資料 2（P.2-4）：第 8 次福島県医療計画（令和 6 年 3 月 福島県保健福祉部）】**

作業療法士、理学療法士の動向は、医療従事者の需給に関する検討会第 3 回理学療法士・作業療法士需給分科会（資料 1）（平成 31 年 4 月 5 日）によると、「PT・OT の供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040 年頃には供給数が需要数の約 1.5 倍となる結果となった。」と示されている。**【資料 4：医療従事者の需給に関する検討会　第 3 回理学療法士・作業療法士需給分科会（資料 1）（平成 31 年 4 月 5 日）】**

第 8 次福島県医療計画（令和 6 年 3 月福島県保健福祉部）によると、「本県の医療施設及び介護施設に従事する常勤換算理学療法士・作業療法士数は、令和 2（2020）年 10 月 1 日現在、理学療法士は人口 10 万人あたり 74.2 人（全国平均 88.5 人）、同じく作業療法士は 43.4 人（全国平均 45.8 人）となっており、理学療法士数、作業療法士数ともに全国平均を下回っています。」とされ、「今後も引き続き、理学療法士・作業療法士の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、その養成確保により一層努める必要があります。」と示されており、全国的には供給数が上回ることが見込まれるものの、福島県においては、作業療法士、理学療法士に対する需要が続いていくと見込んでいる。**【資料 2（P.5-6）：第 8 次福島県医療計画（令和 6 年 3 月福島県保健福祉部）】**

公認心理師については、平成 28（2016）年に公認心理師法案が成立し、心理学領域で初めての国家資格が制定されたばかりの状況である。厚生労働省は、企業における労働者のストレスチェックの後、高ストレス者を対象に実施する面談の担当者として、これまでの医師、保健師、精神保健福祉士の他に、公認心理師を加えており、今後は、公認心理師と臨床心理士ともに、「心理支援の専門家」として心理の支援を必要とする者やその家族・関係者への支援を担い、心の健康の維持増進に役割を果たすことになる。

全国的に教育現場において、いじめ・不登校等の子どもの心のケアのためにスクールカウンセラー・相談員の配置が強く求められ、一般企業においては、労働者のストレス等への対

応が求められていることに加え、福島県においては、東日本大震災を契機とした災害等のストレスに対するケアが求められている。

福島県精神保健福祉センターにおける精神保健相談件数をみると、平成 24（2012）年度の 2,977 件（「来所相談」19 件、「電話相談」986 件、「こころの電話」1,024 件、「こころの健康相談ダイヤル」948 件の合計）から令和 3（2021）年度には 4,471 件（「来所相談」113 件、「電話相談」2,013 件、「こころの電話」1,154 件、「こころの健康相談ダイヤル」1,191 件の合計）と 1,494 件増加している。令和元（2019）年度に相談件数が一時減少しているものの、令和 2（2020）年度以降、増加している状況であり、公認心理師、及び心理学を学んだ社会人に対する需要は、今後も続いていくと見込んでいる。**【資料 5：令和 3 年度精神保健福祉センター所報　第 50 集】**

②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

全国の 18 歳人口は令和 5（2023）年の 1,097,416 人から令和 17（2035）年には 970,429 人と 126,987 人の減少が予測されている。エリア別にみると本学が主な募集エリアとする東北地方では、令和 5（2023）年の 75,379 人から令和 17（2035）年には 60,112 人と 15,267 人の減少、隣接する北関東地区では令和 5（2023）年の 61,863 人から令和 17（2035）年には 50,606 人と 11,257 人の減少である。**【資料 6（P.1）：リクルート進学総研マーケットリポート 2023 Vol.118（2024 年 2 月号）】**

福島県では、令和 5（2023）年の 16,593 人から令和 17（2035）年には 13,395 人と 3,198 人の減少、割合にすると約 19.2%の減少が予測されている。**【資料 7（P.1）：リクルート進学総研マーケットリポート 2023 Vol.120（2024 年 2 月号）】**

一方、現役高校生の大学進学率（平成 26（2014）年から令和 5（2023）年まで）をみると、全国で 48.1%から 56.9%と 8.8 ポイント増加、東北地方では 38.8%から 45.7%と 6.9 ポイント増加しており、年々増加している。**【資料 6（P.2）：リクルート進学総研マーケットリポート 2023 Vol.118（2024 年 2 月号）】**

福島県の大学進学率（現役）の推移をみると、平成 26（2014）年の 38.0%から令和 5（2023）年の 44.4%まで 6.4 ポイント増加しており、東北地方の中でも高い進学率である。

高校生の大学進学における福島県内残留率は、、平成 26（2014）年から令和 5（2023）年まで 19.3%から 22.3%と 3.0 ポイント増加している。これを、平成 26（2014）年の大学進学者数 6,884 人、令和 5（2023）年の大学進学者数 6,431 人により実数換算すると約 1,328 人から約 1,434 人へ約 106 人増加していることとなる。**【資料 7（P.1-3）：リクルート進学総研マーケットリポート 2023 Vol.120（2024 年 2 月号）】**

また、中央教育審議会将来構想部会（第 9 期～）（第 13 回）（平成 30 年 2 月 21 日）の「大学への進学者数の将来推計について」には、都道府県別男女別大学進学率（実績・推計値）が示されており、福島県においては令和 20（2038）年の 47.5%まで進学率が増加し、令和 20（2038）年においては東北地方の中で最も高くなることが予測されている。**【資料 8：中央教育審議会将来構想部会（第 9 期～）（第 13 回）（平成 30 年 2 月 21 日）「資料 2　大学への進学者数の将来推計について」】**

なお、本学が所在する福島県の私立大学 6 校の令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の充足率の状況をみると、0.91%、0.92%、0.86%と減少傾向にあるが、これは本学と、医療系の大学 1 校の入学定員充足率が低いことに起因しており、本学の入学定員を減ずることで改善が見込まれるものである。**【添付データ：新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）】**

中長期的な 18 歳人口の予測から、より一層厳しい学生募集環境に置かれることとなるが、大学の進学率の向上等の要素を踏まえ、定員を減ずることで定員充足が可能になると見込んでいる。

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

令和 6（2024）年度の入学者数を都道府県別にみると、福島県が 98 人、茨城県が 27 人、秋田県が 7 人、次いで山形県 5 人、青森県 5 人、宮城県 4 人となっている。**【添付データ：新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）】**

過去 5 年間（令和 2（2020）年度～令和 6（2024）年度）の本学いわきキャンパスへの入学者の割合を都道府県別にみると、本学の地元である福島県出身者の平均は約 65.5%である。そのうち、本学の所在地であるいわき地区出身者の平均は約 37.7%である。

過去 5 年間の各学部各学科の入学者の割合の平均は以下のとおりである。

薬学部薬学科はいわき市出身者が 36.9%、福島県出身者が 52.8%、茨城県、及び隣接県である宮城県の 3 つの県の出身者が 83.1%、福島県、宮城県、茨城県に、東北地方にある青森県、岩手県、秋田県、隣接県である山形県の 4 つの県を加えた出身者は 89.5%となる。

看護学部看護学科は、いわき市出身者が 38.8%、福島県出身者が 72.1%、福島県、宮城県、茨城県出身者の合計が 90.1%、福島県、宮城県、茨城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県の出身者が 96.7%である。

健康医療科学部作業療法学科は、いわき市出身者が 48.2%、福島県出身者が 72.4%、福島県、宮城県、茨城県出身者の合計が 91.4%、福島県、宮城県、茨城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県の出身者が 98.1%である。

健康医療科学部理学療法学科は、いわき市出身者が 37.6%、福島県出身者が 69.0%、福島県、宮城県、茨城県出身者の合計が 84.1%、福島県、宮城県、茨城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県の出身者が 94.4%である。

心理学部臨床心理は、いわき市出身者が 34.9%、福島県出身者が 62.5%、福島県、宮城県、茨城県出身者の合計が 82.8%、福島県、宮城県、茨城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県の出身者が 94.1%である。**【資料 9：都道府県別等入学者推移表】**

以上のように、学部によって傾向は異なるものの、本学の所在地である福島県、福島県に隣接し、一部 JR 常磐線で通学圏内となる茨城県、隣接県である宮城県、山形県、東北地方の青森県、岩手県、秋田県からの入学者で約 94.3%を占めている状況である。今後、効果的な募集活動を実施していくことを前提としても、この傾向は大きく変わらないと考え、当該エリアを主な学生募集地域として設定し、募集活動を実施していくことで入学定員を充足していく計画である。

なお、今般、定員を変更する学部の学問分野の系統の志願動向について、日本私立学校振

興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」における学問分野（系統区分）の過去 3 年の定員充足状況をみると、薬学は 88.61%、94.79%、94.66%、看護学部は 102.72%、101.76%、99.22%、リハビリテーション学部※は 100.35%、97.24%、95.44%、心理学部は 103.05%、106.01%、104.20%とそれぞれ推移しており、本学の設置する学部の系統における充足率は薬学を除き比較的高い状況である。**【添付データ：新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）】**

薬学においては上述の福島県、茨城県、宮城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県の他、栃木県、新潟県を加えて募集地域として設定し学生募集を行う計画である。

※本学のリハビリテーションの学問分野の学部は「健康医療科学部」であるが、「私立大学・短期大学等入学志願動向」の健康医療科学部は、学部数が 3 つであり、母数が少ないこと、及びリハビリテーション以外の学科が含まれている大学もあり、それも含めて合算されているため、「私立大学・短期大学等入学志願動向」の学問分野（系統区分）は「リハビリテーション学部」の数値を参考としている。

④既設組織の定員充足の状況

ｉ国際看護学部看護学科

本学には、今般の定員の変更を行ういわきキャンパスの他に、千葉県柏市に設置している柏キャンパスに国際看護学部看護学科を設置している。

国際看護学部は「グローバルな視点をもった社会に有為な保健医療人材の育成」を養成する人材像として設定しており、教育課程に「国際看護学」の科目区分を設けて、「国際」の素養を持たせる内容であることが特徴であることを周知し、学部の内容理解に努めている。

令和 3（2021）年 4 月に千葉県柏市に開設した国際看護学部看護学科の入学者数は、入学定員 80 人に対して 88 人（入学定員充足率 110%）、78 人、83 人、69 人と推移している。

国際看護学部の募集エリアは、通学圏として想定される千葉県、及び隣接県（千葉県北部地域を横断する常磐線沿線）として広報活動を行っている。

令和 4（2022）年度、令和 6（2024）年度に入学定員充足率が 100%を下回ったが、これらは年度末の他大学の追加合格等により、合格後の歩留まり率が予想より低い結果となったことが要因であった。

今後は、歩留まり率が向上するように、オープンキャンパスや高校訪問等により広報を実施するとともに学部の教育内容の理解を図るための情報提供を行い、入学者を確保する計画である。

【国際看護学部看護学科の入学試験結果】（単位：人）

国際看護学部 看護学科	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
入学定員	80	80	80	80
志願者数（延べ）	198	166	124	108
志願者数（実数）	141	115	111	91
合格者数	149	121	110	93
入学者数	88	78	83	69
入学定員充足率	110%	97.5%	103.8%	86.3%

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア　既設組織における取組とその目標

ⅰ 接触者に対する取組とその目標

・オープンキャンパス、進学相談会等各種説明会、出前講座、大学見学

・国際看護学部看護学科

国際看護学部看護学科は、千葉県柏市に設置されている。今般定員を変更する４つの学部は福島県いわき市に設置されており地域的な違いがあるが、オープンキャンパスは、実施時期や対象学年に応じたプログラムを提供し、学部説明や模擬講義に留まらず、学内の実習施設や設備を幅広く活用したうえで、進学後の学修内容、大学卒業後の将来像を意識できるように企画している。

新型コロナウィルス感染症の影響による制限が緩和されるにつれ、令和 3（2021）年度以降、来場者数も一定の増加傾向が見られたが、令和 5（2023）年度においては、来場者数が減少し、志望度を高める企画、内容が求められる。令和 6（2024）年度は、学部学科のメッセージをより明確に打ち出し、来場者の入学割合をさらに高めるよう、教職員、学生一体となって充実化を図る計画である。

令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の過去 3 年間の国際看護学部のオープンキャンパス参加者数に対する入学者数の割合（平均）は 46.2%であり、これを踏まえ試算すると、入学定員の 80 人の入学者を確保するためには、173 人以上の 3 年生の来場者が必要となる。一方、オープンキャンパスに参加せず入学している割合は 10%程度と少数のため、来場者数増加に加え、参加者の入学割合の向上も重要視しており、入学者の割合を 53.3%まで向上させるとともに、150 人以上の３年生の来場を得ることで入学定員を確保できる見込みである。

【オープンキャンパス参加者数】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
来場者数（3 年生実数）	140	178	132	150
上記のうち入学者数	66	78	63	80
入学者の割合	47.1%	43.8%	47.7%	53.3%

各種の説明会については、大学・学部・学科の特色始め、入試情報等の提供による認知度、志望度の向上を目的としているが、オープンキャンパスへの参加促進も重要な役割ととらえている。本学への興味・関心の高い高校生と直接接触することのできる機会として、年間を通じて業者主催の進学相談会・学校ガイダンスへ積極的に参加しており、国際看護学部柏キャンパスの位置する千葉県内を中心に、茨城県を始め、埼玉県、東京都を対象地域に設定し、広報担当者で行っている。高校内で実施される学校ガイダンスにおいては、３年生はもとより、１・２年生を対象とした説明会も多く、早期から本学の認知度、志望度を高めるためにできる限り参加し、学生の確保に努めている。令和 5（2023）年度は、各種の説明会に 93 回参加し、説明を行った。

【進学相談会参加数】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
進学相談会等参加数	95	81	93	95

出前講座については、高校を中心に国際看護学部看護学科の専門分野に関連した講座を展開しており、業者を通さずに高校独自の出前講座の需要も高まっている。

大学見学は、地域に拘らず依頼のあったものは受け入れている。

【出前講座・大学見学実施回数】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
出前講座数	5	1	2	8
大学見学数	2	4	10	10

ii 非接触者に対する取組とその目標

・高校訪問、広報媒体（ホームページ・SNS、動画配信、進学情報サイト、受験雑誌）

・国際看護学部看護学科

高校訪問は、教育内容の周知と進学希望者への情報提供を目的として、各種の説明会と同

様、国際看護学部柏キャンパスの位置する千葉県内を中心に、茨城県、埼玉県、東京都を対象地域に設定し、広報担当者で進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ説明を行っている。

訪問内容は高校からの要望等の聴取をはじめ、本学へ入学した学生の状況報告、教育内容・入試内容の説明、入試結果報告等を行っている。高校生が進路を決定する際、大きな情報源となるのが学年担当教員や進路担当教員でもあることから、定期的に情報提供を行い、高校との連携を強化して入学志願者の確保に努めている。

広報媒体については、高校生が本学の最新の情報を得られるように、ホームページ、SNSの他、業者を介した進学情報 WEB サイト、受験雑誌を活用している。ホームページでは、入試情報をはじめ、大学の各種イベントやニュースを発信し、受験生がリアルタイムに情報を得られるようにしている。また、学内の雰囲気や情報を把握できるよう、学部の内容や、施設・設備の紹介をしている。

SNS においては、本学の教職員だけでなく、在学生の協力を得ながら実施しており、学生目線の情報を提供できるようにしている。

進学情報サイト、受験雑誌には、入試情報、オープンキャンパスの案内を中心とした情報を掲載し、これらを活用して本学の資料を請求した高校生に対して、メール送信によるフォローアップ等、広報活動が連携して実施できるようにしている。

引き続き、上記の広報媒体を活用し、高校生にとって必要であると想定される情報を随時発信し、教育内容等の周知を図る計画である。

イ　収容定員を変更する組織における取組とその目標

ⅰ 接触者に対する取組とその目標

・オープンキャンパス、進学相談会等各種説明会、出前講座、大学見学

オープンキャンパスは、実施時期や対象学年に応じたプログラムを提供し、学部説明や模擬講義に留まらず、学内の実習施設や設備を幅広く活用したうえで、進学後の学修内容、大学卒業後の将来像を意識できるように企画している。また、福島県外からの入学者の獲得を目指し、生活環境や自然環境等、地域・都市の魅力も伝わるようにしている。

新型コロナウィルス感染症の影響による制限が緩和されるにつれ、令和 3（2021）年度以降、来場者数も一定の回復傾向が見られたが、令和 5（2023）年度においては、来場者の入学割合が減少し、志望度を高める企画、内容が求められる。令和 6（2024）年度は、学部学科のメッセージをより明確に打ち出し、来場者の入学割合をさらに高めるよう、教職員、学生一体となって充実化を図る計画である。

令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の過去 3 年間のいわきキャンパスのオープンキャンパス参加者数に対する入学者数の割合（平均）は 50.1%であり、これを踏まえ試算すると、入学定員変更後の 210 人の入学者を確保するためには、419 人の 3 年生の来場者が必要となる。

一方で、直近の令和 5（2023）年度では、入学者のうち 40%程度がオープンキャンパスに参加せずに入学しており、大学全体では 252 人の 3 年生の来場者数が得られれば、入学定員

を確保できる見込みである。

【オープンキャンパス参加者数（大学全体）】

	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）目標
来場者数（３年生実数）	329	277	236	252
上記のうち入学者数	175	157	95	126
入学者の割合	53.2%	56.7%	40.3%	50.1%

進学相談会等各種の説明会は、大学・学部・学科の特色を始め、入試情報等の提供による認知度、志望度の向上を目的とするとともに、オープンキャンパスへの参加促進も重要な目的としている。本学への興味・関心の高い高校生と直接接触することのできる機会として、年間を通じて業者主催の進学相談会・学校ガイダンスへ積極的に参加しており、本学いわきキャンパスの位置する福島県いわき市を中心に、福島県内を始め、東北６県及び茨城県、栃木県、新潟県を対象地域に設定し、教職員でチームを編成して全学体制で行っている。高校内で実施される学校ガイダンスにおいては、３年生はもとより、１・２年生を対象とした説明会も多く、早期から本学の認知度、志望度を高めるためにできる限り参加し、学生の確保に努めている。令和５（2023）年度は、各種の説明会に223回参加し、延べ約1,900人の参加者に接触、説明を行った。本学が参加する進学相談会や学校ガイダンスの実施情報は、ホームページやSNS、ダイレクトメール等を通じて広く情報を発信し、高校生の参加を促している。

【進学相談会参加数】

	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）目標
進学相談会等参加数	75	169	223	250

出前講座は、高校を中心に各学部学科の専門分野に関連した講座を広く展開しており、需要も高まっている。高校に限らず、企業、行政、小中学校等からの要望にも可能な限り対応し、認知の拡大と地域社会への貢献にもつながっている。

大学見学は、いわき市の高校を中心に受け入れており、特に高大連携協定を締結しているいわき市内の高校とは、「一日総合大学」「医療系セミナー」など、高校独自の進路プログラムに組み入れられており、本学の教育内容の周知と高校生の進路選択に資する講座の提供により連携の強化を図っている。

【出前講座・大学見学実施回数】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
出前講座数	14	28	39	45
大学見学数	3	8	10	15

ⅱ 非接触者に対する取組とその目標

・高校訪問、広報媒体（ホームページ・SNS、動画配信、進学情報サイト、受験雑誌）

高校訪問は、教育内容の周知と進学希望者への情報提供を目的として、進学相談会等各種説明会と同様、本学いわきキャンパスの位置する福島県いわき市を中心に、福島県内を始め、東北６県及び茨城県、栃木県、新潟県を対象地域に設定し、教職員でチームを編成して全学体制で進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ説明を行っている。

また、募集活動を補佐する進路アドバイザーを配置し、福島県と近接県を中心に高校訪問を実施している。進路アドバイザーは、高校を退職した学校長経験者であり、高校からの要望等の聴取をはじめ、本学へ入学した学生の状況報告、教育内容・入試内容の説明、入試結果の報告等を行っている。高校生が進路を決定する際、大きな情報源となるのが学年担当教員や進路担当教員でもあることから、定期的に情報提供を行い、高校との連携を強化して入学志願者の確保に努めている。

【高校訪問】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
高校訪問数	985	839	1336	1400

広報媒体は、高校生が本学の最新の情報を得られるように、ホームページ、SNS の他、業者を介した進学情報 WEB サイト、受験雑誌を活用している。ホームページでは、入試情報をはじめ、大学の各種イベントやニュースを発信し、受験生がリアルタイムに情報を得られるようにしている。また、学内の雰囲気や情報を把握できるよう、学部の内容、施設・設備の紹介、入試内容の説明等を動画により配信している。

SNS においては、本学の教職員だけでなく、在学生の協力を得ながら実施しており、学生目線の情報を提供できるようにしている。

進学情報サイト、受験雑誌には、入試情報、オープンキャンパスの案内を中心とした情報を掲載し、これらを活用して本学の資料を請求した高校生に対して、メール送信によるフォローアップ等、広報活動が連携して実施できるようにしている。

引き続き、上記の広報媒体を活用し、高校生にとって必要であると想定される情報を随時発信し、教育内容等の周知を図る計画である。

【資料請求者数・ホームページ閲覧数・SNS 登録者数】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
資料請求者数（3 年生）	2,055	2,273	2,959	3,500
ホームページ閲覧数	1,375,589	1,218,043	1,150,650	1,200,000
SNS 登録者数（インスタグラム）	232	320	467	550
SNS 登録者数（X（Twitter））	562	651	692	750

ウ　当該取組の実績の分析結果に基づき、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

ⅰ 接触者に対する当該取組の分析、入学者の見込み数

・オープンキャンパス、進学相談会等各種説明会、出前講座、大学見学

・薬学部薬学科

薬学部薬学科のオープンキャンパスでは、薬剤師国家試験の合格実績、養成する人材像、教育方法、在学生の生活状況、具体的な体験をつうじた学部の特色理解等を中心とした内容を展開し、入学志願者の確保に努める。

令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の過去 3 年間の薬学部薬学科のオープンキャンパス参加者数に対する入学者数の割合（平均）は 41.3%であり、これを踏まえ試算すると、入学定員変更後の 40 人の入学者を確保するためには、97 人の 3 年生の来場者が必要となる。

一方で、直近の令和 5（2023）年度では、入学者のうち 40%程度がオープンキャンパスに参加せずに入学しており、薬学部薬学科では 59 人の 3 年生の来場者数が得られれば、入学定員を確保できる見込みである。

進学相談会等各種説明会については、オープンキャンパスへの参加促進も重要な役割と位置づけ、薬学分野に興味・関心の高い高校生と接触する機会を増やすため、福島県及びその近接県に留まらず、東北・北関東も対象として進学相談会・ガイダンスに参加し、養成する人材像、学部の特色等を周知し、オープンキャンパスへの動員を図る。

また、出前講座及び大学見学を積極的に受け入れ、高校に限らず、企業、行政、中学校等も対象とし、広く認知度、志望度の向上を図る。

【オープンキャンパス参加者数（薬学部薬学科）】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
来場者数（3 年生実数）	78	53	46	59
上記のうち入学者数	32	22	19	24
入学者の割合	41.0%	41.5%	41.3%	41.3%

・看護学部看護学科

看護学部看護学科のオープンキャンパスでは、養成する人材像、教育方法、在学生の生活状況、災害看護などの特徴的な模擬講義や多様な体験をつうじた学部の特色理解を中心とした内容を展開し、入学志願者の確保に努める。

令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の過去 3 年間の看護学部看護学科のオープンキャンパス参加者数に対する入学者数の割合（平均）は 49.0%であり、これを踏まえ試算すると、入学定員変更後の 55 人の入学者を確保するためには、113 人の 3 年生の来場者が必要となる。

一方で、直近の令和 5（2023）年度では、入学者のうち 40%程度がオープンキャンパスに参加せずに入学しており、看護学部看護学科では 68 人の 3 年生の来場者数が得られれば、入学定員を確保できる見込みである。

進学相談会等各種説明会については、オープンキャンパスへの参加促進も重要な役割と位置づけ、特に地元での地域貢献を目指す高校生との接触する機会を増やすため、本学いわきキャンパスの位置するいわき市及び福島県を中心に進学相談会・ガイダンスに参加し、養成する人材像、学部の特色等を周知し、オープンキャンパスへの動員を図る。

また、出前講座及び大学見学を積極的に受け入れ、高校に限らず、企業、行政、中学校等も対象とし、広く認知度、志望度の向上を図る。

【オープンキャンパス参加者数（看護学部看護学科）】

	令和 3 年度 (2021)	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024) 目標
来場者数 (3 年生実数)	67	58	57	68
上記のうち 入学者数	38	28	24	33
入学者の割合	56.7%	48.3%	42.1%	49.0%

・健康医療科学部作業療法学科

健康医療科学部作業療法学科のオープンキャンパスでは、養成する人材像、教育方法、在学生の生活状況を始め、作業療法士の職業理解の促進、専門学校との違い等も視野に入れ、体験をつうじた学部や職業理解を幅広く展開し、入学志願者の確保に努める。

令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の過去 3 年間の健康医療科学部作業療法学科のオープンキャンパス参加者数に対する入学者数の割合（平均）は 50.3%であり、これを踏まえ試算すると、入学定員変更後の 20 人の入学者を確保するためには、40 人の 3 年生の来場者が必要となる。

一方で、直近の令和 5（2023）年度では、入学者のうち 40%程度がオープンキャンパスに参加せずに入学しており、健康医療科学部作業療法学科では 20 人の 3 年生の来場者数が得られれば、入学定員を確保できる見込みである。

進学相談会等各種説明会については、オープンキャンパスへの参加促進も重要な役割と位

置づけ、学部学科の特色とともに、作業療法士の職業理解の促進も含め、福島県及びその近接県に留まらず、東北・北関東も対象として進学相談会・ガイダンスに参加し、養成する人材像、学部の特色等を周知し、オープンキャンパスへの動員を図る。

また、出前講座及び大学見学を積極的に受け入れ、高校に限らず、企業、行政、中学校等も対象とし、広く認知度、志望度の向上を図る。

【オープンキャンパス参加者数（健康医療科学部作業療法学科）】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
来場者数（3 年生実数）	36	27	23	24
上記のうち入学者数	18	19	7	12
入学者の割合	50.0%	70.4%	30.4%	50.3%

・健康医療科学部理学療法学科

健康医療科学部理学療法学科のオープンキャンパスでは、養成する人材像、教育方法、在学生の生活状況を始め、海外の大学との連携や留学を中心とした、体験を通じた学部の特色理解をグローバルな視点で展開し、入学志願者の確保に努める。

令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の過去 3 年間の健康医療科学部理学療法学科のオープンキャンパス参加者数に対する入学者数の割合（平均）は 51.5%であり、これを踏まえ試算すると、入学定員変更後の 55 人の入学者を確保するためには、107 人の 3 年生の来場者が必要となる。

一方で、直近の令和 5（2023）年度では、入学者のうち 40%程度がオープンキャンパスに参加せずに入学しており、健康医療科学部理学療法学科では 65 人の 3 年生の来場者数が得られれば、入学定員を確保できる見込みである。

進学相談会等各種説明会については、福島県及びその近接県に留まらず、東北・北関東も対象として進学相談会・ガイダンスに参加し、養成する人材像、学部の特色等を周知し、オープンキャンパスへの動員を図る。

また、出前講座及び大学見学を積極的に受け入れ、高校に限らず、企業、行政、中学校等も対象とし、広く認知度、志望度の向上を図る。

【オープンキャンパス参加者数（健康医療科学部理学療法学科）】

	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）目標
来場者数（3 年生実数）	103	82	60	65
上記のうち入学者数	57	50	23	33
入学者の割合	55.3%	61.0%	38.3%	51.5%

・心理学部臨床心理学科

心理学部臨床心理学科のオープンキャンパスでは、養成する人材像、教育方法、在学生の生活状況を始め、臨床分野においては大学院教育でのさらなる専門性の修得、また臨床分野以外でも幅広い体験をつうじた学部の特色理解を展開し、入学志願者の確保に努める。

令和 3（2021）年度から令和 5（2023）年度の過去 3 年間の心理学部臨床心理学科のオープンキャンパス参加者数に対する入学者数の割合（平均）は 59.1%であり、これを踏まえ試算すると、入学定員変更後の 40 人の入学者を確保するためには、68 人の 3 年生の来場者が必要となる。

一方で、直近の令和 5（2023）年度では、入学者のうち 40%程度がオープンキャンパスに参加せずに入学しており、心理学部臨床心理学科では 41 人の 3 年生の来場者数が得られれば、入学定員を確保できる見込みである。

進学相談会等各種説明会については、福島県及びその近接県に留まらず、東北・北関東も対象として進学相談会・ガイダンスに参加し、養成する人材像、学部の特色等を周知し、オープンキャンパスへの動員を図る。

また、出前講座及び大学見学を積極的に受け入れ、高校に限らず、企業、行政、中学校等も対象とし、広く認知度、志望度の向上を図る。

【オープンキャンパス参加者数（心理学部臨床心理学科）】

	令和 3 年度 (2021)	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024) 目標
来場者数 (3 年生実数)	45	57	50	41
上記のうち 入学者数	30	38	22	24
入学者の割合	66.7%	66.7%	44.0%	59.1%

ⅱ 非接触者に対する当該取組の分析、入学者の見込み数

・高校訪問、広報媒体（ホームページ・SNS、動画配信、進学情報サイト、受験雑誌）

・薬学部薬学科

薬学部薬学科の高校訪問は、本学いわきキャンパスの位置する福島県いわき市を中心に、福島県を始め、東北６県及び茨城県、栃木県、新潟県を対象地域に設定し、教職員でチームを編成して全学体制で進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ説明を行う。薬学部の志願者の傾向として、一般入試や大学入学共通テスト利用入試の志願者が比較的多いことから、進学実績の多い高校も積極的に対象校として情報提供を行い入学者の確保を図る。

広報媒体は、ホームページでのリアルタイムな情報発信を基軸に、薬学部の特徴のひとつである高い国家試験合格率、その結果を生む教育内容・体制を充実させている。在学生のリアルな学生生活を感じられるよう SNS や動画配信、進学情報サイト、受験雑誌を活用し、接触が困難な遠隔地の高校生にも実際の大学生活を感じられるよう展開している。

・看護学部看護学科

看護学部看護学科の高校訪問は、本学いわきキャンパスの位置する福島県いわき市内の高校との連携を特に強化しており、市内の高校を中心に福島県内及び近接県も含め、教職員でチームを編成して全学体制で進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ説明を行う。看護学部の実習では、いわき市内の医療施設との連携が必要不可欠であり、当該施設の医療従事者も市内の高校生の保護者であることが多く、市内の高等学校へ教育内容、在学生の状況、就職状況等を丁寧に説明することにより、入学者の確保を図る。

広報媒体は、ホームページでのリアルタイムな情報発信を基軸に、在学生のリアルな学生生活を感じられるよう SNS や動画配信、進学情報サイト、受験雑誌を活用している。ホームページの受験生専用サイト（創生力特設サイト）では、看護師・保健師の職業理解から、看護学部の学びの特徴、在学生のメッセージへとつながる構成で、接触が困難な遠隔地の高校生にも実際の大学生活を感じられるよう展開している。

・健康医療科学部作業療法学科

健康医療各学部作業療法学科の高校訪問は、作業療法士を目指す高校生の部活動等に所属する割合が高く、これらの生徒は、部活動等の参加が終わる 6 月ごろに進路を決定する傾向があり、年内入試の総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試を選択する場合が多い。そのため、可能な限り早期に高校を訪問し、特に総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試の特徴、変更点を中心に情報提供を行い、作業療法士という職業理解の促進も含め、福島県いわき市を中心に、福島県を始め、東北 6 県及び茨城県、栃木県、新潟県を対象地域に設定し、教職員でチームを編成して全学体制で進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ説明を行い入学者の確保を図る。

広報媒体は、ホームページでのリアルタイムな情報発信を基軸に、在学生のリアルな学生生活を感じられるよう SNS や動画配信、進学情報サイト、受験雑誌を活用している。作業療法士の職業理解のためのページを充実させ、作業療法学科の学びの特徴、教員・在学生のメッセージへとつながる構成で、接触が困難な遠隔地の高校生にも実際の大学生活を感じられるよう展開している。

・健康医療科学部理学療法学科

健康医療科学部理学療法学科の高校訪問は、作業療法学科と同様に、理学療法士を目指す高校生の部活動等に所属する割合が高く、これらの生徒は、部活動等の参加が終わる 6 月ごろに進路を決定する傾向があり、年内入試の総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試を選択する場合が多い。そのため、可能な限り早期に高校を訪問し、特に総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試の特徴、変更点を中心に情報提供を行う。理学療法学科においては、実習施設がいわき市内、福島県内に留まらず、広範囲に及ぶことから、いわき市内、福島県内の高校はもとより、実習施設のある都道府県の高校も対象として、進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ説明を行い入学者の確保を図る。

広報媒体は、ホームページでのリアルタイムな情報発信を基軸に、在学生のリアルな学生生活を感じられるよう SNS や動画配信、進学情報サイト、受験雑誌を活用している。理学療

法学科の特徴のひとつである、海外の大学との国際交流のページを充実させ、理学療法学科の学びの特徴、教員・在学生のメッセージへとつながる構成で、接触が困難な遠隔地の高校生にも実際の大学生活を感じられるよう展開している。

・心理学部臨床心理学科

心理学部臨床心理学科の高校訪問は、年内入試の総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試を選択する場合が多いため、可能な限り早期に高校を訪問し、特に総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試の特徴、変更点を中心に情報提供を行う。福島県いわき市を中心に、福島県を始め、東北６県及び茨城県、栃木県、新潟県を対象地域に設定し、教職員でチームを編成して全学体制で進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ説明を行い入学者の確保を図る。

広報媒体は、ホームページでのリアルタイムな情報発信を基軸に、在学生のリアルな学生生活を感じられるよう SNS や動画配信、進学情報サイト、受験雑誌を活用している。ホームページの受験生専用サイト（創生力特設サイト）では、公認心理師・臨床心理士の職業理解から、臨床分野以外の幅広い学びができる心理学部の学びの特徴、在学生のメッセージへとつながる構成で、接触が困難な遠隔地の高校生にも実際の大学生活を感じられるよう展開している。

非接触者に対する当該取組の入学者数の見込み数は、それぞれの取組が複合的に高校生の志願行動に影響するものであるため、計画的に取り組めば、オープンキャンパス等の接触を経ずに入学する 40%の入学者を確保できる見込みである。

【令和 6（2024）年度の入学者数の目標】

	変更後の 入学定員	オープンキャンパス等接触者	非接触者の 入学割合	高校訪問等 非接触者
薬学部 薬学科	40	24	40%	16
看護学部 看護学科	55	33	40%	22
健康医療科学部 作業療法学科	20	12	40%	8
健康医療科学部 理学療法学科	55	33	40%	22
心理学部 心理学科	40	24	40%	16
合計	210	126	40%	84

②競合校の状況分析（立地条件、要請人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア　競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

・薬学部薬学科

【競合校設定の観点】

学校種が同じ私立であること、学問分野が同じであること、所在地が主たる募集地域に所在していること、学力層が同等であることから、以下の学校を競合校として選定した。

所在地	大学	学校種	学部	学科	入学定員
福島県	医療創生大学	私立	薬	薬（6 年制）	40
福島県	奥羽大学	私立	薬	薬（6 年制）	100
宮城県	東北医科薬科大学	私立	薬	薬（6 年制）	300

【競合校との比較分析】

・教育方法と内容

奥羽大学薬学部ではクラス分けによる少人数教育、教員が３人程度を受け持つアドバイザー制等を取り入れた教育方法で、学習支援を行っている。東北医科薬科大学薬学部では、課題解決型学習（PBL）、組担任制度を導入し、学習支援を行っている。本学薬学部においては、イグナイト教育という課題解決型学習（PBL）、ICT 機器を活用した学修支援システムを導入し、学習支援を行っている。

薬学教育においては、教育方法に競合校ごとの特徴があるものの、「モデル・コアカリキュラム」が文部科学省より示されており、教育内容については本学を含む競合校で一定の基準で展開している。教育成果の観点で国家試験合格率の実績から本学に優位性があると考える。

（国家試験合格率）（厚生労働省　「薬剤師国家試験の結果について」）

所在地	大学	学校種	第 107 回	第 108 回	第 109 回
福島県	医療創生大学	私立	90.57%	88.52%	83.82%
福島県	奥羽大学	私立	34.25%	39.18%	38.28%
宮城県	東北医科薬科大学	私立	70.62%	72.86%	70.75%

・入試（受験時期、入学手続時期との関係）

大学	時期	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜
医療創生大学	受験	9月下旬（1） 10月下旬（2） 12月中旬（3） 2月下旬（4） 3月中旬（5）	11月中旬	2月上旬（1） 3月中旬（2）
	手続	12月中旬（1・2） 1月下旬（3） 3月下旬（4・5）	12月中旬	2月下旬（1） 3月下旬（2）
奥羽大学	受験	10月中旬	11月下旬	1月中旬（1） 2月上旬（2） 3月中旬（3）
	手続	指定期間	指定期間	指定期間
東北医科薬科大学	受験	－	11月中旬	1月中旬（前） 2月中旬（後）
	手続	－	12月中旬	2月上旬（前） 3月上旬（後）

総合型選抜においては、受験機会を多く設定し、高校生の受験しやすい環境を設定している。学校推薦型選抜、一般選抜は同時期に設定しており、競合校よりも志望度を高める取組を実施し、入学者の確保を図る。

・学生納付金、奨学金制度などの修学支援の内容

奥羽大学薬学部では、成績・人物ともに優秀な学生に対して奥羽大学影山晴川育英奨学金制度（最大50万円）を各学年に設けている。また、学力および心身ともに学生の模範となる成績優秀者 30 名を対象に在学 6 年間の授業料を免除する特待生制度を設けている。東北医科薬科大学薬学部では、「東北医科薬科大学創設者高柳義一奨学金」「東北医科薬科大学特別奨学金」を設けている。本学薬学部においては、入試における成績優秀者に対して、学校推薦型選抜入試において、「特待指定校推薦制度」を導入して初年度の学費の半額を免除し、一般選抜入試において「特待生制度」を導入して在学期間の半額を免除し、経済的負担の軽減を図っている。

・就職支援の内容

奥羽大学薬学部では、外部講師を招請したキャリアガイダンス、商工会議所を通じたインターンシップへの参加、就職関係資料を集めたブース・掲示板の設置、「奥羽大学薬学部進路ニュース」の編集、配布を行っている。また、職業研究セミナーを全学生対象に、病院・保険薬局・ドラッグストアの担当者の出席を求めて学内で開催している。東北医科薬科大学薬学部では、学科の特色を生かしながら、卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るべく就職支援プログラムを実施している。本学薬学部においては、５年次に就職個別

面談を実施し各学生の希望をじっくりヒアリングし、アドバイスをしている。地元企業をはじめとする求人情報も学生へ個別に提供し、希望に即した情報提供を心がけている。学生の夢の実現に向け、全教職員が力強くバックアップしている。

・取得できる資格

大学	取得できる資格
医療創生大学	薬剤師（国家試験受験資格）
奥羽大学	薬剤師（国家試験受験資格）
東北医科薬科大学	薬剤師（国家試験受験資格）

・看護学部看護学科

【競合校設定の観点】

学校種が同じ私立であること、定員規模が比較的同等であること、学問分野が同じであること、所在地が主たる募集地域に所在していること、学力層が同等であることから、以下の学校を競合校として選定した。

所在地	大学	学校種	学部	学科	入学定員
福島県	医療創生大学	私立	看護	看護	55
茨城県	茨城キリスト教大学	私立	看護	看護	80
茨城県	常磐大学	私立	看護	看護	80

【競合校との比較分析】

・教育方法と内容

茨城キリスト教大学看護学部では、臨地実習協力機関と連携し、新たな教育指導体制の構築に取り組み、優れた看護人材の養成プログラムを構築し、質の高い看護職の養成を目的とする地域連携主体の事業を展開している。常磐大学看護学部では、課題解決型学習（PBL）、少人数教育、基礎能力アッププログラム等を展開している。本学看護学部においては、「こころ」と「からだ」を両面からケアする実践力を身につけるため、各領域との関連性を意識しながら学修するカリキュラムを展開している。国家試験対策として、模擬試験→補習→教員（チューター）との振り返り面談を繰り返し、着実なステップアップを図っている。東日本大震災で甚大な被害を体験した地域にある大学として、災害直後の看護活動や災害時のチーム医療における役割分担など、災害看護に関する学びも重視している。

看護教育においては、教育方法に競合校ごとの特徴があるものの、保健師助産師看護師学校養成所指定規則により、教育内容については本学を含む競合校で一定の基準で展開している。本学看護学部では、初年次に全学部合同で初年次研修を実施しており、薬学分野・看護分野・リハビリ分野・心理分野の医療系多職種の連携が可能であり、競合校の学部構成と比較して優位性があると考える。

（各大学の学部学科構成）

所在地	大学	学部	学科
福島県	医療創生大学	薬	薬
		看護	看護
		健康医療科	作業療法・理学療法
		心理	臨床心理
茨城県	茨城キリスト教大学	文	現代英語・児童教育・文化交流
		生活科	心理福祉・食物健康科
		看護	看護
		経営	経営
茨城県	常磐大学	人間科	心理・教育・現代社会・コミュニケーション・健康栄養
		総合政策	経営・法律行政・総合政策
		看護	看護

・入試（受験時期、入学手続時期との関係）

大学	時期	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜
医療創生大学	受験	9月下旬（1） 10月下旬（2） 12月中旬（3） 2月下旬（4） 3月中旬（5）	11月中旬	2月上旬（1） 3月中旬（2）
	手続	12月中旬（1・2） 1月下旬（3） 3月下旬（4・5）	12月中旬	2月下旬（1） 3月下旬（2）
茨城キリスト教大学	受験	10月上旬（1） 12月中旬（2）	11月中旬	2月上旬（1） 3月上旬（2）
	手続	11月上旬（1） 1月上旬（2）	12月中旬	2月下旬（1） 3月下旬（2）
常磐大学	受験	9月中旬（1） 10月下旬（2） 12月上旬（3）	11月中旬	2月上旬（1） 3月上旬（2）
	手続	11月中旬（1・2） 12月中旬（3）	12月中旬	2月下旬（1） 3月下旬（2）

総合型選抜においては、受験機会を多く設定し、高校生の受験しやすい環境を設定している。学校推薦型選抜、一般選抜は同時期に設定しており、競合校よりも志望度を高める取組を実施し、入学者の確保を図る。

・学生納付金、奨学金制度などの修学支援の内容

茨城キリスト教大学看護学部では、入学金および１年次前期授業料を免除する新入生特待制度、優秀な成績を収めた学生を表彰（経済的支援・図書館利用優遇等）する学業優秀賞制度、２年時以降、経済的な理由により修学が困難な学生に対し、該当する年度の授業料半期分相当額を免除する授業料減免制度を設けている。常磐大学では、在学中の経済的事由により学業の継続が困難な学生に対する学校法人常磐大学諸澤幸雄奨学金、家計支持者が災害救助法または天災融資法等の適用を受ける地震、噴火、風水害等の被害により家計が急変し、経済的に学業の継続が困難となった者に対する緊急支援授業料等減免制度を導入している。本学看護学部においては、入試における成績優秀者に対して、学校推薦型選抜入試において、「特待指定校推薦制度」を導入して初年度の学費の半額を免除し、一般選抜入試において「特待生制度」を導入して在学期間の半額を免除し、経済的負担の軽減を図っている。

・就職支援の内容

茨城キリスト教大学看護学部では、１年次生から EQ（行動特性検査）による自身の個性を知り、R-CAP（自己分析・適職発見プログラム）を経ることにより職種への適正を客観的に見ることができるようにしている。２・３年次生からインターンシップを経験させて、個別面談を経て４年次生を希望職種へ導いている。また、未内定者や非正規雇用での就労経験しかない既卒者、中途退職者等に対して、窓口での就職相談やハローワーク等への紹介等を行っている。常磐大学看護学部では、１年次から授業や実習を通して、看護師・保健師が現場で実際にどう働くのかを学び、習得した知識や技術を活用する方法を身に付けるようにしている。主に３年次からガイダンスや各種対策講座・就職セミナーを実施し、さらに個別の就職相談、卒業生が残した受験報告書を常時閲覧可能な資料として提供するなど、学生一人ひとりが目標とする進路を実現するための支援体制を取っている。本学看護学部においては、３年次に就職個別面談を実施し各学生の希望をじっくりヒアリングし、アドバイスをしている。地元企業をはじめとする求人情報も学生へ個別に提供し、希望に即した情報提供を心がけている。学生の夢の実現に向け、全教職員が力強くバックアップしている。

・取得できる資格

大学	取得できる資格
医療創生大学	看護師（国家試験受験資格）
	保健師（国家試験受験資格）
茨城キリスト教大学	看護師（国家試験受験資格）
	保健師（国家試験受験資格）
	養護教諭（１種）
常磐大学	看護師（国家試験受験資格）
	保健師（国家試験受験資格）
	養護教諭（１種）

・健康医療科学部作業療法学科

【競合校設定の観点】

学校種が同じ私立であること、定員規模が比較的同等であること、学問分野が同じであること、所在地が主たる募集地域に所在していること、学力層が同等であることから、以下の学校を競合校として選定した。

所在地	大学	学校種	学部	学科	入学定員
福島県	医療創生大学	私立	健康医療科	作業療法	20
宮城県	東北文化学園大学	私立	医療福祉	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ（作）	40
宮城県	東北福祉大学	私立	健康科	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ（作）	40

【競合校との比較分析】

・教育方法と内容

東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、一連の過程を学生個人もしくは学生グループで実施する課題解決型の学習活動を取り入れている。また、保健医療福祉の各専門職によるチームアプローチに不可欠な連携について学生が実践的に学ぶ IPE（専門職連携教育）に取組み、学生の連携能力を醸成、強化を図っている。東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、臨床実習前に、模擬事例の障がいの程度や生活の状況などの基本情報を学生に示し、その情報を基に学生同士でディスカッションしながら、対象者に応じた作業療法・理学療法評価や治療について学ぶ機会を提供している。本学健康医療科学部作業療法学科においては、通常週に 1 回の授業を学習の進度に合わせて週 2 回の授業を展開するモジュラーシステム、チューター制、グループ学習等を取り入れ、学習の理解度、定着度の向上を図っている。また同学部理学療法学科との連携により、作業療法、理学療法の両方の観点から専門性の向上を図っている。

教育方法に競合校ごとの特徴があるものの、理学療法、作業療法教育においては、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則により、教育内容については一定の基準で展開している。本学健康医療科学部作業療法学科では、初年次に全学部合同で初年次研修を実施しており、薬学分野・看護分野・リハビリ分野・心理分野の医療系多職種の連携が可能であり、競合校の学部構成と比較して優位性があると考える。

（各大学の学部学科構成）

所在地	大学	学部	学科
福島県	医療創生大学	薬	薬
		看護	看護
		健康医療科	作業療法・理学療法
		心理	臨床心理
宮城県	東北文化学園大学	現代社会	現代社会
		経営法	経営法
		工	知能情報システム・建築環境・臨床工学
		医療福祉	リハビリテーション・看護
宮城県	東北福祉大学	総合福祉	社会福祉・福祉心理・福祉行政
		総合マネジメント	産業福祉マネジメント・情報福祉マネジメント
		教育	教育
		健康科	保健看護・リハビリテーション・医療経営管理

・入試（受験時期、入学手続時期との関係）

大学	時期	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜
医療創生大学	受験	9月下旬（1） 10月下旬（2） 12月中旬（3） 2月下旬（4） 3月中旬（5）	11月中旬	2月上旬（1） 3月中旬（2）
	手続	12月中旬（1・2） 1月下旬（3） 3月下旬（4・5）	12月中旬	2月下旬（1） 3月下旬（2）
東北文化学園大学	受験	10月中旬 （育成・自己アピール1・スポーツ1） 12月中旬 （自己アピール2・スポーツ2）	11月中旬 （一般1・指定1） 12月中旬 （一般2・指定2）	2月中旬（前） 3月中旬（後）
	手続	11月中旬 （育成・自己アピール1・スポーツ1） 1月上旬 （自己アピール2・スポーツ2）	12月中旬 （一般1・指定1） 1月上旬 （一般2・指定2）	2月下旬（前） 3月下旬（後）

東北福祉大学	受験	9月-10月中旬 （探求・スポーツ）	11月下旬	2月上旬（A） 3月上旬（B）
	手続	11月下旬 （探求・スポーツ）	12月下旬	2月下旬（A） 3月中旬（B）

総合型選抜においては、受験機会を多く設定し、高校生の受験しやすい環境を設定している。学校推薦型選抜、一般選抜は同時期に設定しており、競合校よりも志望度を高める取組を実施し、入学者の確保を図る。

・学生納付金、奨学金制度などの修学支援の内容

東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、特別な事情（天災、失業など）により経済的に困窮し、授業料等の納付が極めて困難な学生に対する東北文化学園大学授業料減免制度、卒業生及び、卒業生や在校生の親族入学者を支援する入学金免除の優遇措置を設けている。東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、東北福祉大学奨学金制度における給付・貸与奨学金、給付型奨学金入試制度を導入している。本学健康医療科学部作業療法学科においては、入試における成績優秀者に対して、学校推薦型選抜入試において、「特待指定校推薦制度」を導入して初年度の学費の半額を免除し、一般選抜入試において「特待生制度」を導入して在学期間の半額を免除し、経済的負担の軽減を図っている。

・就職支援の内容

東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、各学科別に担当教職員を配置し、カウンターおよびメール・電話による情報提供、就職に関する相談・指導を行っている。近年、社会・労働環境が急速に変化していることから、当センターでは、就職指導に留まらず学生のキャリア形成を全学的にサポートするための様々な取り組みを進めている。東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、キャリアセンターでの就職活動支援(履歴書の書き方、面接の仕方等)を活用するとともに、学科内の就職担当の教員が個別の就職相談に応じている。本学健康医療科学部作業療法学科においては、3 年次に就職個別面談を実施し各学生の希望をじっくりヒアリングし、アドバイスをしている。地元企業をはじめとする求人情報も学生へ個別に提供し、希望に即した情報提供を心がけている。学生の夢の実現に向け、全教職員が力強くバックアップしている。

・取得できる資格

大学	取得できる資格
医療創生大学	作業療法士（国家試験受験資格）
東北文化学園大学	作業療法士（国家試験受験資格）
東北福祉大学	作業療法士（国家試験受験資格）

・健康医療科学部理学療法学科

【競合校設定の観点】

学校種が同じ私立であること、定員規模が比較的同等であること、学問分野が同じであること、所在地が主たる募集地域に所在していること、学力層が同等であることから、以下の学校を競合校として選定した。

所在地	大学	学校種	学部	学科	入学定員
福島県	医療創生大学	私立	健康医療科	作業療法	20
宮城県	東北文化学園大学	私立	医療福祉	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ（理）	80
宮城県	東北福祉大学	私立	健康科	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ（理）	40

【競合校との比較分析】

・教育方法と内容

東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻では、一連の過程を学生個人もしくは学生グループで実施する課題解決型の学習活動を取り入れている。また、保健医療福祉の各専門職によるチームアプローチに不可欠な連携について学生が実践的に学ぶ IPE（専門職連携教育）に取組み、学生の連携能力を醸成、強化を図っている。東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻では、臨床実習前に、模擬事例の障がいの程度や生活の状況などの基本情報を学生に示し、その情報を基に学生同士でディスカッションしながら、対象者に応じた作業療法・理学療法評価や治療について学ぶ機会を提供している。本学健康医療科学部理学療法学科においては、通常週に 1 回の授業を学習の進度に合わせて週 2 回の授業を展開するモジュラーシステム、チューター制、グループ学習等を取り入れ、学習の理解度、定着度の向上を図っている。また同学部作業療法学科との連携により、作業療法、理学療法の両方の観点から専門性の向上を図っている。

教育方法に競合校ごとの特徴があるものの、理学療法、作業療法教育においては、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則により、教育内容については一定の基準で展開している。本学健康医療科学部理学療法学科では、初年次に全学部合同で初年次研修を実施しており、薬学分野・看護分野・リハビリ分野・心理分野の医療系多職種の連携が可能であり、競合校の学部構成と比較して優位性があると考える。

（各大学の学部学科構成）

所在地	大学	学部	学科
福島県	医療創生大学	薬	薬
		看護	看護
		健康医療科	作業療法・理学療法
		心理	臨床心理
宮城県	東北文化学園大学	現代社会	現代社会
		経営法	経営法
		工	知能情報システム・建築環境・臨床工学
		医療福祉	リハビリテーション・看護
宮城県	東北福祉大学	総合福祉	社会福祉・福祉心理・福祉行政
		総合マネジメント	産業福祉マネジメント・情報福祉マネジメント
		教育	教育
		健康科	保健看護・リハビリテーション・医療経営管理

・入試（受験時期、入学手続時期との関係）

大学	時期	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜
医療創生大学	受験	9月下旬（1） 10月下旬（2） 12月中旬（3） 2月下旬（4） 3月中旬（5）	11月中旬	2月上旬（1） 3月中旬（2）
	手続	12月中旬（1・2） 1月下旬（3） 3月下旬（4・5）	12月中旬	2月下旬（1） 3月下旬（2）
東北文化学園大学	受験	10月中旬 （育成・自己アピール1・スポーツ1） 12月中旬 （自己アピール2・スポーツ2）	11月中旬 （一般1・指定1） 12月中旬 （一般2・指定2）	2月中旬（前） 3月中旬（後）
	手続	11月中旬 （育成・自己アピール1・スポーツ1） 1月上旬 （自己アピール2・スポーツ2）	12月中旬 （一般1・指定1） 1月上旬 （一般2・指定2）	2月下旬（前） 3月下旬（後）

東北福祉大学	受験	9月-10月中旬 （探求・スポーツ）	11月下旬	2月上旬（A） 3月上旬（B）
	手続	11月下旬 （探求・スポーツ）	12月下旬	2月下旬（A） 3月中旬（B）

総合型選抜においては、受験機会を多く設定し、高校生の受験しやすい環境を設定している。学校推薦型選抜、一般選抜は同時期に設定しており、競合校よりも志望度を高める取組を実施し、入学者の確保を図る。

・学生納付金、奨学金制度などの修学支援の内容

東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、特別な事情（天災、失業など）により経済的に困窮し、授業料等の納付が極めて困難な学生に対する東北文化学園大学授業料減免制度、卒業生及び、卒業生や在校生の親族入学者を支援する入学金免除の優遇措置を設けている。東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻では、東北福祉大学奨学金制度における給付・貸与奨学金、給付型奨学金入試制度を導入している。本学健康医療科学部理学療法学科においては、入試における成績優秀者に対して、学校推薦型選抜入試において、「特待指定校推薦制度」を導入して初年度の学費の半額を免除し、一般選抜入試において「特待生制度」を導入して在学期間の半額を免除し、経済的負担の軽減を図っている。

・就職支援の内容

東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻では、各学科別に担当教職員を配置し、カウンターおよびメール・電話による情報提供、就職に関する相談・指導を行っている。近年、社会・労働環境が急速に変化していることから、当センターでは、就職指導に留まらず学生のキャリア形成を全学的にサポートするための様々な取り組みを進めている。東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻では、キャリアセンターでの就職活動支援(履歴書の書き方、面接の仕方等)を活用するとともに、学科内の就職担当の教員が個別の就職相談に応じている。本学健康医療科学部作業療法学科においては、3 年次に就職個別面談を実施し各学生の希望をじっくりヒアリングし、アドバイスをしている。地元企業をはじめとする求人情報も学生へ個別に提供し、希望に即した情報提供を心がけている。学生の夢の実現に向け、全教職員が力強くバックアップしている。

・取得できる資格

大学	取得できる資格
医療創生大学	理学療法士（国家試験受験資格）
東北文化学園大学	理学療法士（国家試験受験資格）
東北福祉大学	理学療法士（国家試験受験資格）

・心理学部臨床心理学科

【競合校設定の観点】

学校種が同じ私立であること、定員規模が比較的同等であること、学問分野が同じであること、所在地が主たる募集地域に所在していること、学力層が同等であることから、以下の学校を競合校として選定した。

所在地	大学	学校種	学部	学科	入学定員
福島県	医療創生大学	私立	心理	臨床心理	40
福島県	福島学院大学	私立	福祉	福祉心理	70
宮城県	尚絅学院大学	私立	心理・教育学群	心理学類	60

【競合校との比較分析】

・教育方法と内容

福島学院大学福祉学部福祉心理学科では、ディスカッションやグループワークの時間を授業に多く導入したアクティブラーニングを実施しており、福島学院大学の歴史や教育理念の理解、高校との学びの違い、ノートの取り方からレポートの書き方、情報の整理の仕方など、大学での学修方法の基本を身につける初年次教育を実施している。尚絅学院大学心理・教育学群心理学類では、開講科目のうち、約 9 割の講義でグループワークやディスカッションをはじめとした、アクティブラーニングを取り入れた授業を行っており、通常のカリキュラムとは別に「対話」「語り合い」を柱として行われる、全学生を対象とした課外講義を実施している。本学心理学部臨床心理学科においては、公認心理師に対応したカリキュラムを開設し、大学院（医療創生大学大学院人文学研究科臨床心理学専攻）進学も見据えた支援を行っている。また、臨床系に留まらず、心理学を基礎から応用まで学べる幅広い教員構成としており、チューター制を取り入れ、学生の要望にそった教育支援を行っている。

本学心理学部臨床心理学科では、初年次に全学部合同で初年次研修を実施しており、薬学分野・看護分野・リハビリ分野・心理分野の医療系多職種の連携が可能であり、競合校の学部構成と比較して優位性があると考える。

（各大学の学部学科構成）

所在地	大学	学部	学科
福島県	医療創生大学	薬	薬
		看護	看護
		健康医療科	作業療法・理学療法
		心理	臨床心理
福島県	福島学院大学	福祉	福祉心理・こども
		マネジメント	地域マネジメント
宮城県	尚絅学院大学	人文社会	人文社会
		心理・教育	心理・こども・学校教育
		健康栄養	健康栄養

・入試（受験時期、入学手続時期との関係）

大学	時期	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜
医療創生大学	受験	9月下旬（1） 10月下旬（2） 12月中旬（3） 2月下旬（4） 3月中旬（5）	11月中旬	2月上旬（1） 3月中旬（2）
	手続	12月中旬（1・2） 1月下旬（3） 3月下旬（4・5）	12月中旬	2月下旬（1） 3月下旬（2）
福島学院大学	受験	9月中旬（A） 11月下旬（B） 2月下旬（C） 3月下旬（D）	11月中旬	2月中旬（A） 3月中旬（B）
	手続	12月上旬（A） 1月下旬（B） 3月下旬（C） 3月下旬（D）	12月下旬	3月上旬（A） 3月下旬（B）
尚絅学院大学	受験	10月中旬（1） 12月中旬（2）	11月中旬	2月上旬（前） 3月上旬（後）
	手続	11月上旬（1） 1月上旬（2）	12月上旬	2月下旬（前） 3月中旬（後）

総合型選抜においては、受験機会を多く設定し、高校生の受験しやすい環境を設定している。学校推薦型選抜、一般選抜は同時期に設定しており、競合校よりも志望度を高める取組を実施し、入学者の確保を図る。

・学生納付金、奨学金制度などの修学支援の内容

福島学院大学福祉学部福祉心理学科では、福島学院大学学費減免制度を導入している。尚絅学院大学心理・教育学群心理学類では、就学状況が良好な２年生以上の学生を対象とした緊急時対応の貸与奨学金、日本学生支援機構給付型奨学金に学力基準が該当せず認定されなかった学生を対象とした尚絅学院大学授業料等減免制度、外国人留学生の経済的負担を軽減するための外国人留学生授業料減免制度、本学の業務（教育研究活動や修学環境整備）に補助的に従事する学内ワークスタディ制度を導入している。本学心理学部臨床心理学科においては、入試における成績優秀者に対して、学校推薦型選抜入試において、「特待指定校推薦制度」を導入して初年度の学費の半額を免除し、一般選抜入試において「特待生制度」を導入して在学期間の半額を免除し、経済的負担の軽減を図っている。

・就職支援の内容

福島学院大学福祉学部福祉心理学科では、学生のニーズに合わせた合同企業説明会、就職活動の進め方や求人情報を提供するクラスセミナー、学生と家族が個別に相談が行える個別相談会、就職適性検査や就職模擬試験、公務員対策講座などを実施している。尚絅学院大学心理・教育学群心理学類では、3 年生を対象に、独自の「進路ガイドブック」を使い、履歴書の書き方や集団面接・個別面接の受け方、企業研究、卒業生からのアドバイス等、就職活動に向けた実践的なガイダンスを行っている。4 年生には「学内単独企業説明会」「学内合同企業説明会」を開催し、企業情報の収集、選考試験等の機会を学内に設けている。本学心理学部臨床心理学科においては、3 年次に就職個別面談を実施し各学生の希望をじっくりヒアリングし、アドバイスをしている。地元企業をはじめとする求人情報も学生へ個別に提供し、希望に即した情報提供を心がけている。学生の夢の実現に向け、全教職員が力強くバックアップしている。

・取得できる資格

大学	取得できる資格
医療創生大学	認定心理士
福島学院大学	認定心理士
	社会福祉士（国家試験受験資格）
	精神保健福祉士（国家試験受験資格）
尚絅学院大学	認定心理士

イ　競合校の入学志願動向等

・薬学部薬学科

大学	年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
医療創生大学	2024	60	89	86	79	28	46.7%
	2023	60	118	110	109	38	63.3%
	2022	60	129	117	110	41	68.3%
奥羽大学	2024	100	－	－	－	－	－
	2023	100	162	162	106	59	59.0%
	2022	140	162	159	106	58	41.4%
東北医科薬科大学	2024	300	643	－	570	302	100.7%
	2023	300	720	696	569	302	100.7%
	2022	300	862	834	566	321	107.0%

※　－表記はホームページ等に公開されていないため把握できていない。

薬学部薬学科においては、受験人口、薬学系統志望者の減少が影響し、入学者の確保に課題を抱えているが、入学定員を縮小することで、薬剤師国家試験の高い合格率と合格に導く

教育内容・方法により、入学定員の確保を図る。

・看護学部看護科

大学	年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
医療創生大学	2024	80	68	67	66	38	47.5%
	2023	80	114	110	109	42	52.5%
	2022	80	106	103	100	51	63.8%
茨城キリスト教大学	2024	80	－	－	－	－	－
	2023	80	219	213	149	93	116.3%
	2022	80	206	199	159	85	106.3%
常磐大学	2024	80	－	－	－	－	－
	2023	80	208	198	150	87	108.8%
	2022	80	260	249	152	81	101.3%

※　－表記はホームページ等に公開されていないため把握できていない。

看護学部看護学科においては、競合校と比較して定員充足率が低い状況である。受験人口の減少始め、本県では新型コロナウィルス感染症による看護職の敬遠傾向も見られ、市内高等学校と連携した高大連携プログラム等の強化により、地元地域の高校生、高校教員の信頼と理解を得ることにより入学定員の確保を図る。

・健康医療科学部作業療法学科

大学	年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
医療創生大学	2024	40	37	37	36	15	37.5%
	2023	40	33	33	32	24	60.0%
	2022	40	39	39	39	30	75.0%
東北文化学園大学	2024	40	45	43	38	17	42.5%
	2023	40	58	55	41	23	57.5%
	2022	40	71	67	60	－	－
東北福祉大学	2024	40	－	－	－	－	－
	2023	40	123	122	90	41	102.5%
	2022	40	207	204	103	42	105.0%

※　－表記はホームページ等に公開されていないため把握できていない。

健康医療科学部作業療法学科においては、受験人口、保健衛生系統志望者の減少が影響し、入学者の確保に課題を抱えているが、入学定員を縮小することで、少人数教育による医療系多職種の連携をより強化し入学定員の確保を図る。

・健康医療科学部理学療法学科

大学	年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
医療創生大学	2024	60	65	65	64	40	66.7%
	2023	60	98	95	92	58	96.7%
	2022	60	113	112	94	71	118.3%
東北文化学園大学	2024	80	113	111	90	59	73.8%
	2023	80	176	169	116	83	103.8%
	2022	80	177	171	125	－	－
東北福祉大学	2024	40	－	－	－	－	－
	2023	40	320	319	110	46	115.0%
	2022	40	496	488	85	48	120.0%

※　－表記はホームページ等に公開されていないため把握できていない。

健康医療科学部理学療法学科においては、受験人口、保健衛生系統志望者の減少が影響し、入学者の確保に課題を抱えているが、入学定員を縮小することで、少人数教育による医療系多職種の連携をより強化し入学定員の確保を図る。

・心理学部臨床心理学科

大学	年度	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
医療創生大学	2024	60	75	75	73	37	61.7%
	2023	60	91	91	90	48	80.0%
	2022	60	64	63	62	38	63.3%
福島学院大学	2024	70	－	－	－	－	－
	2023	70	－	－	－	66	94.3%
	2022	70	－	－	－	78	111.4%
尚絅学院大学	2024	60	177	－	162	－	－
	2023	60	197	－	159	84	140.0%
	2022	60	267	－	154	70	116.7%

※　－表記はホームページ等に公開されていないため把握できていない。

心理学部臨床心理学科においては、受験人口の減少が影響し、入学者の確保に課題を抱えているが、入学定員を縮小することで、少人数教育による医療系多職種の連携をより強化し入学定員の確保を図る。

ウ　収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等

・薬学部薬学科

中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析で示したとおり、全国の 18 歳人口は、令和 5（2023）年の 1,097,416 人から令和 17（2035）年には 970,429 人となり、126,987 人の減少が予測されている。この間、定員を変更する令和 7（2025）年度の全国

の 18 歳人口は、1,090,562 人で、本学薬学部への入学割合（令和元（2019）年度から令和 6（2024）年度までの平均値）0.004025%を乗ずると、変更後の入学定員 40 人に対して、約 44 人の入学者が確保できる見込みである。**【資料 10（P.1）：薬学部入学者予測、看護学部入学者予測、健康医療科学部入学者予測、心理学部入学者予測】**

・看護学部看護学科

中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析で示したとおり、全国の 18 歳人口は、令和 5（2023）年の 1,097,416 人から令和 17（2035）年には 970,429 人となり、126,987 人の減少が予測されている。この間、定員を変更する令和 7（2025）年度の全国の 18 歳人口は、1,090,562 人で、本学看護学部への入学割合（令和元（2019）年度から令和 6（2024）年度までの平均値）0.005707%を乗ずると、変更後の入学定員 55 人に対して、約 62 人の入学者が確保できる見込みである。**【資料 10（P.2）：薬学部入学者予測、看護学部入学者予測、健康医療科学部入学者予測、心理学部入学者予測】**

・健康医療科学部作業療法学科・理学療法学科

中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析で示したとおり、全国の 18 歳人口は、令和 5（2023）年の 1,097,416 人から令和 17（2035）年には 970,429 人となり、126,987 人の減少が予測されている。この間、定員を変更する令和 7（2025）年度の全国の 18 歳人口は、1,090,562 人で、本学健康医療科学部への入学割合（令和元（2019）年度から令和 6（2024）年度までの平均値）0.00770300%を乗ずると、変更後の入学定員 75 人（作業療法学科 20 人、理学療法学科 55 人）に対して、約 84 人（作業療法学科 22 人、理学療法学科 62 人）の入学者が確保できる見込みである。**【資料 10（P.3）：薬学部入学者予測、看護学部入学者予測、健康医療科学部入学者予測、心理学部入学者予測】**

・心理学部臨床心理学科

中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析で示したとおり、全国の 18 歳人口は、令和 5（2023）年の 1,097,416 人から令和 17（2035）年には 970,429 人となり、126,987 人の減少が予測されている。この間、定員を変更する令和 7（2025）年度の全国の 18 歳人口は、1,090,562 人で、本学心理学部への入学割合（令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度までの平均値）0.0034444%を乗ずると、変更後の入学定員 40 人に対して、約 38 人の入学者が確保できる見込みである。**【資料 10（P.4）：薬学部入学者予測、看護学部入学者予測、健康医療科学部入学者予測、心理学部入学者予測】**

エ　学生納付金等の金額設定の理由

薬学部、看護学部、健康医療科学部、心理学部の学生納付金等については、入学事務手続きに要する各種経費を検証し、授業料については、教育サービスに関わる経費、施設維持に必要な経費等を検証した上、競合校、及び本学の募集エリアに所在する大学等を参考にして、それぞれ適切な金額を設定した。

【薬学部】 （単位：千円）

学年	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
入学金	400	－	－	－	－	－
授業料	1,000	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
施設拡充費	560	560	560	560	560	560
実務実習費	－	－	－	－	－	－
合計	1,960	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

【看護学部】 （単位：千円）

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300	－	－	－
授業料	800	1,200	1,200	1,200
施設拡充費	460	460	460	460
実務実習費	－	－	－	－
合計	1,560	1,660	1,660	1,660

【健康医療科学部】 （単位：千円）

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300	－	－	－
授業料	800	1,400	1,400	1,400
施設拡充費	460	460	460	460
実務実習費	－	－	－	－
合計	1,560	1,860	1,860	1,860

【心理学部】 （単位：千円）

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	200	－	－	－
授業料	700	800	800	800
施設拡充費	300	300	300	300
実務実習費	－	－	－	－
合計	1,200	1,100	1,100	1,100

薬学部の下記 6 校の入学金の平均は 308 千円となっている。授業料（初年度のみ）の平均は 1,737 千円であり、在学期間の納付金総額の平均は 10,920 千円である。

看護学部の下記 8 校の入学金の平均は、255 千円である。授業料（初年度のみ）の平均額は 1,600 千円であり、在学期間の納付金総額の平均は 6,789 千円である。

健康医療科学部の下記 5 校の入学金の平均は、258 千円である。授業料の平均額（初年度のみ）は 1,554 千円であり、在学期間の納付金総額の平均は 6,698 千円である。

心理学部の下記 7 校の入学金の平均は 223 千円である。授業料（初年度のみ）の平均額は 1,073

千円であり、在学期間の納付金総額の平均は 4,507 千円である。

今般、定員を変更する学部の在学期間の納付金総額と比較すると、薬学部は 1,040 千円、健康医療科学部は 442 千円、平均額より高い金額となっているが、看護学部は平均額以下、心理学部は平均額とほぼ同様の金額となっている。学納金収入と支出見込み等の経営的な観点を踏まえ、上記の入学金、授業料とすることとした。

【薬学部】　（単位：千円）

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料※	在学期間（6カ年間）納付金総額
福島県	**医療創生大学**	**薬**	**薬（6年制）**	**400**	**1,560**	**11,960**
青森県	青森大学	薬	薬（6年制）	300	1,885	10,520
岩手県	岩手医科大学	薬	薬（6年制）	350	1,825	11,650
宮城県	東北医科薬科大学	薬	薬（6年制）	400	1,825	11,350
福島県	奥羽大学	薬	薬（6年制）	200	1.500	9,200
栃木県	国際医療福祉大学	薬	薬（6年制）	300	1,450	9,900
新潟県	新潟薬科大学	薬	薬（6年制）	300	2,100	12,900
平均額（本学除く）				308	1,737	10,920

※初年度のみ

【看護学部】　（単位：千円）

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料※	在学期間（4カ年間）納付金総額
福島県	**医療創生大学**	**看護**	**看護**	**300**	**1,260**	**6,540**
宮城県	東北福祉大学	健康科	保健看護	100	1,720	7,088
宮城県	東北文化学園大学	医療福祉	看護	240	1,610	7,100
茨城県	茨城キリスト教大学	看護	看護	250	1,640	6,750
茨城県	常磐大学	看護	看護	250	1,520	6,330
栃木県	国際医療福祉大学	保健医療	看護	300	1,310	6,140
新潟県	新潟薬科大学	看護	看護	300	1,650	6,900
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科	看護	300	1,650	6,900
新潟県	新潟青陵大学	看護	看護	300	1,700	7,100
平均額（本学除く）				255	1,600	6,789

※初年度のみ

【健康医療科学部】 （単位：千円）

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料※	在学期間（4カ年間）納付金総額
福島県	**医療創生大学**	**健康医療科**	**作業療法・理学療法**	**300**	**1,260**	**7,140**
宮城県	東北文化学園大学	医療福祉	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	240	1,610	7,100
宮城県	東北福祉大学	健康科学	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	100	1,720	7,088
茨城県	つくば国際大学	保健医療	理学療法	300	1,640	6,850
栃木県	国際医療福祉大学	保健医療	理学療法・作業療法	300	1,300	6,100
新潟県	新潟医療福祉大学	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	理学療法・作業療法	350	1,500	6,350
平均額（本学除く）				258	1,554	6,698

※初年度のみ

【心理学部】 （単位：千円）

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料※	在学期間（4カ年間）納付金総額
福島県	**医療創生大学**	**心理**	**臨床心理**	**200**	**1,000**	**4,500**
宮城県	尚絅学院大学	心理・教育学群	心理学類	240	1,030	4,360
宮城県	東北福祉大学	総合福祉	福祉心理	100	1,079	4,416
宮城県	東北学院大学	人間科	心理行動科	270	1,144	4,846
福島県	福島学院大学	福祉	福祉心理	150	1,080	4,470
茨城県	茨城キリスト教大学	生活科	心理福祉	250	1,060	4,430
茨城県	常磐大学	人間科	心理	250	1,040	4,410
新潟県	新潟青陵大学	福祉心理子ども	臨床心理	300	1,080	4,620
平均額（本学除く）				223	1,073	4,507

※初年度のみ

表は、日本私立大学団体連合会が作成する「学生納付金等調査（令和 5 年度入学生）」、及び当該大学の Web サイトの情報から作成。

※「授業料」には、「施設設備費」、「実験・実習・体育費」、「教育充実費特別納付金」等を含めている。

③先行事例分析

該当なし

④学生確保に関するアンケート調査

過去の入学実績、中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的分析により、以下のとおり入学定員を設定した。**【資料 10（P.1-4）：薬学部入学者予測、看護学部入学者予測、健康医療科学部入学者予測、心理学部入学者予測】**

収容定員を変更する組織	変更前の入学定員	変更後の入学定員	2025 年度の入学見込数
薬学部 薬学科	60	40	44
看護学部 看護学科	80	55	62
健康医療科学部 作業療法学科	40	20	22
健康医療科学部 理学療法学科	60	55	62
心理学部 臨床心理学科	60	40	38
合計	300	210	228

心理学部臨床心理学科においては、変更後の入学定員を満たす試算となっていないが、教育の内容・方法、特色等を前述の募集・広報の取組によって入学定員を確保する計画である。

⑤人材需要に関するアンケート調査

「（２）人材需要の社会的な動向等　①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会動向の分析」で示したとおり、薬剤師においては地域偏在による薬剤師の不足、看護師・保健師においては、福島県内の年代別構成、県内就業者確保の課題、作業療法士、理学療法士においては、福島県内での全国平均を下回る作業療法士数、理学療法士数の課題、公認心理師においては、福島県内での心理支援を必要とする状況の増加あり、社会的な人材需要は今後も継続していくと見込んでいる。

なお、本学の各学部でも高い就職率で推移しており、人材需要の高いことを示している。

【就職率】

	令和元年度（2019）	令和 2 年度（2020）	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）
薬学部 薬学科	100%	100%	93.6%	98.2%	100%
看護学部 看護学科	－	90.0%	100%	100%	100%
健康医療科学部 作業療法学科	－	－	－	100%	100%
健康医療科学部 理学療法学科	－	－	－	97.7%	100%
心理学部 臨床心理学科	－	－	－	－	100%

※ －表記は未完成の年度のため卒業生はいない。

※薬学部 6 年制課程について

今般の薬学部の収容定員の変更は、現行の 60 人から 40 人へと変更する約 33%の定員減である。近年では実質競争倍率は 1.00 倍～1.10 倍、入学定員充足率は約 60%、収容定員充足率は約 70%で推移している状況で、前述の「収容定員を変更する組織における取組」を着実に遂行することで実質競争倍率の改善、定員充足に必要な約 30%の補完ができると見込んでいる。

また、「6 年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」において、「新卒の国家試験合格率が高い大学であっても、標準修業年限内の合格率が低いなど、入学後の教育に課題を有する大学も存在する。」と指摘されているとおり、本学薬学部の標準修業年限内の卒業率、国家試験合格率及び退学率も水準を満たしている状況ではない。しかしながら、今般の収容定員の変更により、入学者選抜における厳選、入学後の少人数教育を徹底することで改善が可能である。**【資料 11：薬学部 6 年制課程について】**

（4）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

今般、新たな入学定員を設定するにあたり、「リクルート進学総研マーケットリポート 2019 年 11 月号（Vol.70）」の令和元（2019）年から令和 4（2022）年、「リクルート進学総研マーケットリポート 2024 年 2 月号（Vol.118）」の令和 5（2023）年から令和 17（2035）年までの 18 歳人口の推移、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）」の各学問系統への過去の入学結果、及び本学への入学実績を踏まえて入学者数を予測した。

具体的には、過去 5 年間（令和元（2019）年度から令和 5（2023）年度）の本学の各学部への入学率（全国の 18 歳人口における本学の各学部への入学率、全国の私立大学における各学問系統への入学者数における本学の各学部への入学率）を踏まえて、令和 6（2024）年度から令和 17（2035）年度までの入学者を試算した。

薬学部薬学科の過去 6 年間（令和元（2019）年度から令和 6（2024）年度）の入学者数は、57 人から 28 人へと推移した。これは、それぞれの年度の 18 歳人口の約 0.004852%～0.002633%に当たる。この 6 年間の 18 歳人口における本学への入学率の平均は、約 0.004025%となり、令和 7（2025）年度以降、令和 17（2035）年度まで、同様の割合で推移することを想定して入学者数を試算すると、39 人から 44 人の入学者が確保できる見込みとなった。

また、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）（以下、「私立大学志願動向」という。）」の系統区分「薬学」の入学者数のうち、本学の薬学部薬学科への過去 5 年間（令和元（2019）年度から令和 5（2023）年度）の入学者数の割合は、約 0.537077%～0.336999%に当たる。この 5 年間の平均は約 0.458716%となり、令和 7（2025）年度以降、令和 17（2035）年度まで、同様の数値で推移することを想定して入学者数を試算すると、42 人から 48 人の入学者が確保できる見込みである。

看護学部看護学科の過去 6 年間（令和元（2019）年度から令和 6（2024）年度）の入学者数は、100 人から 38 人へと推移した。これは、それぞれの年度の 18 歳人口のうち、約 0.008512%～0.003573%に当たる。この 6 年間の平均値は約 0.005707%となり、令和 7（2025）

年度以降、令和 17（2035）年度まで、同様の割合で推移することを想定して入学者数を試算したところ、55 人から 62 人の入学者が確保できる見込みとなった。

私立大学志願動向の看護学部の入学者数のうち、本学の看護学部看護学科の過去 5 年間（令和元（2019）年から令和 5（2023）年）の入学者数の割合は、約 1.041233%～0.515464%であった。5 年間の平均は約 0.751637%となり、令和 7（2025）年度以降、令和 17（2035）年度まで、この割合で推移することを想定して入学者数を試算すると、62 人から 70 人の入学者が確保できる見込みである。

健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科の過去 6 年間（令和元（2019）年から令和 6（2023）年）の入学者数は、80 人から 55 人であった。これを当該年度の 18 歳人口の割合にすると、約 0.006810%～0.005172%となる。この 6 年間の平均値は約 0.007703%となるため、令和 7（2025）年度以降、令和 17（2035）年までこの割合で推移することを想定して入学者数を試算すると、75 人から 84 人の入学者が確保できる見込みとなった。

健康医療科学部においては、私立大学志願動向の系統区分が作業療法、理学療法と区分されているわけではないため、「リハビリテーション学部」の数値を活用し試算した。私立大学志願動向のリハビリテーション学部の入学者数のうち、本学の健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科の過去 5 年間（令和元（2019）年度から令和 5（2023）年度）の入学者数の割合は、約 5.673759%～4.558088%であった。5 年間の平均は約 5.87537%となり、令和 7（2024）年度以降、令和 17（2035）年度まで、同様の数値で推移することを想定して入学者数を試算すると、80 人から 90 人の入学者が確保できる見込みである。

心理学部臨床心理学科の過去 5 年間（令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度）の入学者数は、34 人から 37 人へと推移した。これは。当該年度の 18 歳人口の約 0.002913%～0.003479%に当たる。この 5 年間の平均は約 0.003444%となるため、令和 7（2025）年度以降、令和 17（2035）年度までこの割合で推移することを想定して入学者数を試算すると、33 人から 38 人の入学者が確保できる見込みである。

また、心理学部臨床心理学科は令和 2（2020）年度に開設された学部であるため、開設後 4 年間の数値から試算した。私立大学志願動向の心理学部の入学者数のうち、過去 4 年間（令和 2（2020）年度から令和 5（2023）年度）の入学者数の割合は、約 1.097482%～1.217656%であった。4 年間の平均は約 1.110926%となり、令和 7（2025）年度以降、令和 17（2035）年度までこの割合で推移することを想定して入学者数を試算すると、31 人から 35 人の入学者が確保できる見込みとなった。

これらのように、18 歳人口、及び私立大学志願動向の入学者数を踏まえて試算した結果、薬学部薬学科は、少なくとも 39 人から 48 人、看護学部看護学科は 55 人から 70 人、健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科は 75 人から 90 人、心理学部臨床心理学科の入学者は 31 人～38 人の入学者を確保できる見込みとなった。

以上を踏まえて、今般の新たな定員として薬学部薬学科は 40 人、看護学部看護学科は 55 人、健康医療科学部作業療法学科は 20 人、理学療法学科は 55 人、心理学部臨床心理学科は 40 人とした。**【資料 10（P.1-4）：薬学部入学者予測、看護学部入学者予測、健康医療科学部入学者予測、心理学部入学者予測】**

学生確保の見通し等を記載した書類　資料目次

【資料 1】第 13 回第 8 次医療計画に関する検討会 （令和 4 年 8 月 25 日）参考資料 2 厚生労働省
【資料 2】第 8 次福島県医療計画（令和 6 年 3 月福島県保健福祉部）
【資料 3】医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科会中間とりまとめ
（令和元年 11 月 15 日（金））
【資料 4】医療従事者の需給に関する検討会　第 3 回理学療法士・作業療法士需給分科会（資料 1）
（平成 31 年 4 月 5 日）
【資料 5】令和 3 年度精神保健福祉センター所報　第 50 集
【資料 6】リクルート進学総研マーケットリポート 2023 Vol.118（2024 年 2 月号）
【資料 7】リクルート進学総研マーケットリポート 2023 Vol.120（2024 年 2 月号）
【資料 8】中央教育審議会将来構想部会（第 9 期～）（第 13 回）（平成 30 年 2 月 21 日）
「資料２　大学への進学者数の将来推計について」
【資料 9】都道府県別等入学者推移表
【資料 10】薬学部入学者予測、看護学部入学者予測、健康医療科学部入学者予測、心理学部入学者予測
【資料 11】薬学部 6 年制課程について

【添付データ】新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）
【添付データ】既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）（別紙 2）
【添付データ】既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績（別紙 3）

厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために Ministry of Health, Labour and Welfare

第１３回第８次医療計画等に関する検討会	参考資料２
令　和　4　年　8　月　2　5　日	

薬剤師関係について



（参考）薬剤師の需給推計

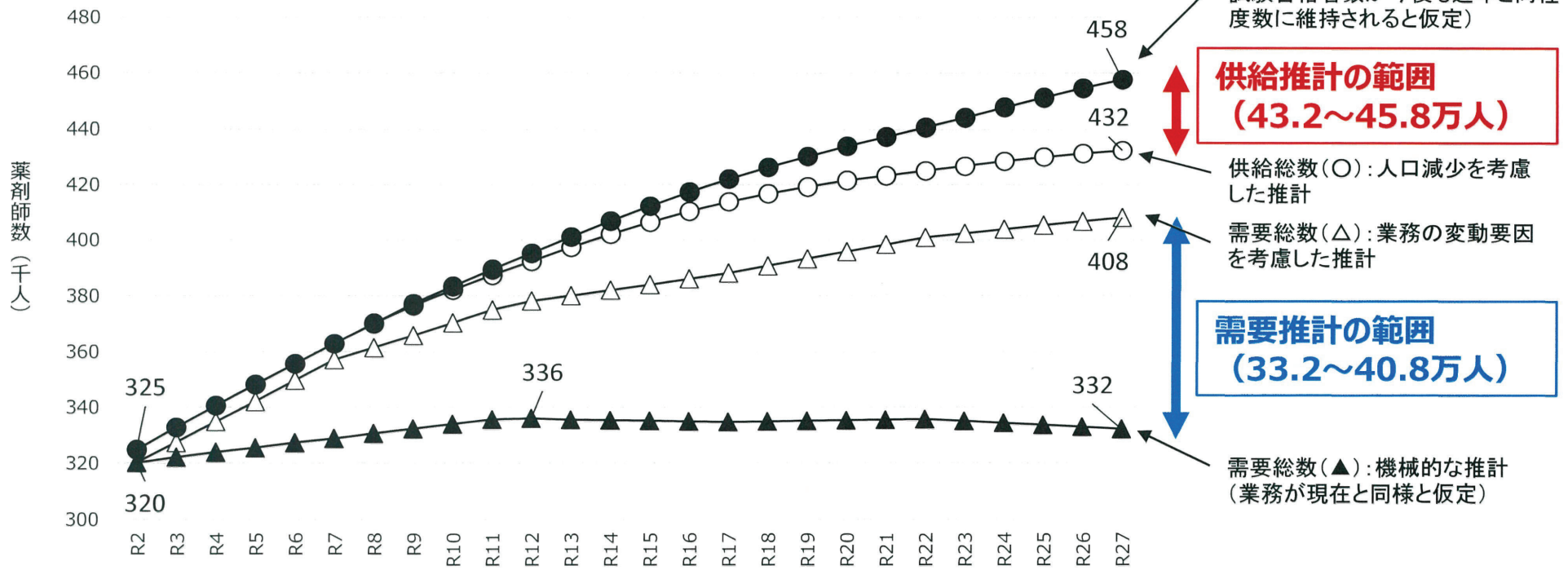
第12回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会	参考資料2－1
令和4年7月13日	

○ 薬剤師の総数としては、概ね今後10年間は、需要と供給は同程度で推移するが、将来的には、需要が業務充実により増加すると仮定したとしても、供給が需要を上回り、薬剤師が過剰になる。薬剤師業務の充実と資質向上に向けた取組が行われない場合は需要が減少し、供給との差が一層広がることになると考えられる。

○ 本需給推計は、変動要因の推移をもとに仮定条件をおいて推計したものであり、現時点では地域偏在等により、特に病院を中心として薬剤師が充足しておらず、不足感が生じている。

○ 今後も継続的に需給推計を行い、地域偏在等への課題への対応も含めた検討に活用すべき。

■薬剤師の需給推計（全国総数）　※推計期間　令和2年（2020年）～令和27年（2045年）



＜供給推計＞

- 機械的な推計（●）：現在の薬剤師数の将来推計、及び今後新たなに薬剤師となる人数の推計（国家試験合格者数が今後も近年と同程度数に維持されると仮定）をもとに供給総数を推定（推定年における年齢別死亡率も考慮）
- 人口減少を考慮した推計（○）：今後の大学進学予定者数の減少予測を踏まえ、国家試験合格者が同程度の割合で減少すると仮定して供給総数を推計

＜需要推計＞

- 機械的な推計（▲）：薬局業務（処方箋あたりの業務量）、医療機関業務（病床／外来患者の院内処方あたり業務量）及びその他の施設に従事する薬剤師の業務が、現在と同程度で推移する前提で推計
- 変動要因を考慮した推計（△）：薬局業務と医療機関業務が充実すると仮定した場合の推計

「薬剤師確保のための調査・検討事業（令和３年度予算事業）」（背景・目的）

（厚生労働省医薬・生活衛生局総務課委託事業）

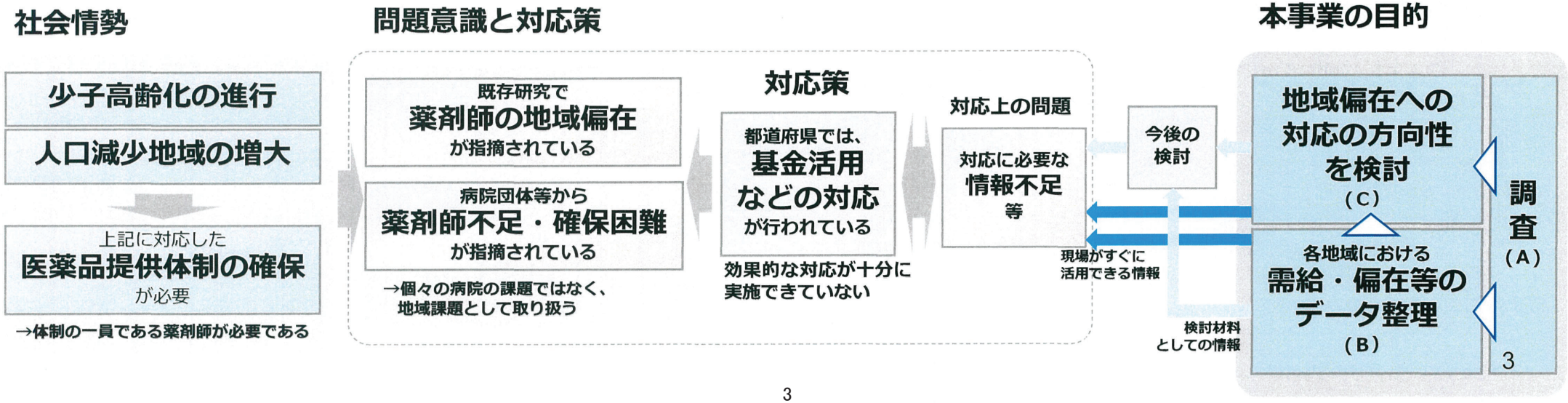
背景

少子高齢化のさらなる進行や、今後人口減少地域が増大することが予測される中で、**人口構造の変化や地域の実情に応じた医薬品提供体制を確保することが求められている**。これまで薬剤師の需給調査に関しては、厚生労働行政推進調査事業費補助金（平成31年3月）「薬剤師の需給動向の予測および薬剤師の専門性確保に必要な研修内容等に関する研究」（分担研究者：長谷川洋一・名城大学薬学部教授）及び令和２年度「薬剤師の需給動向把握事業」が実施されているが、これらの結果では**薬剤師に地域偏在があることが指摘されている**。また、病院団体をはじめとした関係団体等からは、**薬剤師が不足しており確保が困難な状況である**ことから、薬剤師の養成・確保及び勤務環境の改善を促進するとともに、地域の偏在について早急に改善策を講じ、地域の実情に即した保健医療体制を構築することなどの要望がこれまであげられているところである。

このような要望に対して、都道府県では地域偏在の解消や薬剤師の確保に向けた方策等を検討することが求められており、地域医療介護総合確保基金を活用した対応などの取組を講じているが、各地域での需給動向に応じた対応を行うことが必要であり、対応策を検討する上での参考になる情報や偏在状況を把握する上での指標が少なく、都道府県ごとに取組状況が異なるため、**全国的に効果的な対応が十分に実施できていない**状況である。

目的

本事業では、各都道府県における薬剤師確保のための取組事例を収集するとともに、薬剤師の地域偏在の状況・課題を整理し、地域偏在に対応するための方策等を調査・検討することにより、今後の医薬品提供体制の確保に繋げることを目的とする。



第3節　薬剤師

○　病院薬剤師と薬局薬剤師のそれぞれの医療需要に応じた薬剤師の確保を目指します。
○　地域の実情に応じた薬剤師確保並びに薬剤師偏在の改善を図ります。
○　薬学部を有する大学との連携支援等により、県内定着化並びに病院への就業促進を図ります。
○　病院薬剤師及び薬局薬剤師が専門性の高い役割を担い、地域医療を支えるため、薬剤師の資質向上を図ります。

現状と課題

1　現状

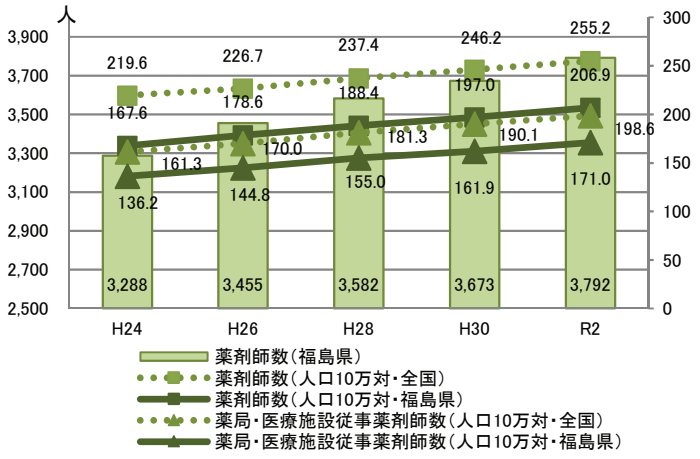
(1)薬剤師数と偏在について

ア　薬剤師の全国的な偏在

○　本県の薬剤師数は着実に増加していますが、人口 10 万あたりの数は全国平均を大きく下回っており、全国的な地域間の偏在が見受けられます。
○　本県の薬剤師数は、令和２（2020）年末現在 3,792 人、人口 10 万あたり 206.9 人で、全国平均の 255.2 人を 48.3 人下回っています。
○　本県の薬局・医療施設に従事する薬剤師数は、令和２（2020）年末現在 3,134 人、人口 10 万あたり 171.0 人で、全国平均の 198.6 人を 27.6 人下回っています。

図表７－３－１　薬剤師数の推移（単位：人）

	H24 年	H26 年	H28 年	H30 年	令和２年
薬剤師数（福島県）	3,288	3,455	3,582	3,673	3,792
薬剤師数（人口 10 万対・全国）	219.6	226.7	237.4	246.2	255.2
薬剤師数（人口 10 万対・福島県）	167.6	178.6	188.4	197.0	206.9
薬局・医療施設従事薬剤師数（人口 10 万対・全国）	161.3	170.0	181.3	190.1	198.6
薬局・医療施設従事薬剤師数（人口 10 万対・福島県）	136.2	144.8	155.0	161.9	171.0



資料：令和2（2020）年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況

第4節　保健師･助産師･看護師･准看護師

○ 東日本大震災からの復興を担うとともに、保健･医療･福祉分野における看護職員の安定的な確保を図ることを目指します。
○ 看護職員の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、従事者数が目標値を達成できるよう施策を推進します。
○ 関係機関と連携を図りながら、情報発信や修学資金制度の活用、看護職員の資質の向上に取り組むなど、安定的な確保と県内定着を推進します。

現状と課題

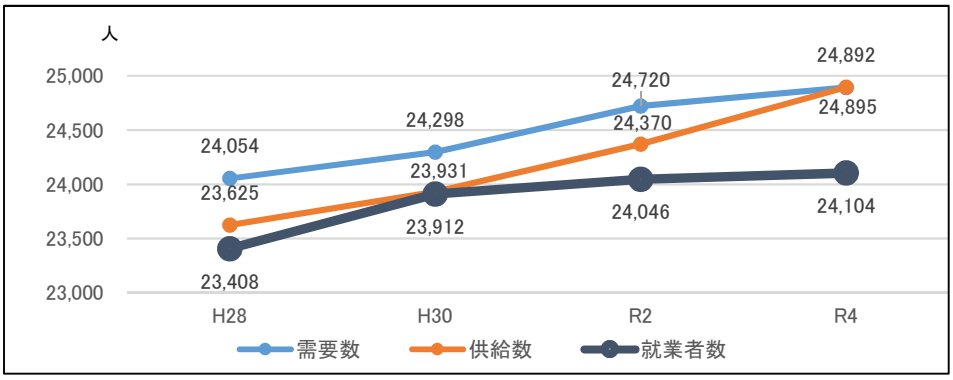
1 現状

(1)看護職員の常勤換算就業者数

ア 看護職員数の需要見込値に対する実績値

○ 本県の看護職員の常勤換算就業者数は、令和４（2022）年末現在で 24,104 人であり、平成 30（2018）年 3 月に策定した「福島県看護職員需給計画」における令和４（2022）年の看護職員需要見込数 24,892 人に対し、達成率は 96.8%となっています。
○ また、令和４（2022）年における人口 10 万人当たりの看護職員の就業者数は 1,431.5 人であり、全国平均の 1,332.1 人を上回っています。（厚生労働省「令和４年 衛生行政報告例」）

図表7－4－1　看護職員の就業状況の推移



年	実績値 看護職員数（常勤換算） a	計画値：福島県看護職員需給計画			
		需要見込数 b	達成率 (a/b)%	供給見込数 c	達成率 (a/c)%
H28	23,408	24,054	97.3	23,625	99.0
H30	23,912	24,298	98.4	23,931	99.9
R2	24,046	24,720	97.3	24,370	98.7
R4	24,104	24,892	96.8	24,895	96.8

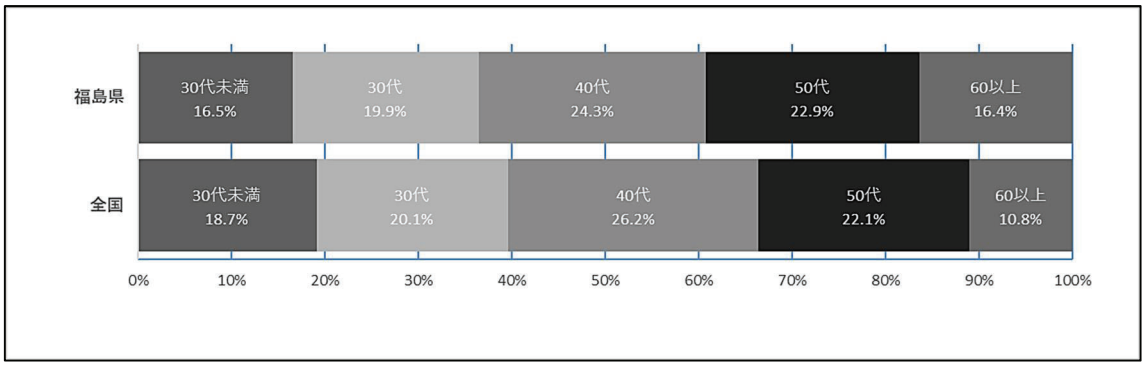
資料：保健師助産師看護師法第 33 条に基づく就業届（各年 12 月末現在）

イ　年代別の構成

○　年代別の構成をみると、全国では、保健師は「35～39 歳」が 構成割合 14.0%と最も多くなっており、助産師は「25～29 歳」（15.7%）、看護師は「40～44 歳」（14.0%）、准看護師は「55～59 歳」（16.1%）が最も多くなっています。

○　これに対し、本県では、保健師は「30～34 歳」(16.7%)、助産師は「25～29 歳」（15.2%）、看護師は「45～49 歳」（13.2%）、准看護師は「60～64 歳」（18.5%）と、看護師と助産師については、全国と同様ですが、全体では、30 代未満の若手が少なく、50 代以上の看護職員の割合が高くなっています。

図表７－４－２　看護職員の年齢別就業者の割合(令和4(2022)年 12 月末)



資料：令和4年　衛生行政報告例

(2)東日本大震災・原子力災害による影響

○　平成 23（2011）年３月の東日本大震災・原子力災害の影響により相双医療圏を中心に多くの看護職員が離職するとともに、20 代から 40 代の看護職員が減少しました。

(3)次代の看護を担う人材の育成

○　令和５（2023）年度の県内看護師等養成施設（23 施設）の１学年の総定員数は 1,144 人となっています。

２　課題

(1)次代の看護を担う人材の育成

○　18 歳人口の減少等により、県内看護師等養成施設の受験者数の減少や入学定員に対する充足率の低下に伴い、県内就業者の確保が困難となることも想定されるため、看護師等の養成や新卒者の県内への就業促進と定着化について、より一層の強化を図る必要があります。

(2)県内への就業促進と定着化

ア　中堅看護職員の離職への対応

○　特に病院での働き盛りである中堅看護職員の離職が課題となっており、若手看護師への指導や、現場での中核となる看護職員の不足にもつながることから、対応について検討していく必要があります。

イ　高齢化への対応

○　看護職員の高齢化が進んでおり、全国と比較しても 50 代以上の看護職員の割合が高いことから、50 代以上の看護職員に働き続けられるよう、医療の現場における職場環境づくりに取り組む必要があります。

(3)看護職員の資質の向上

ア　認定看護師の養成

○　専門的知識・技術を有する感染管理認定看護師の養成等、看護職員の資質向上に向けた取組が必要とされています。

イ　特定行為研修制度の重要性

○　病院内において業務分担の見直しを進めていく必要があり、その際に特定行為研修が重要な役割を担うことが指摘されています。

施策の方向性

１　施策の方向性と展開

東日本大震災からの復興を担うとともに、保健・医療・福祉分野における看護職員の安定的な確保を図るため、福島県看護職員需給計画と調和を図りながら、次の施策を推進します。

(1)次代の看護を担う人材の育成

ア　看護職を目指す学生の確保

○　中学生・高校生を対象とした看護職の普及啓発や看護師等養成施設のＰＲなどに加え、小学生に対しても看護の魅力を伝える取組を行い、看護職を目指す学生の確保に努めます。

イ　看護師等養成所の教育体制の充実

○　看護教員及び実習指導者の育成や教育環境の整備を支援するなど、看護師等養成所の教育体制の充実を図ります。

○　さらに、准看護師養成所から看護師養成所への移行や看護教育の高等教育化については、設置者の意向を踏まえつつ、その支援に努めます。

ウ　新卒看護職員の県内への就業促進と定着化

○　看護師等学校養成所の在学者が県内の各施設及び自治体の概要や募集情報が入手できるよう、医療機関等や看護師等養成施設、医療関係団体、県ナースセンター、ハローワーク等が連携・協力し、就職情報の提供や就業相談に努めます。

○　修学資金貸与事業や新人看護職員等に対する研修を充実させ、新卒看護職の県内への就業及び定着化を図ります。

コラム⑮　看護職の魅力を発信＜看護の出前講座・高校生の一日看護体験＞

福島県では長期的な視点で医療人材を確保するため、小・中・高校生向けに「看護の出前講座」を、高校生に対しては「高校生の一日看護体験」をそれぞれ実施しています。

▌看護の出前講座

看護職が学校へ赴き、命の大切さや看護職の仕事内容について授業を行います。また、授業の中で心音聴取や脈拍測定などの看護技術体験を行うこともあります。



▌高校生の一日看護体験

実際の医療機関で看護職や患者さんと接する経験や、ベッドメイキングや手浴等の看護体験を通して看護への関心を高めてもらう機会を提供しています。

参加した学生のみなさんからは「看護体験を通して看護師になりたい気持ちと勉強を頑張ろうという気持ちが深まった」といった感想が寄せられています。



［福島県医療人材対策室］

第5節　その他の保健医療従事者

○　高齢社会の進展や在宅医療の推進、医療の高度化等に適切に対応できる高水準の技能や知識を有する保健医療従事者の確保を目指します。
○　保健医療従事者の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、その養成確保に努めます。
○　関係機関と連携を図りながら、情報発信や修学資金制度の活用、研修会の開催等を通じて安定的な確保と県内定着を推進します。

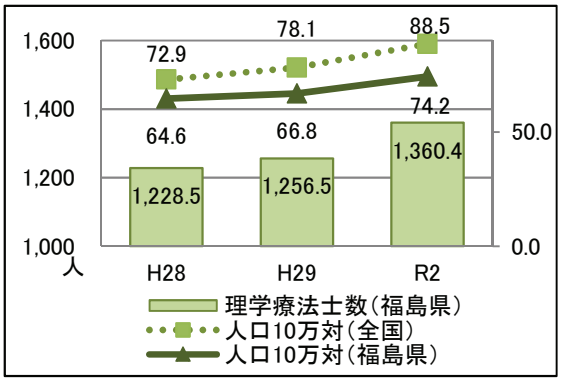
現状と課題

1　現状

(1)理学療法士・作業療法士

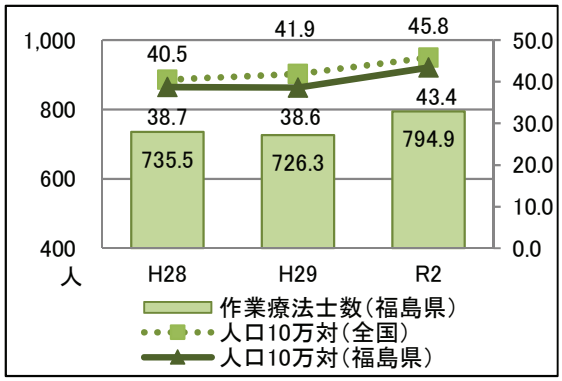
○　高齢社会の進展や在宅医療の推進、疾病構造の変化に伴い、リハビリテーションの需要は高まっており、高水準の技術や知識を有し、チーム医療の要としての役割を担う高度なサービスを提供する理学療法士・作業療法士の確保が求められています。
○　本県の医療施設及び介護施設に従事する常勤換算理学療法士・作業療法士数は、令和２（2020）年 10 月１日現在、理学療法士は人口 10 万人あたり 74.2 人（全国平均 88.5 人）、同じく作業療法士は 43.4 人（全国平均 45.8 人）となっており、理学療法士数、作業療法士数ともに全国平均を下回っています。

図表７－５－１　理学療法士数の推移



資料：厚生労働省「医療施設調査」及び「介護サービス施設・事務所調査」より算定

図表７－５－２　作業療法士数の推移



資料：厚生労働省「医療施設調査」及び「介護サービス施設・事務所調査」より算定

(2)診療放射線技師

○　医療の高度化、専門化とともに、高水準の医療技術や知識を有し、チーム医療を担う診療放射線技師に求められる役割は、ますます大きくなっています。
○　原子力災害の発災以降、放射線に関する知識の普及・啓発においても、大きな力を発揮しています。
○　本県の医療施設に従事する常勤換算診療放射線技師数は、令和２（2020）年 10 月１日現在、人口 10 万人あたり 44.4 人（全国平均 44.1 人）となっており、全国平均を上回っています。

(6)視能訓練士・言語聴覚士・臨床工学技士・精神保健福祉士・社会福祉士等

○　医療の高度化、専門化にとともに、高水準の医療技術や知識を有し、チーム医療を担う視能訓練士等に求められる役割はますます大きくなっています。
○　また、保健・医療・福祉の連携を推進していくにあたって、精神保健福祉士や社会福祉士に求められる役割も大きくなっています。
○　本県の人口 10 万人あたりの従事者数は、令和２（2020）年 10 月１日現在、視能訓練士 7.1 人（全国平均 8.0 人）、言語聴覚士 13.4 人（全国平均 15.3 人）、臨床工学技士 27.0 人（全国平均 24.1 人）、精神保健福祉士 8.2 人（全国平均 8.9 人）、社会福祉士 20.６人（全国平均 17.8 人）となっており、視能訓練士、言語聴覚士と精神保健福祉士は全国平均を下回っています。

２　課題

(1)理学療法士・作業療法士

○　今後も引き続き、理学療法士・作業療法士の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、その養成確保により一層努める必要があります。

(2)診療放射線技師

○　今後も引き続き、診療放射線技師の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、その養成確保に努める必要があります。

(3)歯科衛生士・歯科技工士

○　今後も引き続き、歯科衛生士・歯科技工士の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、その養成確保に努める必要があります。特に高齢化が顕著な歯科技工士の養成が重要であり、また、資格を持ちながら就業していない歯科衛生士・歯科技工士の活用を図るなどの工夫が必要です。

(4)管理栄養士・栄養士

○　管理栄養士・栄養士は、単独又は少数配置が多いため、保健所において巡回指導や研修会を開催するとともに、栄養士会等関係機関と連携して研修機会の確保に努める等の支援が必要です。

(5)臨床検査技師

○　今後も引き続き、臨床検査技師の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、その養成確保に努める必要があります。

(6)視能訓練士・言語聴覚士・臨床工学技士・精神保健福祉士・社会福祉士等

○　今後も引き続き、視能訓練士、言語聴覚士、臨床工学技士、精神保健福祉士、社会福祉士等の需要動向に配慮しながら、地域の実情を踏まえ、その養成確保に努める必要があります。

施策の方向性

１　施策の方向性と展開

(1)理学療法士・作業療法士

○　高齢社会の進展等に伴うリハビリテーションへの需要に対応するため、若年層に対する情報発信や修学資金制度の活用等により、理学療法士・作業療法士の安定的な確保と県内定着を推進します。
○　令和３（2021）年４月に開設した福島県立医科大学保健科学部と連携し、高度な知識と技術を備えた理学療法士・作業療法士の育成を図ります。

(2)診療放射線技師

○　医療技術の高度化や新たな医療需要に適切に対応するため、若年層に対する情報発信や修学資金制度の活用等により、診療放射線技師の安定的な確保と県内定着を推進します。
○　令和３（2021）年４月に開設した福島県立医科大学保健科学部と連携し、高度な知識と技術を備えた診療放射線技師の育成を図ります。

とが見込まれる。

１）全国版

（実人員　単位：人）

	平成 28 年 ※１	令和 7（2025）年			
		都道府県報告値（係数等処理前）	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③
需要推計	1, 660, 071	1, 801, 633	1, 880, 682	1, 897, 561	2, 019, 773
病院＋有床診療所	1, 346, 366	972, 849	1, 015, 301	1, 024, 413	1, 090, 390
精神病床		132, 052	137, 904	139, 142	148, 103
無床診療所		299, 224	312, 395	315, 199	335, 499
訪問看護事業所	46, 977	112, 558	117, 502	118, 556	126, 192
（内訳）医療保険		26, 523	27, 691	27, 939	29, 739
介護保険		47, 370	49, 433	49, 877	53, 089
精神病床からの基盤整備		38, 664	40, 378	40, 741	43, 364
介護保険サービス等	149, 683	187, 413	195, 692	197, 448	210, 165
学校養成所等	117, 045	136, 201	142, 266	143, 543	152, 788
供給推計		1, 746, 664	1, 746, 664 ～1, 819, 466	1, 746, 664 ～1, 819, 466	1, 746, 664 ～1, 819, 466

※１　平成 28 年は看護職員就業者数（厚生労働省医政局看護課調べ）

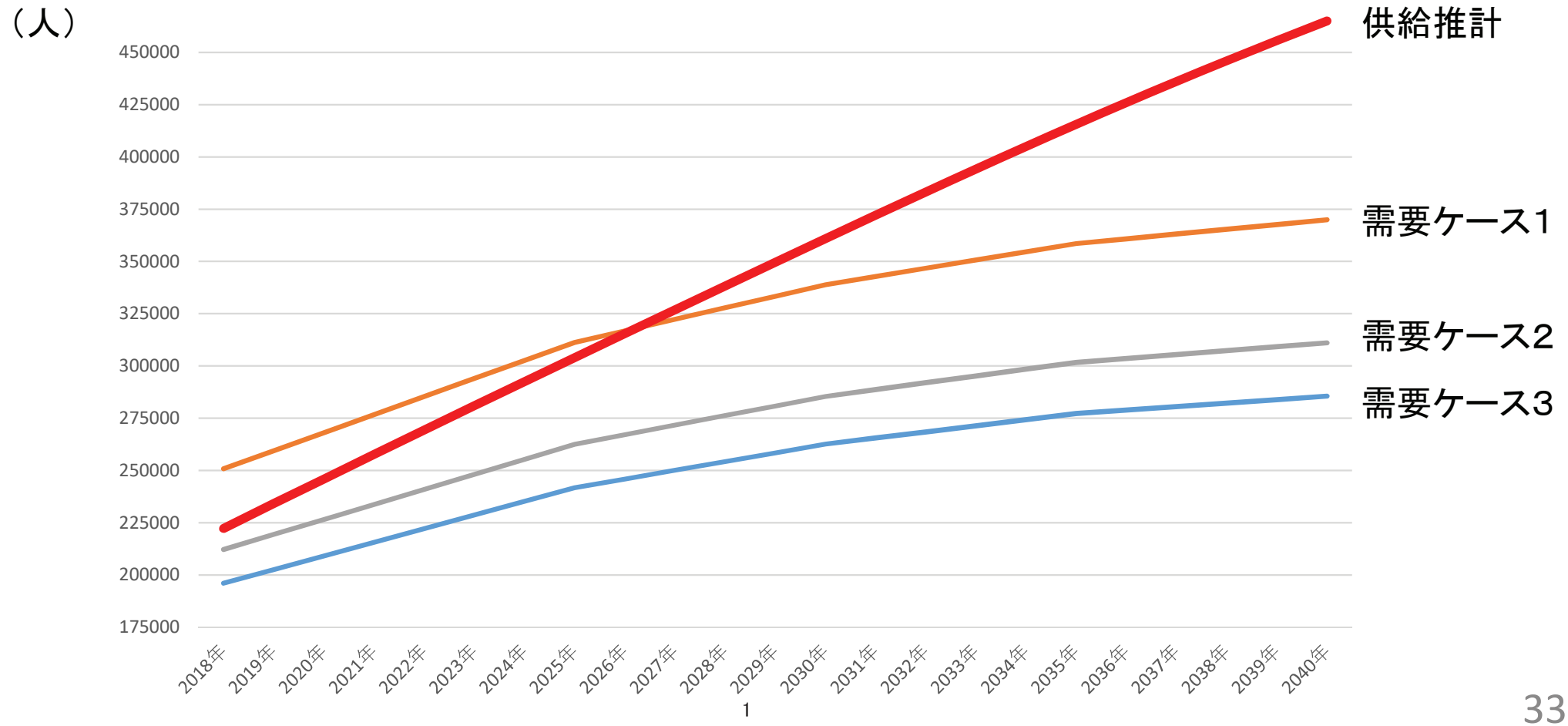
理学療法士・作業療法士の需給推計について（案）

PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる結果となった。

供給推計　全体の平均勤務時間と性年齢階級別の勤務時間の比（仕事率）を考慮して推計。

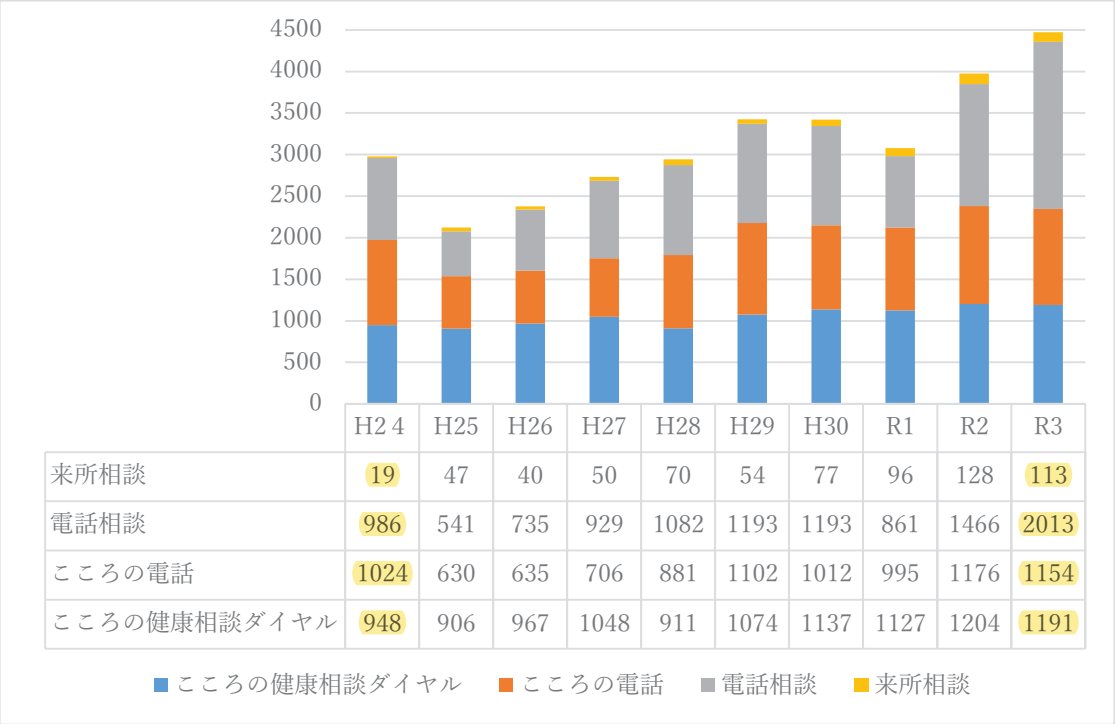
需要推計　ケース1、ケース2、ケース3について推計※

※　精神科入院受療率、外来リハビリ実施率、時間外労働時間について幅を持って推計



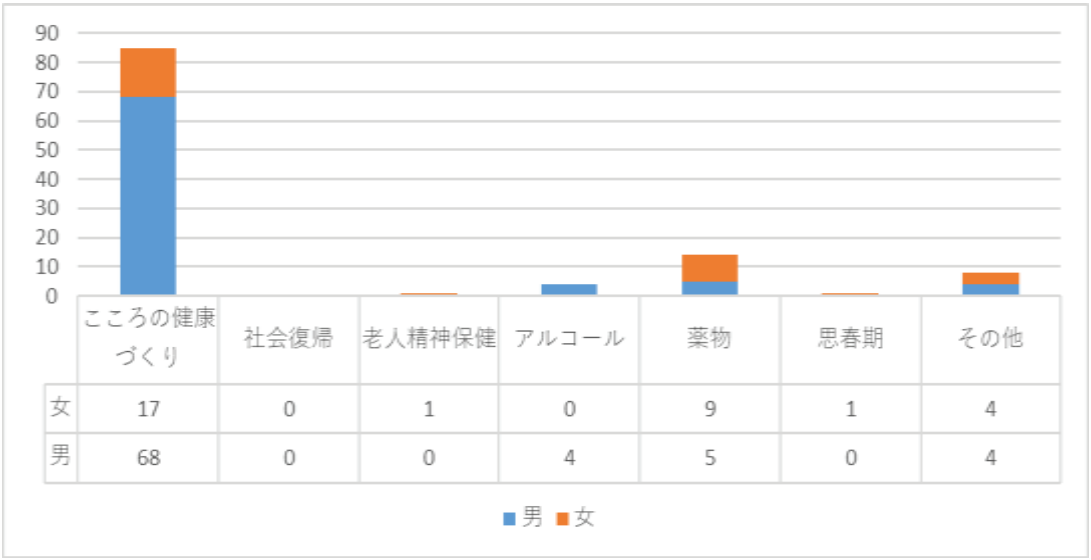
4　精神保健福祉相談及び相談に付随する診療状況

(1) 精神保健福祉相談（来所、センター代表電話・こころの電話・こころの健康相談ダイヤル）件数の推移（平成２４～令和３年度）



	H2 4	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
来所相談	19	47	40	50	70	54	77	96	128	113
電話相談	986	541	735	929	1082	1193	1193	861	1466	2013
こころの電話	1024	630	635	706	881	1102	1012	995	1176	1154
こころの健康相談ダイヤル	948	906	967	1048	911	1074	1137	1127	1204	1191

ア　来所による相談（令和３年度）



	こころの健康づくり	社会復帰	老人精神保健	アルコール	薬物	思春期	その他
女	17	0	1	0	9	1	4
男	68	0	0	4	5	0	4

1．　（書類等の題名）

学生確保の見通し等を記載した書類　本文（P.5）

【資料 6】（P.1-2）18 歳人口予測（全体：エリア別：2023～2035 年）、大学進学率の推移（現役：エリア別：2014～2023 年）

【資料 7】（P.1-3）18 歳人口予測（全体：東北：2023～2035 年）、進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2014～2023 年）、地元残留率の推移（全体：東北：2014～2023 年）

2．　（出典）

【資料 6】リクルート進学総研　マーケットリポート 2023　Vol.118 2024 年 2 月号

【資料 7】リクルート進学総研　マーケットリポート 2023　Vol.120 2024 年 2 月号

3．　（引用範囲）

【資料 6】リクルート進学総研　マーケットリポート 2023
Vol.118 2024 年 2 月号（P.7、P.10）

【資料 7】リクルート進学総研　マーケットリポート 2023
Vol.120 2024 年 2 月号（P.2、P.6、P.11）

4．　（その他の説明）

【資料 6】【資料 7】

本文で引用した箇所に黄色のマーカーを付けた。

■都道府県別男女別大学進学率（実績・推計値）

進学率の伸び率を採用 → 推計値

		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年
全国	合計	50.9%	51.0%	50.8%	49.9%	51.5%	51.5%	52.0%	52.6%	52.7%	53.0%	53.3%	53.7%	54.1%	54.4%	54.6%	54.9%	55.1%	55.4%	55.6%	55.8%	56.1%	56.3%	56.5%	56.7%	56.8%	56.9%	57.0%	57.1%	57.2%	57.3%	57.4%
	男	56.4%	56.0%	55.6%	54.0%	55.9%	55.4%	55.6%	55.9%	55.8%	55.9%	56.1%	56.3%	56.5%	56.6%	56.7%	56.8%	56.9%	57.0%	57.1%	57.2%	57.4%	57.5%	57.6%	57.8%	57.9%	58.0%	58.1%	58.2%	58.2%	58.3%	58.4%
	女	45.2%	45.8%	45.8%	45.6%	47.0%	47.4%	48.2%	49.1%	49.4%	50.0%	50.4%	51.0%	51.6%	52.1%	52.4%	52.8%	53.3%	53.7%	54.0%	54.3%	54.8%	55.0%	55.3%	55.5%	55.7%	55.8%	55.9%	56.1%	56.2%	56.2%	56.3%
北海道	合計	39.1%	39.4%	39.6%	39.4%	41.4%	41.6%	42.8%	43.9%	44.6%	45.6%	46.5%	47.5%	48.5%	49.6%	50.7%	51.8%	53.0%	53.9%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%
	男	47.4%	46.7%	46.0%	45.8%	48.0%	48.3%	48.7%	49.4%	49.7%	50.2%	50.6%	51.1%	51.5%	52.0%	52.5%	53.0%	53.4%	53.9%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%
	女	30.5%	31.9%	32.9%	32.7%	34.6%	34.5%	36.6%	38.2%	39.3%	40.8%	42.3%	43.8%	45.4%	47.1%	48.8%	50.6%	52.5%	53.9%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%
青森	合計	34.8%	34.4%	34.0%	34.3%	36.2%	36.3%	37.2%	38.1%	38.7%	39.4%	40.1%	40.9%	41.6%	42.3%	43.1%	43.8%	44.2%	44.7%	45.1%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%
	男	38.9%	37.7%	36.7%	37.4%	38.5%	38.3%	39.2%	40.3%	40.7%	41.3%	42.0%	42.7%	43.4%	44.1%	44.8%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%
	女	30.6%	31.0%	31.3%	30.9%	33.8%	34.2%	35.1%	35.9%	36.6%	37.3%	38.1%	38.9%	39.7%	40.5%	41.4%	42.2%	43.1%	44.0%	44.9%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%	45.3%
岩手	合計	33.5%	34.4%	34.3%	33.9%	36.2%	35.5%	37.3%	37.8%	38.4%	39.1%	39.5%	39.8%	40.0%	40.3%	40.5%	40.7%	41.0%	41.2%	41.5%	41.7%	42.0%	42.2%	42.5%	42.7%	43.0%	43.2%	43.5%	43.8%	43.9%	43.9%	43.9%
	男	37.0%	37.5%	36.7%	35.4%	38.5%	37.9%	38.8%	38.9%	39.1%	39.3%	39.5%	39.8%	40.0%	40.3%	40.5%	40.7%	41.0%	41.2%	41.5%	41.7%	42.0%	42.2%	42.5%	42.7%	43.0%	43.2%	43.5%	43.8%	43.9%	43.9%	43.9%
	女	29.7%	31.1%	31.7%	32.4%	33.8%	33.1%	35.7%	36.6%	37.6%	38.8%	39.5%	39.8%	40.0%	40.3%	40.5%	40.7%	41.0%	41.2%	41.5%	41.7%	42.0%	42.2%	42.5%	42.7%	43.0%	43.2%	43.5%	43.8%	43.9%	43.9%	43.9%
宮城	合計	45.7%	43.4%	45.3%	45.1%	46.3%	46.0%	46.6%	46.0%	46.2%	46.2%	46.3%	46.3%	46.4%	46.5%	46.5%	46.6%	46.6%	46.7%	46.7%	46.8%	46.8%	46.9%	47.0%	47.1%	47.1%	47.2%	47.2%	47.3%	47.4%	47.4%	47.5%
	男	49.2%	46.4%	47.7%	48.2%	49.2%	48.6%	49.1%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%	48.4%
	女	42.1%	40.3%	42.7%	42.0%	43.3%	43.3%	43.9%	43.5%	43.8%	43.9%	44.0%	44.2%	44.3%	44.4%	44.5%	44.7%	44.8%	44.9%	45.0%	45.1%	45.3%	45.4%	45.5%	45.6%	45.8%	45.9%	46.0%	46.2%	46.3%	46.4%	46.5%
秋田	合計	38.0%	36.8%	37.3%	35.8%	38.7%	37.5%	37.6%	38.6%	38.7%	38.6%	38.6%	38.6%	38.8%	38.9%	39.0%	39.1%	39.2%	39.3%	39.5%	39.6%	39.6%	39.7%	39.8%	40.0%	40.1%	40.3%	40.4%	40.5%	40.6%	40.7%	40.9%
	男	41.0%	40.7%	40.2%	37.0%	41.2%	39.9%	40.0%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.9%	42.1%	42.3%	42.5%	42.7%	43.0%	43.2%	43.4%	43.6%	43.8%	44.1%	44.3%	44.5%	44.8%	45.0%	45.2%	45.4%	45.7%	45.9%	46.1%
	女	34.9%	32.8%	34.3%	34.5%	36.0%	35.1%	35.0%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%	35.3%
山形	合計	38.6%	40.2%	39.9%	38.4%	39.3%	38.8%	38.6%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%	39.1%
	男	41.8%	44.6%	42.4%	40.7%	42.0%	40.9%	40.7%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%	41.8%
	女	35.2%	35.7%	37.2%	35.9%	36.5%	36.6%	36.5%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%	36.3%
福島	合計	37.2%	36.0%	36.9%	36.3%	37.7%	37.8%	39.5%	39.4%	40.3%	41.1%	41.7%	42.4%	43.1%	43.4%	43.7%	43.9%	44.2%	44.5%	44.7%	45.1%	45.3%	45.6%	45.9%	46.2%	46.5%	46.8%	47.1%	47.4%	47.5%	47.5%	47.5%
	男	41.8%	40.7%	41.0%	39.4%	40.5%	40.7%	43.1%	42.5%	43.8%	44.7%	45.6%	46.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%	47.5%
	女	32.4%	31.2%	32.6%	33.1%	34.7%	35.0%	35.7%	36.1%	36.6%	37.1%	37.6%	38.1%	38.6%	39.2%	39.7%	40.2%	40.8%	41.3%	41.9%	42.5%	43.1%	43.6%	44.2%	44.8%	45.4%	46.1%	46.7%	47.3%	47.5%	47.5%	47.5%
茨城	合計	51.2%	51.5%	51.2%	49.4%	51.7%	51.2%	51.3%	51.6%	51.7%	51.8%	51.9%	52.0%	52.0%	52.1%	52.2%	52.3%	52.4%	52.5%	52.5%	52.6%	52.7%	52.8%	52.9%	52.9%	53.0%	53.1%	53.2%	53.3%	53.4%	53.4%	53.5%
	男	56.6%	57.2%	55.8%	53.5%	56.2%	55.0%	54.9%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%
	女	45.5%	45.5%	46.3%	45.1%	47.1%	47.1%	47.6%	47.4%	47.7%	47.9%	48.0%	48.2%	48.4%	48.5%	48.7%	48.9%	49.0%	49.2%	49.4%	49.5%	49.7%	49.9%	50.0%	50.2%	50.4%	50.5%	50.7%	50.9%	51.1%	51.2%	51.4%
栃木	合計	48.4%	49.3%	47.6%	48.0%	47.8%	48.2%	48.4%	48.0%	48.4%	48.5%	48.6%	48.8%	49.0%	49.2%	49.3%	49.5%	49.7%	49.9%	50.1%	50.3%	50.5%	50.7%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%
	男	52.7%	54.4%	52.2%	52.0%	51.6%	51.3%	52.0%	50.9%	51.1%	51.0%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%
	女	44.1%	43.9%	42.9%	43.9%	43.7%	44.9%	44.8%	45.0%	45.5%	45.8%	46.2%	46.6%	46.9%	47.3%	47.7%	48.1%	48.4%	48.8%	49.2%	49.6%	50.0%	50.4%	50.8%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%	50.9%
群馬	合計	47.3%	46.0%	46.8%	44.5%	45.8%	46.0%	47.0%	46.8%	47.4%	47.8%	48.3%	48.7%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%
	男	52.7%	50.9%	51.2%	47.8%	49.2%	49.9%	49.8%	49.1%	49.3%	49.2%	49.2%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%
	女	41.7%	41.0%	42.2%	40.9%	42.3%	42.1%	44.2%	44.5%	45.4%	46.4%	47.3%	48.3%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%	49.1%
埼玉	合計	49.8%	50.9%	50.8%	49.7%	51.4%	51.1%	51.4%	52.6%	52.8%	53.2%	53.6%	54.0%	54.3%	54.7%	55.1%	55.6%	56.0%	56.5%	56.9%	57.4%	57.9%	58.4%	58.9%	59.3%	59.4%	59.5%	59.6%	59.7%	59.8%	59.9%	60.0%
	男	56.8%	58.4%	57.9%	55.9%	58.0%	57.6%	57.0%	58.5%	58.5%	58.5%	58.5%	58.5%	58.5%	58.5%	58.5%	58.6%	58.7%	58.8%	58.9%	59.0%	59.1%	59.1%	59.2%	59.3%	59.4%	59.5%	59.6%	59.7%	59.8%	59.9%	60.0%
	女	42.2%	42.9%	43.1%	43.0%	44.3%	44.2%	45.3%	46.3%	46.9%	47.6%	48.4%	49.1%	49.9%	50.7%	51.5%	52.4%	53.2%	54.0%	54.9%	55.8%	56.7%	57.6%	58.5%	59.3%	59.4%	59.5%	59.6%	59.7%	59.8%	59.9%	60.0%
千葉	合計	51.2%	51.7%	51.5%	50.6%	52.3%	52.6%	53.2%	53.1%	53.6%	54.0%	54.4%	54.9%	55.3%	55.8%	56.3%	56.8%	57.3%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%
	男	58.3%	58.1%	58.1%	56.3%	58.3%	58.5%	58.3%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%
	女	43.6%	45.1%	44.7%	44.7%	46.2%	46.4%	47.8%	48.5%	49.4%	50.3%	51.2%	52.1%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%	57.0%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%	57.6%
東京	合計	73.1%	73.1%	73.1%	71.3%	73.1%	72.8%	72.7%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%
	男	76.6%	75.9%	75.9%	72.9%	75.3%	73.4%	73.6%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%	72.4%
	女	69.6%	70.3%	70.3%	69.7%	70.8%	72.1%	71.7%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%	73.2%
神奈川	合計	53.8%	53.1%	53.7%	52.8%	54.6%	54.9%	54.4%	54.4%	54.4%	54.5%	54.6%	54.7%	54.8%	54.9%	54.9%	55.0%	55.1%	55.2%	55.3%	55.3%	55.4%	55.5%	55.6%	55.7%	55.8%	55.9%	56.0%	56.1%	56.1%	56.2%	56.3%
	男	59.3%	58.3%	59.3%	57.0%	59.1%	59.2%	58.4%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%
	女	47.8%	47.6%	47.8%	48.3%	49.7%	50.4%	50.0%	50.4%	50.6%	50.7%	50.9%	51.1%	51.2%	51.4%	51.6%	51.7%	51.9%	52.1%	52.3%	52.4%	52.6%	52.8%	53.0%	53.1%	53.3%	53.5%	53.7%	53.9%	54.0%	54.2%	54.4%
新潟	合計	42.8%	42.7%	42.0%	40.9%	43.2%	41.8%	42.3%	41.2%	41.4%	41.2%	41.3%	41.1%	41.3%	41.2%	41.2%	41.2%	41.3%	41.3%	41.2%	41.2%	41.3%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%	41.2%
	男	48.3%	47.8%	47.0%	45.2%	47.5%	45.0%	45.4%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%
	女	37.2%	37.2%	36.7%	36.3%	38.7%	38.5%	39.2%	37.0%	37.3%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%	37.0%
富山	合計	45.2%	45.5%	45.7%	44.9%	45.6%	44.6%	44.8%	45.3%	45.3%	45.4%	45.5%	45.7%	45.9%	46.1%	46.3%	46.5%	46.7%	46.9%	47.1%	47.3%	47.5%	47.7%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%
	男	49.7%	49.3%	50.3%	49.2%	49.2%	48.7%	48.2%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%
	女	40.6%	41.5%	41.2%	40.4%	41.8%	40.4%	41.2%	42.7%	42.7%	42.8%	43.2%	43.6%	44.0%	44.4%	44.8%	45.2%	45.6%	46.0%	46.4%	46.8%	47.2%	47.7%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%	47.8%
石川	合計	47.3%	48.4%	47.3%	47.7%	48.1%	48.3%	49.2%	49.7%	50.6%	51.1%	51.8%	52.4%	53.1%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%
	男	54.0%	54.9%	53.6%	52.3%	53.8%	51.6%	52.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%
	女	40.4%	41.5%	40.8%	42.9%	42.1%	45.0%	45.8%	45.6%	47.5%	48.8%	50.0%	51.3%	52.6%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%

都道府県別等入学者推移表

No	都道府県	薬学					看護					健康医療科 作業療法					健康医療科 理学療法					心理					大学計					都道府県	入学割合					
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6		R2	R3	R4	R5	R6	平均
1	北海道	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2	1	3	2	0	3	北海道	0.4%	1.1%	0.9%	0.0%	1.9%	0.8%
2	青森県	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	1	0	2	2	2	5	青森県	0.0%	0.7%	0.9%	1.0%	3.2%	1.1%
3	岩手県	4	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	2	0	1	1	0	4	3	1	0	0	3	2	0	7	1	9	7	2	岩手県	2.6%	0.4%	3.9%	3.3%	1.3%	2.3%
4	宮城県	4	10	5	4	2	2	9	4	2	0	0	0	1	1	0	0	2	1	3	1	2	3	0	4	1	8	24	11	14	4	宮城県	3.0%	8.7%	4.8%	6.7%	2.5%	5.1%
5	秋田県	1	1	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	1	0	1	3	2	0	4	2	1	1	0	0	4	7	3	1	7	秋田県	1.5%	2.5%	1.3%	0.5%	4.4%	2.0%
6	山形県	1	1	0	3	1	4	0	0	1	2	1	0	2	1	0	0	0	3	1	0	2	1	3	4	2	8	2	8	10	5	山形県	3.0%	0.7%	3.5%	4.8%	3.2%	3.0%
7	福島県（県北地区）	2	1	4	0	1	8	7	3	3	1	4	1	2	0	0	4	5	1	3	1	3	1	2	4	0	21	15	12	10	3	福島県（県北地区）	7.9%	5.4%	5.2%	4.8%	1.9%	5.0%
7	福島県（県南地区）	2	4	2	2	4	11	12	11	7	10	6	3	4	4	2	18	18	21	11	3	1	8	4	10	4	38	45	42	34	23	福島県（県南地区）	14.3%	16.2%	18.2%	16.2%	14.6%	15.9%
7	福島県（会津地区）	2	4	1	1	0	6	6	0	1	0	0	0	2	1	0	4	4	1	2	0	1	2	2	2	3	13	16	6	7	3	福島県（会津地区）	4.9%	5.8%	2.6%	3.3%	1.9%	3.7%
7	福島県（いわき地区）	17	21	16	14	11	30	30	21	18	13	18	12	10	11	9	27	26	22	18	21	15	15	14	10	11	107	104	83	71	65	福島県（いわき地区）	40.2%	37.5%	35.9%	33.8%	41.1%	37.7%
7	福島県（相双地区）	1	1	1	0	1	3	3	3	2	1	0	1	2	1	0	3	5	1	1	0	1	1	2	1	2	8	11	9	5	4	福島県（相双地区）	3.0%	4.0%	3.9%	2.4%	2.5%	3.2%
8	茨城県	11	9	5	10	6	7	12	8	6	4	6	5	5	3	3	8	6	9	11	5	4	2	6	9	9	36	34	33	39	27	茨城県	13.5%	12.3%	14.3%	18.6%	17.1%	15.2%
9	栃木県	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	2	1	0	0	0	1	0	5	2	5	3	1	栃木県	1.9%	0.7%	2.2%	1.4%	0.6%	1.4%
10	群馬県	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	群馬県	0.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
11	埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	埼玉県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	千葉県	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%
13	東京都	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	東京都	0.0%	0.4%	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%
14	神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	神奈川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15	新潟県	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	2	3	2	新潟県	0.4%	0.7%	0.9%	1.4%	1.3%	0.9%
16	富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	富山県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
17	石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	石川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18	福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	福井県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19	山梨県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	山梨県	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
20	長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長野県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21	岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	岐阜県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22	静岡県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	静岡県	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%
23	愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	愛知県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24	三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	三重県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25	滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	滋賀県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
26	京都府	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	京都府	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
27	大阪府	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	大阪府	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%
28	兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兵庫県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奈良県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33	岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	岡山県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
34	広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	広島県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
35	山口県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	山口県	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
37	香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	香川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%
39	高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	高知県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
41	佐賀県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	佐賀県	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%
43	熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	熊本県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
45	宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	宮崎県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
46	鹿児島県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	鹿児島県	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
47	沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	沖縄県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%
51	高等学校卒業程度認定試験	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	高等学校卒業程度認定試験	0.4%	0.0%	0.4%	0.5%	0.6%	0.4%
52	外国の学校等	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	1	0	0	0	外国の学校等	1.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
合計		49	61	41	38	28	76	83	51	42	38	38	22	30	24	15	69	76	71	58	40	34	35	38	48	37	266	277	231	210	158	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地区別	薬学					看護					健康医療科 作業療法					健康医療科 理学療法					心理					大学計					平均
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
いわき市合計	17	21	16	14	11	30	30	21	18	13	18	12	10	11	9	27	26	22	18	21	15	15	14	10	11	107	104	83	71	65	86
（いわき市入学割合）	35%	34%	39%	37%	39%	39%	36%	41%	43%	34%	47%	55%	33%	46%	60%	39%	34%	31%	31%	53%	44%	43%	37%	21%	30%	40%	38%	36%	34%	41%	37.7%
福島県合計	24	31	24	17	17	58	58	38	31	25	28	17	20	17	11	56	58	46	35	25	21	27	24	27	20	187	191	152	127	98	151
（福島県入学割合）	49%	51%	59%	45%	61%	76%	70%	75%	74%	66%	74%	77%	67%	71%	73%	81%	76%	65%	60%	63%	62%	77%	63%	56%	54%	70%	69%	66%	60%	62%	65.5%
福島県＋宮城県＋茨城県	39	50	34	31	25	67	79	50	39	29	34	22	26	21	14	64	66	56	49	31	27	32	30	40	30	231	249	196	180	129	197
（福島県＋宮城県＋茨城県入学割合）	80%	82%	83%	82%	89%	88%	95%	98%	93%	76%	89%	100%	87%	88%	93%	93%	87%	79%	84%	78%	79%	91%	79%	83%	81%	87%	90%	85%	86%	82%	85.8%
福島県＋宮城県＋茨城県＋東北4県	45	53	34	34	27	72	82	50	42	35	36	22	30	23	15	66	70	67	55	38	31	34	37	46	33	250	261	218	200	148	215.4
（福島県＋宮城県＋茨城県＋東北4県入学割合）	92%	87%	83%	89%	96%	95%	99%	98%	100%	92%	95%	100%	100%	96%	100%	96%	92%	94%	95%	95%	91%	97%	97%	96%	89%	94%	94%	94%	95%	94%	94.3%

いわき市平均	36.9%	38.8%	48.2%	37.6%	34.9%
福島県平均	52.8%	72.1%	72.4%	69.0%	62.5%
福島県＋宮城県＋茨城県平均	83.1%	90.1%	91.4%	84.1%	82.8%
福島県＋宮城県＋茨城県＋東北4県平均	89.5%	96.7%	98.1%	94.4%	94.1%

薬学部入学者予測

No	摘要		90		90		90		60		60		60		40		40		40		40		40		40		40		40		40		40	
			2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035	
			R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14		R15		R16		R17	
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801		1,167,348		1,141,140		1,121,276		1,097,416		1,063,451		1,090,562		1,092,664		1,085,148		1,069,005		1,066,810		1,050,986		1,035,215		1,024,042		1,013,894		1,005,714		970,429	
2	18歳人口（福島）※2		18,824		18,482		17,622		17,276		16,593		15,899		15,810		15,556		15,222		14,769		14,693		14,205		13,669		14,613		14,309		14,063		13,395	
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398		3,346		3,240		3,180		3,060		3,082		3,006		2,913		2,776		2,695		2,636		2,323		2,446		2,570		2,450		2,417		2,326	
4	18歳人口（全国増減率）		107.1%		106.4%		104.0%		102.2%		100.0%		96.9%		99.4%		99.6%		98.9%		97.4%		97.2%		95.8%		94.3%		93.3%		92.4%		91.6%		88.4%	
5	18歳人口（福島増減率）		113.4%		111.4%		106.2%		104.1%		100.0%		95.8%		95.3%		93.8%		91.7%		89.0%		88.5%		85.6%		82.4%		88.1%		86.2%		84.8%		80.7%	
6	18歳人口（いわき増減率）		111.0%		109.3%		105.9%		103.9%		100.0%		100.7%		98.2%		95.2%		90.7%		88.1%		86.1%		75.9%		79.9%		84.0%		80.1%		79.0%		76.0%	
7	大学進学者数（福島）		7,737		7,707		7,472		7,446		7,201		6,948		6,941		6,876		6,774		6,602		6,627		6,435		6,233		6,707		6,611		6,539		6,269	
8	大学進学率（福島）		41.1%		41.7%		42.4%		43.1%		43.4%		43.7%		43.9%		44.2%		44.5%		44.7%		45.1%		45.3%		45.6%		45.9%		46.2%		46.5%		46.8%	
9	福島残留数（福島）		1,547		1,565		1,689		1,675		1,606		1,494		1,492		1,478		1,456		1,419		1,425		1,383		1,340		1,442		1,421		1,406		1,348	
10	福島残留率（福島）※4		20.0%		20.3%		22.6%		22.5%		22.3%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%	
11	薬学部志願者数（全国私立）※5		89,223		82,668		73,580		76,635		74,627		73,910		75,794		75,940		75,418		74,296		74,143		73,044		71,947		71,171		70,466		69,897		67,445	
12	薬学部志願率（全国私立）※6		7.59%		7.08%		6.45%		6.83%		6.80%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%		6.95%	
13	薬学部入学者数（全国私立）※7		10,613		10,629		10,191		11,391		11,276		10,103		10,360		10,380		10,309		10,156		10,135		9,984		9,835		9,728		9,632		9,554		9,219	
14	薬学部入学者増減率（全国私立）		94.1%		94.3%		90.4%		101.0%		100.0%		89.6%		91.9%		92.1%		91.4%		90.1%		89.9%		88.5%		87.2%		86.3%		85.4%		84.7%		81.8%	
15	薬学部入学率（全国私立）※8		0.90%		0.91%		0.89%		1.02%		1.03%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%		0.95%	
16	本学薬学部入学者数		57		49		61		41		38		28		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—	
17	本学薬学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9		0.004852%		0.004198%		0.005346%		0.003657%		0.003463%		0.002633%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%		0.004025%	
18	本学薬学部入学者予測①		—		—		—		—		—		—		44		44		44		43		43		42		42		41		41		40		39	
19	本学薬学部入学率（入学者/全国私立薬学部入学者数）※10		0.537077%		0.461003%		0.598567%		0.359933%		0.336999%		—		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%		0.458716%	
20	本学薬学部入学者予測②		—		—		—		—		—		—		48		48		47		47		46		46		45		45		44		44		42	
21	本学薬学部入学者数（福島県）		27		24		31		24		17		17		16		16		16		15		15		15		14		15		15		14		14	
22	本学薬学部入学率（福島出身/残留数）		1.74%		1.53%		1.84%		1.43%		1.06%		1.14%		1.09%		1.08%		1.07%		1.07%		1.06%		1.05%		1.05%		1.04%		1.03%		1.02%		1.02%	
23	本学薬学部入学者数（いわき市）		15		17		21		16		14		11		11		10		10		10		9		8		9		9		9		9		8	
24	本学薬学部入学率（いわき出身/残留数）		0.97%		1.09%		1.24%		0.96%		0.87%		0.74%		0.72%		0.71%		0.69%		0.68%		0.67%		0.60%		0.66%		0.64%		0.62%		0.62%		0.62%	
25	本学薬学部入学率（いわき出身/いわき人口）		0.44%		0.51%		0.65%		0.50%		0.46%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%	
26	本学薬学部入学率（いわき市/福島県）		55.56%		70.83%		67.74%		66.67%		82.35%		64.71%		66.71%		65.70%		63.99%		64.03%		62.95%		57.38%		62.79%		61.71%		60.08%		60.30%		60.93%	
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	栃木県	233	栃木県	225	宮城県	228	宮城県	255	宮城県	237	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	宮城県	219	宮城県	200	栃木県	199	栃木県	204	栃木県	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	流出県	1位	東京都	1,455	東京都	1,469	東京都	1,329	東京都	1,345	東京都	1,460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	宮城県	1,047	宮城県	1,034	宮城県	1,035	宮城県	986	宮城県	953	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	埼玉県	558	神奈川県	522	神奈川県	522	神奈川県	511	神奈川県	483	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1　「18歳人口（全国）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※2　「18歳人口（福島）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。
※3　18歳人口（いわき市）は、いわき市「いわき市の人口　令和5年10月1日現在」の数値を掲載。
※4　R6以降の「福島残留率（福島）」は、R1～R5の平均値で積算。
※5　「薬学部志願者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「薬学」の数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「薬学部志願率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※6　R6以降の「薬学部志願率（全国私立）」は、R1～R5の平均値で積算。
※7　「薬学部入学者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「薬学」の数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「薬学部入学率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。
※8　R6以降の「薬学部入学率（全国私立）」はR1～R5の平均値で積算。
※9　R7以降の「本学薬学部入学率（入学者/全国18歳人口）」は、R1～R6までの6年間の平均値で積算。
※10　R7以降の「本学薬学部入学率（入学者/全国私立薬学部入学者数）」は、R1～R5の平均値で積算。

看護学部入学者予測

							80	80	80	80	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
No	摘要		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,664	1,085,148	1,069,005	1,066,810	1,050,986	1,035,215	1,024,042	1,013,894	1,005,714	970,429
2	18歳人口（福島）※2		18,824	18,482	17,622	17,276	16,593	15,899	15,810	15,556	15,222	14,769	14,693	14,205	13,669	14,613	14,309	14,063	13,395
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398	3,346	3,240	3,180	3,060	3,082	3,006	2,913	2,776	2,695	2,636	2,323	2,446	2,570	2,450	2,417	2,326
4	18歳人口（全国減少率）		107.1%	106.4%	104.0%	102.2%	100.0%	96.9%	99.4%	99.6%	98.9%	97.4%	97.2%	95.8%	94.3%	93.3%	92.4%	91.6%	88.4%
5	18歳人口（福島減少率）		113.4%	111.4%	106.2%	104.1%	100.0%	95.8%	95.3%	93.8%	91.7%	89.0%	88.5%	85.6%	82.4%	88.1%	86.2%	84.8%	80.7%
6	18歳人口（いわき減少率）		111.0%	109.3%	105.9%	103.9%	100.0%	100.7%	98.2%	95.2%	90.7%	88.1%	86.1%	75.9%	79.9%	84.0%	80.1%	79.0%	76.0%
7	大学進学者数（福島）		7,737	7,707	7,472	7,446	7,201	6,948	6,941	6,876	6,774	6,602	6,627	6,435	6,233	6,707	6,611	6,539	6,269
8	大学進学率（福島）		41.1%	41.7%	42.4%	43.1%	43.4%	43.7%	43.9%	44.2%	44.5%	44.7%	45.1%	45.3%	45.6%	45.9%	46.2%	46.5%	46.8%
9	福島残留数（福島）		1,547	1,565	1,689	1,675	1,606	1,494	1,492	1,478	1,456	1,419	1,425	1,383	1,340	1,442	1,421	1,406	1,348
10	福島残留率（福島）※4		20.0%	20.3%	22.6%	22.5%	22.3%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%
11	看護学部志願者数（全国私立）※5		56,868	54,346	50,733	51,399	48,896	48,600	49,839	49,935	49,591	48,854	48,753	48,030	47,309	46,799	46,335	45,961	44,349
12	看護学部志願率（全国私立）※6		4.84%	4.66%	4.45%	4.58%	4.46%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%	4.57%
13	看護学部入学者数（全国私立）※7		9,604	9,406	9,453	9,894	9,900	9,039	9,270	9,288	9,224	9,087	9,068	8,933	8,799	8,704	8,618	8,549	8,249
14	看護学部入学者増減率（全国私立）		97.0%	95.0%	95.5%	99.9%	100.0%	91.3%	93.6%	93.8%	93.2%	91.8%	91.6%	90.2%	88.9%	87.9%	87.1%	86.3%	83.3%
15	看護学部入学率（全国私立）※8		0.82%	0.81%	0.83%	0.88%	0.90%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%	0.85%
16	本学看護学部入学者数		100	76	83	51	42	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	本学看護学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9		0.008512%	0.006510%	0.007273%	0.004548%	0.003827%	0.003573%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%	0.005707%
18	本学看護学部入学者予測①		—	—	—	—	—	—	62	62	62	61	61	60	59	58	58	57	55
19	本学看護学部入学率（入学者/全国私立看護学部入学者数）		1.041233%	0.807995%	0.878028%	0.515464%	0.515464%	—	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%	0.751637%
20	本学看護学部入学者予測② ※10		—	—	—	—	—	—	70	70	69	68	68	67	66	65	65	64	62
21	本学看護学部入学者数（福島県）		78	58	58	38	31	25	24	23	23	22	22	21	21	22	22	21	20
22	本学看護学部入学率（福島出身/残留数）		5.04%	3.71%	3.43%	2.27%	1.93%	1.67%	1.60%	1.59%	1.57%	1.57%	1.55%	1.55%	1.54%	1.53%	1.52%	1.51%	1.50%
23	本学看護学部入学者数（いわき市）		32	30	30	21	18	13	13	12	12	11	11	10	10	11	10	10	10
24	本学看護学部入学率（いわき出身/残留数）		2.07%	1.92%	1.78%	1.25%	1.12%	0.87%	0.86%	0.84%	0.81%	0.81%	0.79%	0.71%	0.78%	0.76%	0.73%	0.73%	0.73%
25	本学看護学部入学率（いわき出身/いわき人口）		0.94%	0.90%	0.93%	0.66%	0.59%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%	0.42%
26	本学看護学部入学率（いわき市/福島県）		41.03%	51.72%	51.72%	55.26%	58.06%	52.00%	53.61%	52.80%	51.42%	51.45%	50.59%	46.11%	50.46%	49.59%	48.28%	48.46%	48.96%
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

健康医療科学部入学者予測

No	摘要		2019		2020		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
			R1		R2		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
							100	100	100	100	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801		1,167,348		1,141,140	1,121,276	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,664	1,085,148	1,069,005	1,066,810	1,050,986	1,035,215	1,024,042	1,013,894	1,005,714	970,429
2	18歳人口（福島）※2		18,824		18,482		17,622	17,276	16,593	15,899	15,810	15,556	15,222	14,769	14,693	14,205	13,669	14,613	14,309	14,063	13,395
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398		3,346		3,240	3,180	3,060	3,082	3,006	2,913	2,776	2,695	2,636	2,323	2,446	2,570	2,450	2,417	2,326
4	18歳人口（全国減少率）		107.1%		106.4%		104.0%	102.2%	100.0%	96.9%	99.4%	99.6%	98.9%	97.4%	97.2%	95.8%	94.3%	93.3%	92.4%	91.6%	88.4%
5	18歳人口（福島減少率）		113.4%		111.4%		106.2%	104.1%	100.0%	95.8%	95.3%	93.8%	91.7%	89.0%	88.5%	85.6%	82.4%	88.1%	86.2%	84.8%	80.7%
6	18歳人口（いわき減少率）		111.0%		109.3%		105.9%	103.9%	100.0%	100.7%	98.2%	95.2%	90.7%	88.1%	86.1%	75.9%	79.9%	84.0%	80.1%	79.0%	76.0%
7	大学進学者数（福島）		7,737		7,707		7,472	7,446	7,201	6,948	6,941	6,876	6,774	6,602	6,627	6,435	6,233	6,707	6,611	6,539	6,269
8	大学進学率（福島）		41.1%		41.7%		42.4%	43.1%	43.4%	43.7%	43.9%	44.2%	44.5%	44.7%	45.1%	45.3%	45.6%	45.9%	46.2%	46.5%	46.8%
9	福島残留数（福島）		1,547		1,565		1,689	1,675	1,606	1,494	1,492	1,478	1,456	1,419	1,425	1,383	1,340	1,442	1,421	1,406	1,348
10	福島残留率（福島）※4		20.0%		20.3%		22.6%	22.5%	22.3%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%	21.5%
11	リハビリ学部志願者数（全国私立）※5		6,665		6,943		6,767	6,811	5,986	6,168	6,325	6,337	6,294	6,200	6,187	6,096	6,004	5,939	5,881	5,833	5,628
12	リハビリ学部志願率（全国私立）※6		0.57%		0.59%		0.59%	0.61%	0.55%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%	0.58%
13	リハビリ学部入学者数（全国私立）※7		1,410		1,374		1,711	1,794	1,799	1,489	1,527	1,530	1,519	1,497	1,494	1,471	1,449	1,434	1,419	1,408	1,359
14	リハビリ学部入学者増減率（全国私立）		78.4%		76.4%		95.1%	99.7%	100.0%	82.8%	84.9%	85.0%	84.4%	83.2%	83.0%	81.8%	80.6%	79.7%	78.9%	78.3%	75.5%
15	リハビリ学部入学率（全国私立）※8		0.12%		0.12%		0.15%	0.16%	0.16%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%	0.14%
16	本学健康医療科学部入学者数		80		107		98	101	82	55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	本学健康医療科学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9		0.006810%		0.009166%		0.008588%	0.009008%	0.007472%	0.005172%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%	0.00770300%
18	本学健康医療科学部入学者予測①		—		—		—	—	—	—	84	84	84	82	82	81	80	79	78	77	75
19	本学健康医療科学部入学率（入学者/全国私立リハビリ学部入学者数）※10		5.673759%		7.787482%		5.727645%	5.629877%	4.558088%	—	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%	5.87537%
20	本学健康医療科学部入学者予測②		—		—		—	—	—	—	90	90	89	88	88	86	85	84	83	83	80
21	本学健康医療科学部入学者数（福島県）		64		84		75	66	52	36	34	34	33	32	32	31	30	32	31	31	29
22	本学健康医療科学部入学率（福島出身/残留数）		4.14%		5.37%		4.44%	3.94%	3.24%	2.41%	2.30%	2.28%	2.27%	2.26%	2.24%	2.23%	2.21%	2.20%	2.18%	2.17%	2.16%
23	本学健康医療科学部入学者数（いわき市）		41		45		38	32	29	30	29	29	27	26	26	23	24	25	24	24	23
24	本学健康医療科学部入学率（いわき出身/残留数）		2.65%		2.88%		2.25%	1.91%	1.81%	2.01%	1.97%	1.93%	1.87%	1.86%	1.81%	1.65%	1.79%	1.75%	1.69%	1.69%	1.69%
25	本学健康医療科学部入学率（いわき出身/いわき人口）		1.21%		1.34%		1.17%	1.01%	0.95%	0.97%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%	0.98%
26	本学健康医療科学部入学率（いわき市/福島県）		64.06%		53.57%		50.67%	48.48%	55.77%	83.33%	85.92%	84.62%	82.41%	82.46%	81.07%	73.90%	80.86%	79.47%	77.37%	77.66%	78.47%
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

心理学部入学者予測

No	摘要		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035	
			R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14		R15		R16		R17	
							60		60		60		60		40		40		40		40		40		40		40		40		40		40		40	
1	18歳人口（全国）※1		1,174,801		1,167,348		1,141,140		1,121,276		1,097,416		1,063,451		1,090,562		1,092,664		1,085,148		1,069,005		1,066,810		1,050,986		1,035,215		1,024,042		1,013,894		1,005,714		970,429	
2	18歳人口（福島）※2		18,824		18,482		17,622		17,276		16,593		15,899		15,810		15,556		15,222		14,769		14,693		14,205		13,669		14,613		14,309		14,063		13,395	
3	18歳人口（いわき市）※3		3,398		3,346		3,240		3,180		3,060		3,082		3,006		2,913		2,776		2,695		2,636		2,323		2,446		2,570		2,450		2,417		2,326	
4	18歳人口（全国減少率）		107.1%		106.4%		104.0%		102.2%		100.0%		96.9%		99.4%		99.6%		98.9%		97.4%		97.2%		95.8%		94.3%		93.3%		92.4%		91.6%		88.4%	
5	18歳人口（福島減少率）		113.4%		111.4%		106.2%		104.1%		100.0%		95.8%		95.3%		93.8%		91.7%		89.0%		88.5%		85.6%		82.4%		88.1%		86.2%		84.8%		80.7%	
6	18歳人口（いわき減少率）		111.0%		109.3%		105.9%		103.9%		100.0%		100.7%		98.2%		95.2%		90.7%		88.1%		86.1%		75.9%		79.9%		84.0%		80.1%		79.0%		76.0%	
7	大学進学者数（福島）		7,737		7,707		7,472		7,446		7,201		6,948		6,941		6,876		6,774		6,602		6,627		6,435		6,233		6,707		6,611		6,539		6,269	
8	大学進学率（福島）		41.1%		41.7%		42.4%		43.1%		43.4%		43.7%		43.9%		44.2%		44.5%		44.7%		45.1%		45.3%		45.6%		45.9%		46.2%		46.5%		46.8%	
9	福島残留数（福島）		1,547		1,565		1,689		1,675		1,606		1,494		1,492		1,478		1,456		1,419		1,425		1,383		1,340		1,442		1,421		1,406		1,348	
10	福島残留率（福島）※4		20.0%		20.3%		22.6%		22.5%		22.3%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%		21.5%	
11	心理学部志願者数（全国私立）※5		28,076		29,548		24,990		28,259		32,716		26,799		27,482		27,535		27,346		26,939		26,884		26,485		26,087		25,806		25,550		25,344		24,455	
12	心理学部志願率（全国私立）※6		2.39%		2.53%		2.19%		2.52%		2.98%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%		2.52%	
13	心理学部入学者数（全国私立）※7		2,832		3,098		3,146		3,740		3,942		3,084		3,163		3,169		3,147		3,100		3,094		3,048		3,002		2,970		2,940		2,917		2,814	
14	心理学部入学者増減率（全国私立）		71.8%		78.6%		79.8%		94.9%		100.0%		78.2%		80.2%		80.4%		79.8%		78.6%		78.5%		77.3%		76.2%		75.3%		74.6%		74.0%		71.4%	
15	心理学部入学率（全国私立）※8		0.24%		0.27%		0.28%		0.33%		0.36%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%		0.29%	
16	本学心理学部入学者数				34		35		38		48		37		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—	
17	本学心理学部入学率（入学者/全国18歳人口）※9				0.002913%		0.003067%		0.003389%		0.004374%		0.003479%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%		0.003444%	
18	本学心理学部入学者予測①		—		—		—		—		—		—		38		38		37		37		37		36		36		35		35		35		33	
19	本学心理学部入学率（入学者/全国私立心理学部入学者数）※10				1.097482%		1.112524%		1.016043%		1.217656%		—		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%		1.110926%	
20	本学心理学部入学者予測②		—		—		—		—		—		—		35		35		35		34		34		34		33		33		33		32		31	
21	本学心理学部入学者数（福島県）				21		27		24		27		20		19		19		18		18		18		17		16		18		17		17		16	
22	本学心理学部入学率（福島出身/残留数）		0.00%		1.34%		1.60%		1.43%		1.68%		1.34%		1.28%		1.27%		1.26%		1.25%		1.24%		1.24%		1.23%		1.22%		1.21%		1.21%		1.20%	
23	本学心理学部入学者数（いわき市）				15		15		14		10		11		11		10		10		10		9		8		9		9		9		9		8	
24	本学心理学部入学率（いわき出身/残留数）		0.00%		0.96%		0.89%		0.84%		0.62%		0.74%		0.72%		0.71%		0.69%		0.68%		0.67%		0.60%		0.66%		0.64%		0.62%		0.62%		0.62%	
25	本学心理学部入学率（いわき出身/いわき人口）		0.00%		0.45%		0.46%		0.44%		0.33%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%		0.36%	
26	本学心理学部入学率（いわき市/福島県）		#DIV/0!		71.43%		55.56%		58.33%		37.04%		55.00%		56.71%		55.85%		54.39%		54.42%		53.51%		48.77%		53.37%		52.45%		51.06%		51.26%		51.79%	
27	流入県	1位	茨城県	231	茨城県	276	茨城県	259	茨城県	304	茨城県	269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	栃木県	233	栃木県	225	宮城県	228	宮城県	255	宮城県	237	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	宮城県	219	宮城県	200	栃木県	199	栃木県	204	栃木県	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	流出県	1位	東京都	1,455	東京都	1,469	東京都	1,329	東京都	1,345	東京都	1,460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2位	宮城県	1,047	宮城県	1,034	宮城県	1,035	宮城県	986	宮城県	953	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3位	埼玉県	558	神奈川県	522	神奈川県	522	神奈川県	511	神奈川県	483	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1　「18歳人口（全国）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。

※2　「18歳人口（福島）」は、リクルート進学総研 「マーケットリポートデータ」の数値を記載。

※3　18歳人口（いわき市）は、いわき市「いわき市の人口　令和5年10月1日現在」の数値を掲載。

※4　R6以降の「福島残留率（福島）」は、R1～R5の平均値で積算。

※5　「心理学部志願者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「心理学部」のみの数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「心理学部志願率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。

※6　R6以降の「心理学部志願率（全国私立）」は、R1～R5の平均値で積算。

※7　「心理学部入学者数（全国私立）」は、「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団」の「心理学部」のみの数値を記載（R6以降は「18歳人口（全国）」の数値に「心理学部入学率（全国私立）（R1～R5の平均値）」を乗じて積算）。

※8　R6以降の「心理学部入学率（全国私立）」はR1～R5の平均値で積算。

※9　R7以降の「本学心理学部入学率（入学者/全国18歳人口）」はR2～R6までの5年間の平均値で積算。

※10　R7以降の「本学心理学部入学率（入学者/全国私立心理学部入学者数）」は、R2～R5の平均値で積算。

薬学部6年制課程について

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
実質競争倍率	1.05倍	1.12倍	1.08倍	1.06倍	1.01倍	1.09倍
入学定員充足率	63.3%	54.4%	67.8%	68.3%	63.3%	46.7%
収容定員充足率	74.6%	70.7%	70.4%	67.8%	65.0%	59.8%
標準修業年限内 卒業率	48.3%	45.8%	37.1%	50.6%	40.7%	
標準修業年限内 国家試験合格率	48.3%	44.6%	37.1%	48.1%	37.2%	
退学率	51.7%	48.2%	57.7%	40.5%	40.7%	

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙１

〇出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５都道府県）※直近年度

	都道府県名	人　　数	構成比
1	福島県	98人	69.0%
2	茨城県	27人	19.0%
3	秋田県	7人	4.9%
4	山形県	5人	3.5%
5	青森県	5人	3.5%
	全　　体	142人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	福島県	0.91%	0.92%	0.86%

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	薬学	88.61%	94.79%	94.66%
2	看護学部	102.72%	101.76%	99.22%
3	リハビリテーション学部	100.35%	97.24%	95.44%
4	心理学部	103.05%	106.01%	104.20%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２

大学学部学科等名：医療創生大学国際看護学部看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
総合型選抜	募集人数				5人	10人	20人	12人
	延べ人数	志願者数			19人	42人	41人	34人
		受験者数			19人	31人	40人	30人
		合格者数			19人	30人	39人	29人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	11人	0人	4人
	実人数	志願者数			19人	42人	41人	34人
		受験者数			19人	31人	40人	30人
		合格者数			19人	30人	39人	29人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数				19人	30人	39人	29人
学校推薦型選抜	募集人数				35人	30人	35人	33人
	延べ人数	志願者数			35人	26人	32人	31人
		受験者数			35人	26人	31人	31人
		合格者数			35人	26人	31人	30.66666667
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数			35人	26人	32人	31
		受験者数			35人	26人	31人	30.66666667
		合格者数			35人	26人	31人	30.66666667
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			0人	0人	0人	0
	入学者数				35人	26人	31人	30.66666667
一般選抜	募集人数				15人	30人	15人	20
	延べ人数	志願者数			94人	68人	28人	63.33333333
		受験者数			82人	62人	25人	56.33333333
		合格者数			60人	45人	19人	41.33333333
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			31人	25人	8人	21.33333333
	実人数	志願者数			68人	50人	24人	47.33333333
		受験者数			61人	47人	21人	43
		合格者数			60人	45人	19人	41.33333333
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			31人	25人	8人	21.33333333
	入学者数				29人	20人	11人	20
共通テスト利用入試	募集人数				25人	10人	10人	15
	延べ人数	志願者数			49人	28人	23人	33.33333333
		受験者数			49人	28人	23人	33.33333333
		合格者数			34人	18人	21人	24.33333333
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			30人	18人	19人	22.33333333
	実人数	志願者数			43人	24人	18人	28.33333333
		受験者数			43人	24人	18人	28.33333333
		合格者数			30人	16人	18人	21.33333333
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			26人	16人	16人	19.33333333
	入学者数				4人	0人	2人	2
その他の特別選抜	募集人数							#DIV/0!
	延べ人数	志願者数			1人	2人	0人	1
		受験者数			1人	2人	0人	1
		合格者数			1人	2人	0人	1
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数			1人	2人	0人	1
		受験者数			1人	2人	0人	1
		合格者数			1人	2人	0人	1
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0
		辞退者数			0人	0人	0人	0
	入学者数				1人	2人	0人	1
合計	募集人数		0人	0人	80人	80人	80人	48人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	198人	166人	124人	98人
		受験者数	0人	0人	186人	149人	119人	91人
		合格者数	0人	0人	149人	121人	110人	76人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	61人	54人	27人	28人
	実人数	志願者数	0人	0人	166人	144人	115人	85人
		受験者数	0人	0人	159人	130人	110人	80人
		合格者数	0人	0人	145人	119人	107人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	57人	41人	24人	24人
	入学者数		0人	0人	88人	78人	83人	50人

３．入学定員充足率

	H31年度入学者	R２年度入学者	R３年度入学者	R４年度入学者	R５年度入学者	平　均
入学定員			80人	80人	80人	80
入学定員充足率	#DIV/0!	#DIV/0!	1.10	0.98	1.04	#DIV/0!
歩留率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.59	0.64	0.75	#DIV/0!

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：医療創生大学国際看護学部のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	255人	322人	①取組概要 本学に興味のある高校生・社会人を対象に本学部の特色や教育内容の説明、模擬講義、体験授業、入試説明、在学生との懇談、施設案内等を実施。 R4年度入試対象（R3開催）：計10回開催 R5年度入試対象（R4開催）：計10回開催 ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 国際看護学部（既設）のオープンキャンパス参加者の入学率は、40%台で決して高い入学率ではないが、一方で入学者に占めるオープンキャンパス参加者は70%を超える状況である。今回定員を変更する組織でもオープンキャンパス参加者の入学率約50%、入学者に占めるオープンキャンパス参加者60%と類似の傾向を示しており、計画している取組を着実に遂行することにより、入学者を確保できると見込んでいる。
うち受験対象者数(b)	140人	178人	
うち受験者数(c)	101人	120人	
うち入学者数(d)	66人	78人	
（受験率 c/b）	72.1%	67.4%	
（入学率 d/b）	47.1%	43.8%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
―	学長	ｼﾝﾀﾆ　ﾀｶﾖｼ 新谷　幸義 ＜令和2年4月＞		医学士		医療法人社団　葵会　理事長※ （昭和53年2月） 学校法人医療創生大学　理事長※ （平成31年4月） 葵会仙台看護専門学校　学校長※ （平成31年4月） 学校法人AOI国際学院　理事※ （令和元年8月） 医療創生大学　学長 （令和2年4月～令和8年3月）